

春秋会会報 第104号

Shunjuu

MAR. 2021

特集 1 村瀬謙一 副会長を応援します！

特集 2 政策シンポジウム『コロナ禍で我々が考えるべきこと』

特集 3 警察署グルメ特集

特集 4 新人紹介2021



春秋会

巻頭言 幹事長 谷 英樹 2

副会長退任のご挨拶 岩本 朗 4

新副会長のご挨拶 村瀬謙一 6

特集1 村瀬謙一副会長を応援します！

三上孝孜 8	豊川義明 8	山口健一 9	森下 弘 9
宮崎裕二 10	福田健次 10	岩城 穰 10	青木佳史 11
吉田之計 11	井上洋子 12	飯島奈絵 12	大久保康弘 13
小林徹也 13	平尾宏紀 14	岩本 朗 14	黒田 愛 14
濱田雄久 15	原野早知子 15	岡本 岳 16	白倉典武 16
高江俊名 16	鍋本裕之 17	林 邦彦 17	藤井美江 18
伊加井義弘 18	有村とく子 18	上田 純 19	小野昌史 19
小橋るり 20	山本 淳 20	山下 真 21	吹矢洋一 21
大西克彦 22	中森俊久 22	西原和彦 22	今井 力 23
唐崎浩司 23	浦 寛幸 24	間野泰治 24	豊田祐介 24
東 尚吾 25	荒木晋之介 25	團野彩子 26	柴山慶太 26
星野純子 27	舞弓和宏 27	和田信也 27	染川智子 28
田積祥子 28	北本純子 29		

執行部 退任のご挨拶

谷 英樹 30	黒田 愛 30	峯田和子 31	唐崎浩司 31
山口昌之 32	砂川辰彦 32	阿武修平 33	山本 淳 33
上田 純 34	寺川 拓 34	中森俊久 35	枝川直美 35

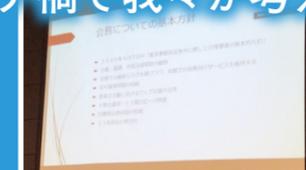
執行部 就任のご挨拶

濱田雄久 36	高江俊名 36	中村和洋 37	柳 勝久 37
寺川 拓 38	奥野祐希 38	稲生貴子 39	林 邦彦 39
原 正和 40	竹中宏一 40	広瀬元太郎 41	吉村友香 41

特集2

政策シンポジウム

「コロナ禍で我々が考えるべきこと」 42



特集3

警察署グルメ特集 50

警察署グルメ一覧情報 52



特集4 新人紹介2021

横瀬大輝 58	藤田圭介 59	青木克也 60	青木晶子 62
有本喜英 63	伊賀友介 64	井出達矢 65	大岩祐司 66
加門亜弥 67	垣岡彩英 68	公文 大 70	田中萌奈美 71
徳山慶太 73	豊田夕雪 74	長沢一輝 75	久井大輝 77
福本洸太郎 78	松本里香 79	宮崎佳美 81	山本こずえ 82

春秋会 会員名簿 84

編集後記 88



コロナを乗り越え、活動することができました

幹事長 谷 英樹 (43期)

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のなか始まり、幹事会などの会議をはじめ、会の活動に大きな制約があるなかでの活動開始でした。

そうしたなかで、様々な工夫と作業によりウェブ会議のシステムを活用して会議や研修、親睦企画を行うことができ、コロナを乗り越え、例年に劣らない活動を行うことができました。こうした作業や協力をいただいた副幹事長、幹事、各種委員会の委員、そして会員みなさまにあらためて感謝申し上げます。

コロナによる業務への影響に対する対応

Web会議の活用による研修などの企画の取組みについては、秋号で述べましたので、ここではそれ以外の活動について振り返りたいと思います。

まず、新型コロナウイルスによる業務への影響に対する対応です。

新型コロナウイルスによる影響は、裁判手続にも及びました。昨年4月の緊急事態宣言により、裁判所は大半の期日を取り消し、私たちの実務にも大きな影響が及ぶと

ともに、なによりも法的救済を求める当事者にとっては重大な不利益が生じるという事態が生じました。この点については、幹事会やメーリングリストでも活発に意見交換がなされ、裁判を受ける権利の観点から問題であるとの指摘や、他方、弁護士にとっても感染予防の観点から期日の取消しは妥当だったなどの意見が述べられました。こうしたなかで、5月には、大阪弁護士会が、裁判所に対して、審理期日を一律に延期するのではなく、当事者や弁護人の意見を求めたうえで、個別の事件における事情をふまえて、審理の進め方や進行について協議し、慎重に判断すること等を求める旨の申入書を作成して、執行しました。

また、弁護士会の会務においても、窓口対応時間の短縮により私たちの業務に大きな影響が生じています。この点についても、メーリングリストで様々な議論があり、その後、本年1月13日には、弁護士会から会員向けの説明が発せられました。

こうした弁護士会の対応については、当会での上記のような議論が一定の影響を与えたものと思います。

役員等の推薦

会派の重要な役割である弁護士会の役員等の推薦に関しては、多くの適任者を推薦することができました。

副会長については、選考委員会による選考と総会による審議の結果、村瀬謙一会員を推薦し、無事当選されました。村瀬さんは、大阪市内の事務所に所属された後、池田市に事務所を開設され、その後、地元へ根付いた活動を続けてこられました。こうした地理的条件にかかわらず、弁護士会でも市民窓口や司法修習委員会などで活動され、実績を積んでこられました。当会は、これまで、1人の女性会長と複数の女性副会長を推薦してきたこととあわせて、大阪市内に事務所を有する会員を推薦したというのは、会務運営における多様性の確保という点で大きな意義があるものと考えています。弁護士会の構成も多様になり、支部を含めて本庁周辺でないところに事務所を有する会員も増えてきているなかで、こうした会員の執務の実情を会務に反映させていただけるものと思います。

また、総会副議長には藤井美江会員を推薦し、当選されました。さらに、常議員会においては、当会が常議員候補として推薦した丹羽雅雄会員が議長に就任される予定になっています。いずれも弁護士会の重要な機関の役職ですが、お二人はその職責にふさわしい能力と識見を有しておられ、職責を果たされるものと思います。

常議員と日弁連代議員にも、幅広い年代から、適任の会員を推薦することができました。

会報の電子化

広報活動においては、昨年度から会報電子化プロジェクトチームにおいて検討を進められていた会報の電子化について、同PTからの答申を受け、秋号・春号ともにウェブサイトに掲載する方法によって発行しました。これによって、インターネット環境があれば、冊子が手元になくとも会報を読むことができるようになり、また、発行費用節減の効果がありません。こうした会報の電子化は、他会派でも検討しているところがあるようで、当会の取組みは他会派からも注目されています。

他方、現在の発行形態では、限定された部数とはいえ紙媒体を発行していることもあり、節減効果は限定的な額にとどまっています。今後は、さらなる節減のための工夫を行うとともに、状況を見ながら発行形態を検討していくこととなっています。

以上、本年度の取組みを振り返りましたが、次年度も、新型コロナウイルスへの対応は続くものと思います。みなさまのご協力によって実現した本年度の対応を継承し、さらに発展させて、コロナ禍を乗り越えていかれることを期待しています。



1年間 なんとか走り抜きました

岩本 朗 (47期)

1. 1年間を振り返って

早いもので、副会長の任期も最終コーナーに入りました。本号を皆さんが手に取られるころには役員用PCもメールアドレスも取り上げられ、役員室の席もきれいに明け渡しお役御免となります。1年間の担当会務は多岐にわたり、全てを振り返ることはできませんが、印象的であったことを中心に振り返らせていただきます。

2. 新型コロナウイルス感染症と職員不祥事

4月1日に任期が始まって1週間で政府の緊急事態宣言が発出されました。緊急事態宣言は5月25日までに順次解除になりましたが、その後も府県間の移動自粛などが続きました。4月から6月までは、緊急事態宣言下での当会の体制整備や見直しに追われました。総合法律相談センター担当の副会長として、運営委員会委員長の福田健次先生と共に、法律相談体制の維持に努力しましたが、他の課題には十分取り組むことができませんでした。7月にはいったん新型コロナウイルス感染症の動向が落ち着きを

見せましたので、取り組めなかった課題に取り組みたいと思っていた矢先、今度は8月に当会職員による重大な不祥事（詐欺事件）が発覚し、この問題への対応に追われました。3次にわたる追加告訴を行い、地検の追起訴が完了したら11月が終わっていました。副会長の業務として何度も地検特捜部に通うことになることはさすがに想像しておりませんでした。任期も3分の2が過ぎ、なんとか残る4カ月に、と思っていたら、新型コロナ国内流行の第三波とみられる状況に突入することになりました。そして、2021年に入った1月7日、首都圏について緊急事態宣言が再度発出され、1月14日、近畿圏についても緊急事態宣言の対象とされることになりました。結局、2020年執行部の年度は、新型コロナ禍の緊急事態宣言で始まり、再度の緊急事態宣言で終わることになりました。

3. 会員のサポート、不祥事等への対応

今年度、市民窓口への相談については、自治部門（綱紀懲戒・市民窓口）を担当す

る副会長だけでなく、私を含めて5名の副会長で回覧することとし、心身の不調が疑われたり、安否確認が必要であったり、あるいは不祥事が疑われたりする会員への対応を過年度よりも強化しました。回覧後の対応として、私は、主に春秋会の会員について、複数の事務所を訪問して面談させていただきました。自宅訪問をしたり、自宅に電話をかけさせていただいたこともあり、副会長からの直接の連絡については、失礼である、あるいは迷惑であると感じられた方もあったと思います。会員のために、会として必要な取り組みであると考えてのことですので、ご容赦下さい。

4. 法テラスとの関係

私自身、法律援助事業・日本司法支援センター対応委員会の委員長・副委員長を長年務めてきましたので、法テラスとの連携をより円滑かつ積極的なものにしたいたいの気持ちを持って今年度に臨みました。当会と法テラスとの協議の参加メンバー（委員会）の範囲を広げ、指定相談場所を新たに指定することを実現するなど、協議のあり方についてはそれなりに変化させることができましたと思います。しかしながら、年度後半になって、法テラス大阪法律事務所への常駐型（常勤）スタッフ弁護士の具体的な配置を巡り、法テラス大阪の事務局サイドと深刻な行き違いが生じてしまいました。このため、常駐型スタッフ弁護士の配置に関する当会の方針も再度転換せざるを得ないことになりました。この点は大変情けなく、また残念に思っています。

5. 会派の役割について

1年間を通じて、会派の役割についてはいろいろ考えるところがありました。7名の副会長はそれぞれ異なる会派から推薦されていますので、他会派の会派運営のあり方についても間接的に勉強させていただく機会になりました。副会長は、会規上、会長を補佐することがその役割です。もちろん、それぞれの副会長には推薦母体としての会派がありますから、推薦母体からの意見を会務運営方針に反映させることについても役割を果たさなければなりません。しかし、会派の意見のとりまとめは本来の役割ではありませんし、そのようなことまで副会長が行うことはとても不可能です。会員数が4800名を上回る当会の現状において、会派において議論をとりまとめて副会長にこれを提供する役割を果たしていただくことが会内民主主義のために重要であると感じました。

6. 最後に

春秋会から推薦をいただいて副会長を務めさせていただいたことは私自身にとって大変貴重な機会でありました。深く感謝申し上げます。他方で、皆様からの期待に沿うような働きができなかったことは専ら私の力不足によるものであり、申し訳なかったと思っております。今後、引き続き一会員として会務の一端をお手伝いさせていただくことによりお許しいただきたいと思っております。1年間ご支援ありがとうございました。



副会長当選のご挨拶

村瀬 謙一 (48期)

春秋会の推薦を受けて、令和3年度副会長に立候補し、無事、当選させていただきました。皆様のご支援、ご協力に感謝いたします。立候補にあたっての選挙公報では、以下のよう、抱負の一端を述べさせていただきました。

第1 はじめに

私は、大阪府内においても、高齢者や子育て中の女性、中小零細事業者等にとっては、法律事務所へのアクセスの問題があると考え、平成14年4月、阪急池田駅前に事務所を開設いたしました。以来、約19年間、近隣の相談者、依頼者のニーズに応えつつ、地元自治体の各種審議会の委員を経験するなど、地域に根差した法律事務所の実現に向け、一步一步進んでまいりました。

また、郊外の事務所ながら、市民窓口担当員、同運営委員会、紛議調停委員会など自治部門分野を中心に参加を続け、常議員として、また、常議員会副議長として会務全般を知る機会を得るなど、当会の活動にも積極的に参加してきました。家事調停委員、法科大学院の教員など、多様な分野での経験も積んできました。

こうした経験や小規模個人事務所を運営してきたことが、当会の運営にも何らかの形で活かすことが出来ればと思い、このたび、副会長に立候補させていただきました。

第2 新型コロナウイルス感染症への対応

誰も予想すらしなかったコロナ禍により、社会は不安・混乱の中にあり、司法分野、そして、当会もその例外ではありません。コロナ禍の中、弁護士業務・当会の活動の継続と感染拡大防止、この2つの使命を両立することは容易ではないでしょう。しかし、このような時期に執行部の一員となる以上、この容易ではない課題に確実に対応することが使命であると強く決意している次第です。突然の事態の中で、精一杯取り組んでいただいた現執行部の様々なご経験、会派で企画した「コロナ禍で我々が考えるべきこと」等をふまえ、この難しい課題に取り組んで行く所存です。

法律相談活動においてはWeb相談の導入など新たな相談形態も検討するなどして活動の継続をより確実にすること、新総合情報システムの導入をふまえた各種会員サービスの向上を行うこと、多数の市民参加が可能なりモート利用の行事の充実をはかることな

ど、この機会を逆に改革のチャンスと捉えて、各種の検討をなすべきではないかと考えます。また、様々な分野・領域において、人権擁護活動の中核を担ってきた当会としては、感染者・医療従事者・その家族等に対する差別誹謗中傷の防止に向けた啓発活動にも積極的に取り組むべきであり、感染防止を理由とした公権力による個人の情報管理の危険性にも注意をはらうなど、人権分野の活動も強化すべきであると考えます。

第3 不祥事防止対策の取り組み

基本的人権の擁護、社会正義の実現を担うべき存在になることを夢見て、私は、弁護士になりました。会員の皆さんも同じではないでしょうか。

ただ、昨今、社会正義とは真逆の違法行為に及ぶ会員がいること、事件放置に至ってしまう会員がいること、これは残念ながら、現実であり、目を背けることが許されない問題であります。懲戒事例や報道で知る内容のほか、これまで市民窓口相談担当員を経験する中では依頼者側の立場からみた不満に接し、紛議調停委員においては双方の立場からの意見を聞くことで、紛争の原因を深く知る機会にもなりました。弁護士が信頼される職業であり続けるために、また、誇りある職業であり続けられるために、弁護士自治堅持のためにも、不祥事防止の取り組みは、言うまでもなく、重要課題であります。

田中会長が座長を務められた不祥事防止等総合対策プロジェクトチームの答申内容で実現していないものの再検討、預かり金口座開示の事前同意制度を含め、各種の検討をさらに継続していくべきかと考えます。

また、難しい依頼者や相手方に遭遇した

こと、内容や量の面で対応困難な案件を抱えてしまったこと等、誰にでも起こりうる原因により、メンタル面への影響が及び、本来の力を発揮できなくなっている会員のサポート的な活動にも注力したいと考えています。弁護士になりたいと思ったときの志、弁護士になったときの志、会員の皆さんが誰一人それを失うことなく活動することが出来るよう、市民窓口相談、紛議調停事案等、様々な情報に接するであろう副会長として、全力を尽くしたいと思います。また、複数年度に及ぶ継続的なサポートが必要と思われる事案については、職務適正化支援特別嘱託弁護士を活用していくべきと考えます。

その他、非弁護士による法律事務所の実質的支配等、近時クローズアップされている問題にも気を配り、課題に即した適切な倫理研修の実施にも取り組むべきと思われる。

第4 会館運営について

会員数の増加により、現レターケース制度がスペース面で限界となりますが、新総合情報システムの活用等により、新たな枠組を確立していくべきかと思えます。また、公共性の高い当会館における喫煙室のあり方を含め、被災時の備えなど、会館運営には絶えず検討を重ねるべきかと考えます。

第5 春秋会の皆様へ

このほか、地球環境に関わるCO2排出削減や海洋汚染防止の問題、人質司法の打破を含め、弁護士会が取り組むべき課題は多岐にわたっています。浅学非才の身ではありますが、様々な課題に積極的に取り組む所存です。春秋会の皆様には、いっそうのご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

村瀬謙一 副会長を 応援します！

村瀬さんへの期待



三上孝孜 (21期)

村瀬さんは郊外に事務所を作り、地域で信頼を得るのみならず、弁護士会活動にも積極的に参加されていることは素晴らしいと思います。元ボス弁の山口健一さんから、村瀬さんは依頼者から絶大な信頼を得ていると聞いていました。

日弁と大阪で、私は憲法（護憲派です）と死刑廃止の委員会に入っていますが、最近憲法委員会の意見書等が、日弁や大阪の正副会長会で認められるのがむづかしい状況があります。会運営のバランスも大事ですが、各種委員会の意見書等の尊重にも配慮していただくことを期待しています。

「連帯する」弁護士会を 村瀬さんと作ろう



豊川義明 (23期)

二年間にも及ぶ新型コロナは、戦後日本社会と私達の生活のあり様に激震を与えている。社会を経済至上主義、市場原理にこのまま委ねておいていいのか。私達の人間としての生活に本当に必要なものは何なのか、をこの推薦文を書きながらも考えています。

この政策による市民社会の生命と健康の基本的インフラの縮小、中小の営業と労働（生存）の危機の進行は、公である行政、国家のそして司法がこの危機に何よりも役立つものであることを求めています。

弁護士会は、一人の市民も仲間も見捨てない、連帯するものに、さらに変化する時です。

この時代に村瀬さんの人柄、人格、これまでの活動歴は、「連帯する」会に最適なもの。私は村瀬さんが修習を終え、山口健一弁護士事務所に入所された時からの知り合いです。彼は快活な人柄で、彼の司法制度や行政活動での実績は素晴らしいものです。

弁護士と弁護士会は、戦後は人権擁護の公的

機関として市民社会とともに成長してきました。この危機の下に新たな時代を迎えようとする世界の動きがある時、村瀬さんの誠実さとパブリックへの献身、そして明るい人柄は、大阪弁護士会副会長として「うってつけ」です。継続可能な社会と市民の人権のために執行部としてご活躍ください。

村瀬さん、君ならできる。 がんばって



山口健一 (29期)

村瀬さんは、私の事務所で48期修習生として修習し、修習終了後の1996年4月に私の事務所に入所してくれ、6年間ともに仕事をしました。

2002年4月、池田に事務所を開設することになり、事務所から独立しました。

その時の村瀬さん独立の挨拶状に、私は次のように書きました。

「その人柄ゆえに多くの人から愛され、頼りにされた村瀬謙一弁護士が、私たちの事務所を築立っていきます。依頼者に対する謙虚な姿勢、事件に対する真剣な取り組み、その正義感と能力、労を決して惜しまない真摯さ、そして絶えず努力する姿勢。そんな村瀬弁護士の独立は、片腕をもがれるというのが実感であり、本当に惜別の情を禁じえません。しかし、彼のかねてからの念願であった、地域に密着し、地域の人に愛される郊外型の事務所を作りたいという夢の実現に、心から祝福を送りたいと思います。池田の地に、まことに頼もしい弁護士事務所が誕生するのです」。

あれから、19年。池田ではもちろん、弁護士会や、多くの団体での彼の活躍は、多くの人が

絶賛するところです。副会長としても、その能力をいかに発揮してくれると期待しています。

信義の人、村瀬さん



森下 弘 (33期)

村瀬謙一さんは、平成28(2016)年度の春秋会執行部の副幹事長のお一人でした。当時、副幹事長候補者の選考には難航を極めておりました。また、当時の慣例としては、重任はしないこととなっており、前年度副幹事長であった村瀬さんは、候補者リストには載っていませんでした。ところが、その人選難航をぼやいていると、「村瀬さんが、引継の関係もあるので、副幹事長を引続きしても良い」と言っているとの朗報をもたらしてくれたのです。『地獄に仏』とはこのことで、早速に村瀬さんへ連絡をとったところ、「前年度の状況が分からないと、困るでしょう。僕らの執行部のときもそうだったので」という、涙が出るようなお言葉（本当に涙が出ました）をいただいたのです。

平成28年度執行部では、卒業旅行が未了のままとなっており、目的地はインドということまでは決まっていたのですが、なんやらかんやからコロナやらで、お預けとなっています。

村瀬さんが無事大役を務められた暁には、インド旅行に行く予定ですので、それを期待して、村瀬さんには頑張ってもらいたいと思っています。

村瀬さんに感謝！



宮崎 裕二 (34期)

村瀬さんは、一見ひ弱そうに見える。実際、副会長候補者の決議をした総会の席上でも事件の関係で心が折れそうになったことを赤裸々に告白された。しかし、そんなことはない。このようなことを多くの人の前で言えること自体が、大変勇気のいることで、それはすなわち村瀬さんの強さの表れであると思う。

村瀬さんは、市民窓口運営委員会の委員長などの自治部門の要職を務めてきた。大変地味な活動である。それを長年続けられるということは、大変な忍耐力がある証しである。

村瀬さんは、誰よりも早く近郊都市に事務所を構え、今や池田市から感謝状を贈られるという、地元にとってはなくてはならない地位を築かれた。業務改革の観点からも、その先見性に拍手を送りたい。

村瀬さんは何よりも誠実な人で、誰からも信頼され、慕われている。私たちは、このような村瀬さんを春秋会の代表として執行部に送り出せることを誇りに思うとともに、副会長を引き受けた村瀬さんに心より感謝したい。そして、お身体だけは大切に無事に戻ってきていただきたい。

肩に力を入れすぎないで



福田 健次 (36期)

村瀬さん、副会長当選おめでとう。果たしておめでとうと言えるでしょうか。

この一年間、課題山積の弁護士会のかじ取りを担う執行部の一員として重責を負うわけですから。

こんなことを記すのも、村瀬さんが真面目すぎるからです。村瀬さんとは、これまでほとんど接点がなかったのですが、直近一年間の政策シンポの準備の姿等を見ていて、ほんとうに生真面目という印象を受けました。そんなところから、肩に力を入れすぎないでというタイトルにしました。普段どおりの村瀬さんの行動力で十分に副会長の役割をこなすことができます。自然体で会長の補佐役を果たして下さいね。私と次年度の田中宏新会長は畑執行部の同期の副会長ですから、話が通じやすい関係にあります。何かあれば、私も最大限の協力をしますので、7人の副会長を中心となって元気に活躍されることを願っております。

村瀬さんにエールを送ります



岩城 穰 (40期)

村瀬謙一さん、副会長ご当選おめでとうございます。

私は村瀬さんとは、住友生命ミセス差別事件

や数件の過労死事件をご一緒させていただきましたが、文字どおり誠実さを絵に描いたような方で、心優しく、また豊かな人権感覚をお持ちの方です。

池田市という遠隔地で個人事務所を経営しながら、これまで春秋会や弁護士会の活動にも地道に取り組んでこられたことに敬意を表していましたが、今般、副会長に就任されるということで、本当に頭が下がる思いです。

地理的な条件や個人事務所経営をしながら、またコロナ禍による難題が山積している中での副会長職は、ご負担もご苦労も大きいことと思いますが、健康に気をつけて頑張ってくださいることを期待し、心からのエールを送ります。

よろしくお祈りします。



青木 佳史 (41期)

村瀬さんの印象は、一にも二にも、実直と誠実の人です。市民窓口の相談担当を私もしばらく務めたことがあります。実に気が重いものでした。弁護士業務について依頼者目線で寄せられる様々な苦情は、誤解によるものもあるけど的を得ているものも多く、同業者の下手際はやはり気が滅入るものです。ただ、こうした声を丹念に聞き、時に弁護士との橋渡しにもなる地道な役割は極めて大切な自浄作用の1つであり、弁護士自治にとっても欠かせないものです。村瀬さんは、この市民窓口担当を長年勤められたばかりか、市民窓口運営委員会の委員長まで務められ、さらに綱紀委員会や紛議調停委員会も担ってこられた「自治部門」のプロです。なかなかマネできるものではありません。市民の声に真摯に耳を傾ける姿勢と隘路に陥った弁護士

の業務を支えたいという熱い思いがあり、それを粘り強く実践できる資質と人柄があってこそです。副会長としてこれほど信を寄せることのできる人はありません。4月から会館に陣取り、さらに幅広い市民や会員の声を誠実に受け止め、実直に実践していかれる姿が目に見えようです。一年間どうぞよろしくお祈りします。

自由自在に駆け抜けて



吉田 之計 (41期)

春秋会旅行、スキー、ゴルフ等の懇親行事で村瀬君と親しくなりました。

春秋会スキー旅行でニセコに行きました。夕暮れで高低差が分からず、ジャンプで転倒し、左手首を骨折しました。スキー板を右手で抱えて人のいなくなったグレンデをトボトボと歩いてたとき村瀬君が現れました。村瀬君にスキー板を抱えてもらい、やっとの思いでホテルにたどり着くことができました。

弁護士会主催の運動会のハイライトは、各派対抗戦と3斤対抗戦です。関大1中グラウンドで開催されていた頃の春秋会チームは、各派対抗戦でいつも敗退していました(私はこの頃のメンバー)。そこで走れる若手弁護士を中心にチーム編成をし、各派対抗戦だけでなく、3斤対抗戦も優勝するようになりました。その当時の主力メンバーが山西さん、飯島さん、濱田さん、岩本さん、村瀬君です。

幹事長時代には副幹事長として、いろいろと補佐してもらいました。私が「いずれは副会長に」と言ったとき、はにかんでいました。心優しく、はにかみながらも、力いっぱい駆け抜けてください。

村瀬謙一さん、 ありがとうございます。



井上洋子 (44期)

村瀬さんを見ていると、顔がよくて、運動神経がよくて、性格が良くて、頭も良いので、神様は不公平に過ぎる、どこか欠点があるにちがいない、とひがんだ心が私に巣くいます。しかし、新人弁護士のころから拝見し、そして、最近では2016年の青木佳史副会長、森下弘幹事長のときに、副幹事長としてご一緒しましたが、欠点を見つけられないままです。

そのような村瀬さんが、人材として、春秋会から副会長に選出されるのは自然の成り行きかと思えます。

副会長職は忙しくて責任が重いので大変だと思います。また、春秋会はメーリングリストでいろいろな意見も出るので、それも大変だと思いますが、会派選出副会長は弁護士会と会員の橋渡しなので、情報提供、意見交換など、あまり神経質にならずにMLにもおつきあいただければ幸いです。

そんな大変な副会長職を引き受けて下さって、ありがとうございます。応援しています。

信頼と実行力の村瀬先生



飯島奈絵 (46期)

2006年頃、春秋会親睦企画のブレーションストリングで、メンバーが実現困難な夢物語を口々に呟いた時、私は、「カップヌードル・ミュージアム大阪池田」の「チキンラーメンファクトリー」に行きたいと呟きました。親子お料理教室形式で、日清チキンラーメンを粉から作り、自分のデザインしたパッケージに入れて持ち帰れる大人も子どもも大喜びの施設です。毎月1日の申込日に瞬時に予約が埋まるプラチナチケットで、およそ無理だろうと思っていました。

ところが！！池田市で事務所をされている村瀬先生が春秋会の申込人数分、まとめて取れるかもしれないと言われ、ホントに実現くださいました。ミュージアム満喫後の不死王閣のお座敷での素晴らしい懐石+温泉も村瀬先生が手配くださいました。穏やかで謙虚で、ゆるぎない信頼と実行力を備えた村瀬先生の真骨頂に感嘆しました。

それ以降、村瀬先生には色々お世話になっており、一生頭があがりません。

村瀬先生頑張って下さい



大久保康弘 (46期)

村瀬さんは、25年ほど前、私が弁護士登録して間もない時期から存じ上げておりますが、その能力や人柄を深く知るようになったのは、2017年の吉田執行部で、ともに副幹事長を務めた時のことです。

私が会派の執行部に入ったのは後にも先にもその年度だけで、常議員も1年だけでした。吉田執行部は、山口健一先生を無事大弁の会長に送り出すという大目標があったのですが、無事に山口先生が会長になられて、私の役割は終わったと思い、会務は引退しました。実際には、1年で音を上げてしまったというのが本当のところですが。しかし村瀬さんは、吉田執行部のあとも、引き続き常議員をされたので、会務への熱意には驚きました。事務所が池田にあり、会館から離れていることを思えば、細身の体のどこにそのバイタリティがあるのか、とその熱意はなおさら驚嘆に値します。

吉田執行部の時も、村瀬さんは笑顔を絶やさず気持ちよく会務を進めることができました。弁護士会の役員室でも、気分よく仕事をされることと思います。

まだまだコロナの影響で大変な時期ですが、村瀬さんなら大役を果たせると思い、期待しています。頑張って下さい。

実はユーモラスな村瀬さん



小林徹也 (46期)

村瀬さんとは、90年代終わりから数年間は、大きな労働事件や消費者事件で、それぞれ毎週のようにお目にかかっていました。

真面目で優秀。これは皆さんご存知のとおりですが、加えて、彼は実はとてもユーモラスなのです。もちろん、彼自身がふざけたことを言うわけではないのですが、例えば、僕が「ふとん(布団)がふとんだ」などと下らないダジャレを言うと、彼は不思議な、人なつっこい笑いを見せてくれるのです(きっとこの原稿を読んでもニマリしているはず)。僕はそれがうれしくて、彼にだけは安心してつまらないことを言っても笑わせて、一方的に「心の友」と思っていました。

さて、コロナ渦で、重要かつ困難な課題が山積している弁護士会において、副会長にという重責を担われるのを見るにつけ、困難な船出に旅立つ友人を港で見送るような気持ちです。

もちろん、村瀬さんなら、この難局を最善の航路を見つけて進みきると信じています。他方で、だからこそ、本来持っているユーモラスな側面を忘れずに、時折は肩の力を抜いてほしいです。どなたか、身近におられる方は、積極的にくだらないギャグを言って、強引に笑わせてあげてくださいね。

村瀬さん、頑張って！



平尾 宏紀 (46期)

村瀬さんが来年度大阪弁護士会副会長候補に推薦されることとなった。

村瀬さんとは、お仕事をご一緒したというような経験は記憶にないが、修習期が近いこともあり、テニス、ゴルフ、昔はボウリングなど、もう20年以上も親しくさせていただいている。実は、この原稿を書きながら違和感を覚えている。というのは、改めて考えてみると、普段は「村瀬」と呼び捨てにしているのだ。「村瀬さん」とは、呼ばれた本人もくすぐったいのではなからうか。

そんな関係であるので、人となりは理解しているつもりである。

第一に意志が強い。その穏やかな風貌に似合わぬ強靭さである。もちろん、他人の意見を受け容れる度量も備えているので、頑迷ではない。

第二にバランスがよい。危なっかしいバランス感覚ではなく、「ザ・安定感」とでもいうべきバランスである。

第三に明るい。会務は明るくこなしてもらいたいと思っているので、ぴったりの人選である。副会長の激務も明るく全うされるであろう。

司法界は、全般的に長期低落傾向である。加えて、コロナ禍の影響も当然免れまい。

このような司法界、そのリーダーたるべき大阪弁護士会の副会長として、強靭な意志、比類なき安定感、底抜けの明るさは、大きな武器であろう。

だから、私は村瀬さんに期待する。

頑張れ！村瀬！！

快男子、頑張ってください。



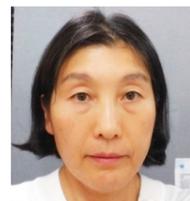
岩本 朗 (47期)

村瀬さんとは、1期違いで昔から面識がありますが、同じ委員会に所属したことや事件と一緒にしたことはなく、春秋の活動の中で接点ができました。副幹事長を2年続けて引き受けたことがあるなど、頼まれごとを断らないし、しんどくてもいつも笑顔です。私も頼まれごとは断らないほうですが、愚痴が多いし、しんどいと顔に出てしまい、全然かっこよくありません。この点、村瀬さんはかっこいい快男子だと思います。

村瀬さんは、人の気持ちにも配慮できる一方で、考え方にしっかりした芯のある人でもあります。今年度の政策シンポのときも、議論になると、優しい口調で結構ズバズバ切り込んでくるので、私はたじたじとなりました。

来年度もコロナ禍のもとでの会務運営が続き、厳しいこと、しんどいことが多いと思いますが、村瀬さんならきっと大丈夫。私は心から応援しています。

村瀬先生、皆で応援しています！



黒田 愛 (47期)

村瀬さんは、2012年4月に池田市に池田第一法律事務所を構えられ、郊外型事務所の草分け的存在とされました。裁判所から離れた場所

にある事務所はまだ珍しい時代でした。多くの市民の方々にとって「弁護士さん」はとても遠い存在でした。村瀬さんは、池田の地に根を下ろし、司法改革が目指した「国民の社会生活上の医師」を日々実践されておられます。

私は、2014年度の吉田之計先生の下での春秋会執行部で副幹事長として村瀬さんとご一緒させて頂きました。Zoomなどない時代、正副会議も幹事会も全てリアルでの開催、大変なご苦労だったと思いますが、私は当時、村瀬さんが遠くから参加するのが大変だと言っているのを聞いたことはありません。次年度の会長、副会長候補者であった山口さん、青木さんとの意見交換会を企画し、全回、大阪弁護士会に出向いて同席されていました。そして、様々な意見の1つ1つに耳を傾け、まじめに対応されていました。とにかく村瀬さんは、いつでも相手のことを心配し、思いやっておられます。そして、ひとつのことを粘り強く結果が出るまで取り組まれます。そんな村瀬さんが、副会長として立派に職責を果たされるであろうことに疑いの余地はありません。

村瀬先生、健康に気を付けられ、思う存分力を発揮して下さい。

村瀬さんがんばれ



濱田 雄久 (47期)

副会長に村瀬さんが就任、本当にうれしい話です。

裁判所周辺以外の場所にある事務所がまだ珍しかった時期に、池田の地に飛び込んで事務所を開設した先見性、すごいなあと思っていました。

また村瀬さんは会務の中でも市民窓口で市民からの弁護士への苦情対応をしていられています。残念なことです。会役員の重要な仕事として弁護士不祥事への対応という点があり、市民の意見に触れる最前線におられた経験は非常に大きいと思います。

また何よりの魅力が、その優しく温かい性格です。チームワークが問われる役員室に、話やすく明るい雰囲気を生み出してくれるに違いありません。

フルマラソンで鍛えた体力で、一年間走りきってください。期待しています！

初心を忘れることなく



原野 早知子 (47期)

村瀬先生は48期、私は47期で、1期違いになります。

1995年12月に提訴した住友生命既婚女性差別事件で、登録したての村瀬先生に原告弁護団への加入をお願いし、快く引き受けていただきました。原告12名の労働事件で、弁護団員各自が担当原告を持ちます。村瀬先生は最後まで責任を持ってやり抜き、2001年6月の原告全員勝訴の地裁判決、2002年12月の高裁の和解に貢献されました。

また、村瀬先生の登録直後から、過労死事件もご一緒しました。労基署段階で労災が認められず行政訴訟まで行い、やはり7～8年がかりで民事の損害賠償とともに勝訴しました。当時は我々も若く、打合せの後、村瀬先生の奥様も一緒に深夜までカラオケをしたのが懐かしいです。

職場で差別された女性や、家族を失った遺族

の悔しさを受け止めて奮闘した、村瀬先生の気概と誠実さは、弁護士会運営の基礎としても重要なものと思います。初心を忘れることなく、健康に気をつけ頑張ってください。

万能の村瀬君に期待！



岡本 岳 (48期)

実務修習で同じ班だった村瀬君は、講義などで返答するときは事実や社会事象の裏面も意識したしっかりとした発言をし、起案ではチラッと見ると綺麗な字でびっしり書き込んだものを提出し、ボウリングでハイスコアを出しては上手なダンスで喜びを表現し、当時から理論的・実務的能力、事務処理能力、体力、芸能力の全般にわたり大器の片鱗を見せていた。

弁護士になってからも、すぐに和歌山カレー事件の弁護士としてテレビにも頻りに登場し、同期の集まりには必ずと言っていいほど顔を出し、独立にあたっては当時ではめずらしい郊外型事務所を池田市に構えて市役所や異業種交流会に積極的に顔を出して地域とのかかわりをつくり、市民相談窓口でも積極的にかかわって弁護士の不祥事解消と市民を守る意義ある活動に取り組み、登録から25年を経た今日までの村瀬君の苦勞、努力、活動は並大抵ではない。私と違って全てに秀でている村瀬君が副会長となることに心から敬意を表し、期待する。

活躍間違いなしですね！！



白倉 典武 (48期)

村瀬先生、来年度の大阪弁護士会副会長候補推薦、おめでとうございます。大学生のときから30年以上にわたっておつきあいのある村瀬先生が副会長になられること、たいへん嬉しく思っています。ご活躍されること間違いなしですね。応援しております。

市民目線に立つ弁護士の先駆者として



高江 俊名 (48期)

48期で同期の村瀬さんは、郊外型事務所というものの例がまだほとんどなかったときに、市民の司法アクセスの改善を志し、独立して、阪急宝塚線の池田駅前事務所を構えられました。相談者や依頼者の便利を考え、その近くに事務所を置くというのは、利用者の目線に立てば当然のことであり、今こそ郊外型事務所も当たり前の時代になりましたが、私自身も含め、私たち弁護士の多くは、そのような当然ともいえるべき発想の転換がなかなかできませんでした。そのような中で、いち早く郊外で開業された村瀬さんの先見の明とパイオニア精神には敬意を表するばかりです。

村瀬さんは、これまで、市民窓口運営委員会の委員長なども務められ、その経験から、弁護

士不祥事の未然防止のために、市民窓口情報の活用のあり方などについても問題意識を持っておられます。

村瀬さんなら、常に市民目線に立つ弁護士の先駆者として、弁護士会が直面する様々な課題に取り組んでいただけるものと期待しています。

村瀬君、副会長ご就任おめでとうございます。



鍋本 裕之 (48期)

村瀬君と私は、修習同期であり、司法研修所のクラスも同じ2組、実務修習も同じ大阪3班、弁護士登録後も同じ春秋会に所属しており、長年にわたり、とても親しくお付き合いさせてもらっています。

後期修習中、和光から大阪へ2人で車で帰省した際大雪に見舞われ、20時間近く2人で車中で過ごしたこと、岡山市で開催される西日本法曹テニス大会にダブルスを組んで出場し優勝できたこと(Cクラスですが・・・)など、いくつもの懐かしい思い出があります。

村瀬君の長所といえば、まずスポーツ万能という点です。村瀬君とは、ゴルフ、テニス、ボーリングなど散々一緒にやりましたが、どれをとっても一級品の腕前です。

次に、マメで段取りがよく、かつ心配りが素晴らしい点です。ゴルフ場やテニスコートの予約、テニス大会の申し込み、阪神戦のチケットの手配、これらの日程調整や、打上げの飲み屋の予約など、自慢ではありませんが私は一度もしたことがありません。すべて村瀬君がやってくれています。

弁護士会の役員の資質として、激務に耐える

体力と種々の仕事や課題をこなすマネジメント能力が求められますが、村瀬君はそのような資質を十分お持ちということになります。

コロナ禍の折り、弁護士会も様々な対応・変化が求められ、大変かと思いますが、是非頑張ってください。応援しています。

ご活躍ください。



林 邦彦 (48期)

村瀬さん、この度は、副会長当選おめでとうございます。

村瀬さんは、大学は違いますが、同じ学年で、司法研修所も同期(48期)です。

48期は、ちょうど独立する時期と、郊外の事務所開設を推奨するようになる時期が重なっており、独立して大阪市外に事務所を構える弁護士が、他より多い印象です。

そうした中でも、村瀬さんは、トップランナーの一人です。

先日のインタビューでは、独立についてはボスである山口健一先生からも積極的にアドバイスを受けられたとのことで、山口先生から薫陶を受けられたことも素晴らしいところと思います。

村瀬さんは、池田と西天満の距離をものともせず、弁護士会の委員会活動や会派の業務もしっかりこなされて、副会長に当選されるに至って、非の打ちどころがありません。

加えて、村瀬さんは、スポーツ万能で、春秋会でも、テニス、ボーリング、ゴルフも、運動会のリレーでも活躍されるという、輝かしい実績もあります。

同学年同期としては、村瀬さんが春秋会から推薦され副会長に当選されたことは、誇らしい

の一言に尽きます。

コロナ禍の状況にあり、難しい判断にも迫られるかとは思いますが、くれぐれも、無理をせず健康には留意して、1年間乗り切ってください。

村瀬さん、頑張ってください！



藤井美江 (48期)

同期の村瀬さんが副会長に立候補されるということで、村瀬さんのお話を何度か聞かせてもらいました。

村瀬さんは、候補者なのにどことなく遠慮がちで、仕事で精神的に辛いご経験をされたことも赤裸々にお話をされました。皆を引っ張っていく頼もしいリーダーも必要ですが、村瀬さんのような人の方が、背後にたくさんの味方がいて、皆に支えられて、実は、とてもとても大きな力を発揮されるのではないかと思います。

私も、皆と一緒に村瀬さんを応援しています。がんばってください。

村瀬さん、無理せず、がんばってください。



伊加井義弘 (49期)

村瀬さんと私は同じ神戸大学の出身であり、そのご縁で以前から接点がありましたが（特にテニスやボウリング等の親睦的行事）、2016年

度、森下弘幹事長の下、同時に副幹事長に就任し、より深く関わることとなりました。

私の方は春秋会の活動にそれほど参加していたわけではなく、やはり同じ神戸大学出身の森下幹事長からの（強引な）お誘いにより就任したのですが、村瀬さんは前年度も副幹事長を務めており、2年連続副幹事長という、実に奇特な方です（笑）。

私と違って、村瀬さんは実に手慣れており、積極的に、てきぱきと、そつなく、業務をこなされていましたが、それでも常に飄々とされていました。

一方、村瀬さんは、家庭も非常に大事にされており、家庭のお務め等を優先して、執行部内での飲み会も早めに抜けることなどが、よくありました。

村瀬さんのことですから、激務の副会長職も、積極的に、てきぱきと、そつなく、飄々とこなしながら、これまでどおり家庭を大事にしている姿を想像しています。

村瀬さん、1年間、無理せずにがんばってください。応援しています。

村瀬先生、よろしくお願ひします！



有村とく子 (50期)

弁護士登録間もない頃、初めて過労死事件の弁護団活動に加えていただいたとき、先行部隊でいらっしゃったのが村瀬先生でした。穏やかで物静かなたたずまい、誰に対しても丁寧で、人のことを悪く仰るのを聞いたことがありません。あれから20年、心やさしく誠実なお人柄は今も変わりなく、そこが村瀬先生の大きな魅力

のひとつです。事件活動で一緒にさせていただく機会はなくなりましたが、池田第一法律事務所を開設され、地域に根ざした法曹として活躍されるとともに、弁護士会や春秋会で実に多種多様な役割を担ってこられたことは折に触れて見聞きしてきました。コロナ禍が続くなか、1年という限られた任期中で弁護士や弁護士会の果たすべき役割や課題はあまりに多く、心身ともにご負担は一層重くなることが予想されます。内外からの圧を受け止め弁護士会の理事職を務められるのは、本当に大変なことでしょう。敬服の念は強まるばかりです。どうか健康に留意され、地道な活動の中で培ってこられた力を今こそ大いに発揮してください。

村瀬先生、頑張ってください！



上田 純 (50期)

村瀬先生とは、若手会の頃、家が比較的近所だったこともあり、会派ゴルフ等でよく車に乗せてもらいゴルフ場まで一緒に連れて行ってもらっていました（今更ながら本当にありがとうございました）。

春秋会で若手会ゴルフや親会ゴルフも消滅した（最近復活したようですが）ので、最近は余り一緒にいる機会がありませんでしたが、昨年度は政策委員会で一緒にさせて頂きました。

村瀬先生は、何ととっても安定感抜群です。常に落ち着いて冷静に発言されます。また、郊外（池田市）に事務所を構えておられながらも、そのハンデをものとせず、弁護士会活動や会派活動に熱心かつ実直に取り組んでおられます。

このように、安定感があり、冷静かつ実直な村瀬先生は、大阪弁護士会の副会長としても、

弁護士会のために素晴らしいご活躍をされるに違いありません。

村瀬先生、1年間、健康に気をつけて頑張ってください。

村瀬先生、頑張ってください！



小野昌史 (50期)

私が受験時代に受けていた答案練習会の優秀答案例の常連に村瀬先生のお名前がありました。大阪で受験時代を過ごした50期前後の法曹関係者にはお分かりいただけると思いますが、非常に丁寧な文字で書かれた答案は論理が明快でとても読みやすく、いつも感心させられていたことを覚えています。

その後、大阪で弁護士になられた後の村瀬先生のご活躍については、春秋会のみならず大阪弁護士会の皆さんのご存じのとおりです。

村瀬先生とは、修習委員会や会務等でご一緒させていただく機会がありましたが、あらゆる場面でもどんな相手に対しても常に柔らかい物腰と丁寧な言葉遣いで対応しておられ、弱い立場にいる者に気を配りながら丁寧に物事を進めていく村瀬先生の姿勢にはいつも感心し、弁護士のあるべき姿を勉強させられています。

決して多数に流されることなく、弱者への心配りを忘れない丁寧で細やかな対応で全体を調整して着実に物事を進めていく。そんな村瀬先生が、個性豊かな面々が揃っている大阪弁護士会の副会長として適任であることは間違いありません。

村瀬先生、これから副会長としてさらなる激務をこなされることと思います。池田市の事務

所のことも気になるとは思います、無理をし過ぎてお身体をこわさないように気を付けて頑張ってください。微力ながら応援させていただきます。

こんなときだからこそ チャレンジしてください



小橋 るり (51期)

村瀬さん副会長ご就任おめでとうございます & 有難うございます。村瀬さんの持ち味は何と言っても最後まで諦めないことですよね。問題解決するにあたり、何か突破口がないか見落としがないかを粛々と探し、そして淡々と提案し実践していく、そんな村瀬さんは会員の、特に若手からみればお兄ちゃんみたいな感じですね。一年間職務に携わる間にはお疲れも出るかもしれませんが(きっと出る!) そのときは遠慮なく弱音を吐いてください。必ず疲れを吹き飛ばす「何か」をします。これまでとは異なりコロナ禍のもとでの会務運営はご苦労が多く、思うようにできないことも多々あると思います。なので、そういう状況を逆手にとってこれまでにない「チャレンジ」をたくさんしてほしいです。村瀬さんの穏やかな笑顔が途中で凹み顔にならないよう言うだけやなしに身体を使って応援します!

村瀬先生、応援しています!



山本 淳 (51期)

村瀬先生とは期も近いので、若手の頃には若手会やゴルフで一緒にさせていただくことが度々あり、柔和で、後輩にも優しく、落ち着いた感じの先輩だなどその頃から勝手に親しみを感じておりました。また、まだまだ郊外型事務所が一般的でもなかった時代に、弁護士としてバリバリと活躍したタイミングであえて郊外に事務所を出されたことに、近い期の者として驚きと畏敬の念を感じたことを思い出します。昨年度は政策委員会でご一緒させていただきました。村瀬先生のお人柄は皆さんに説明するまでもありませんが、穏やかそうな雰囲気身をまといつつも、私などが中途半端なことをすると、すぐに厳しい指摘を受け、やはり副会長職を務めようという能力のある人は、なかなか厳しいなあとも実感しました。昨年の政策シンポジウムで、司会者の村瀬先生が、パネリストの岩本(前)副会長に、弁護士の課題について「聞きたいけど、聞かれたらきっと困るよね(^ ω ^)」といった鋭い質問、つっこみを次々と浴びせかけ、岩本(前)副会長が「うーん」と唸る場面が何度もありました。まさか「自分で将来の自分の首を絞めようとしているのか!？」と疑いましたが、いやいや、きっと自分が副会長職になられた際のご自身の使命を再確認し、自らを鼓舞されていたのだと信じております。村瀬先生、ご自身の出番です! いざ!

静かな情熱で難局を 乗り切ってください!



山下 真 (52期)

村瀬先生、大阪弁護士会副会長就任、誠におめでとうございます。

私は、かれこれ20年前、弁護士登録直後にお世話になった山口健一先生の事務所で、兄弁である村瀬先生から様々なご指導を受けました。村瀬先生は、当時から、誠実かつ謙虚で、静かなたずまいの中に熱い情熱を秘めておられました。当時は、債務整理事件の大変多い時期で、村瀬先生はたくさんの事件を担当されておりましたが、いつも淡々とデスクに向かい、また依頼者にも大変優しく接しておられました。「芯の強い方」という印象でした。私が入所後3年目に独立されました。当時はまだ珍しかった郊外型の法律事務所を設立され、依頼者に近いところで、寄り添いたいと設立の思いを語っておられました。現在のコロナ禍のもと、弁護士会も様々な新しい課題に直面することになりますが、その静かな情熱で乗り切ってくださいと確信しています。頑張ってください。

「スマートかつ温厚篤実」の 体現者



吹矢 洋一 (53期)

村瀬先生とは、私が新人の頃、会派の親睦行事のご縁でかわいがって頂くようになりました。

実は、妻とは村瀬先生に誘って頂いた親睦行事で知り合っており、公私ともに村瀬先生には大変お世話になっております(村瀬先生、ありがとうございます<_>)。

村瀬先生はスポーツ万能で、プライベートでゴルフやボウリングなどをご一緒しました。ゴルフは、「プレーヤーの性格を如実に映し出すスポーツ」と言われますが、村瀬先生は、ミスショットがあってもいつもにこやかで、同伴者への気配りを忘れず、まさに「温厚篤実」という言葉の体現者です。

村瀬先生は、弁護士会や会派の要職を歴任されていますが、皆様もその随所で、スマートななかにもユーモアを交え、他者への配慮がなされた村瀬先生の人柄に触れられているものと思います。

パンデミックの懸念が強まる昨今、弁護士会もますます難しい対応が求められると思いますが、村瀬先生ならば、スマートに、かつ多くの方への配慮の行き届いた業務遂行をしていただけるものと確信しています。

会員が安心できる弁護士会への改革を期待します



大西克彦 (54期)

副会長のご当選おめでとうございます。

村瀬先生が池田市で事務所を開設されて少し経ったころ、地域に密着する事務所を紹介する会報記事のために訪問させてもらったことをよく憶えています。地域社会との繋がりや事務所の様子に興味深く、また楽しそうに説明していただきました。当時ではまだまだ珍しい地域密着型の事務所という状況のなかで、思い切って行動をされるところが村瀬先生の強さではないかとひそかに思っています。

また、一昨年は市民相談窓口の委員長として活躍されている様子を間近で見してきました。弁護士を取り巻く環境は年々難しくなるなかで、村瀬先生は「大阪弁護士会の問題を解決していきたい」「困っている会員を助きたい」という気持ちを持っていました。村瀬先生は、大きな声は出されませんが、静かに熱い気持ちで語られるというのが私の印象です。

弁護士会や会員とっても大変な状況がこれからも続くと思われまますので、依頼者や社会に対する責任だけでなく、会員の誰もが安心できるような弁護士会に改革してもらいたいと思います。ぜひ村瀬先生の行動力と優しさをもって、会員が安心できる弁護士会に改革されることを期待しています。

宜しく願いいたします！



中森俊久 (55期)

昨年末、村瀬弁護士のインタビューをさせていただいた時、ご両親ともに教師であるとお聞きし、「なるほどな」という印象を受けました。「弁護士以外の職業だったら、自分は絶対無理やと思う。」と自覚する弁護士が多い中、村瀬弁護士でしたらどんな職業でもウエルカムに頑張るでしょうし、教師であれば尚更、教壇に立つそのイメージが湧いてきます。また、タフさと温和さと器用さを兼ね備えた村瀬弁護士ですから、その場の状況を把握し、必要な対応をしながら、結果として成果を生み出すことに長けているはずで、弁護士会の役員に適任でないはずがありません。コロナ禍が続く大変な状況の中、舵取りが難しいかもしれませんが、適度にストレスを発散しながら、頑張ってくださいませ。応援しています！

村瀬さん、頑張ってください。



西原和彦 (55期)

私が村瀬さんのことを初めて知ったのは、私が弁護団員として参加していた薬害（C型）肝炎訴訟を通じて知り合った、現在は春秋会会員の田積祥子さん（当時は学生でした）が就職した事務所のボス弁護士だったという縁です。また私

の事務所に合流している國本依伸さんの元兄弁という関係でもあり、ずっと親近感を感じていました。

村瀬さんは郊外型法律事務所のパイオニアのひとりとして池田市に事務所を開設され、弁護士会ではずっと市民窓口運営委員会で着実な活動をされてきました。人の目には付きにくいけれども大事なことをコツコツと地道にやり続けられる方ですので、次年度は、弁護士会にとって大事なことを、さらに着実に進めて頂けるであろうと確信しています。また私が所属する弁護士倫理委員会でも、来年度は地道な課題にチャレンジすることも考えております。村瀬さんが担当副会長になられる予定で、大変心強く思っております。どうぞ宜しくお願いします。1年間、頑張ってください。

「懐の深さ」と「胆力」の人



今井力 (56期)

私が村瀬先生と親しくなったのは、2016年度のことです。村瀬先生が春秋会の研修委員会担当副幹事長で、私が研修委員長でした。

私のイメージする村瀬先生の人柄は、「懐の深さ」と「胆力」です。

謙虚な姿勢で、かつ、優しく人の話を聞ける包容力。「靴磨き研修」など異色の企画立案する研修委員会メンバー（私）を優しく見守り、周りを安心させる寛容さ。村瀬先生の「懐の深さ」に、心底感銘を受けました。

そして、「懐の深さ」から来る柔軟さを持ちつつも、従来の慣行にないことでも、一度決めたら最後までやり抜く決断力と行動力を兼ね備えた「胆力」。春秋会の政策委員会でも、「意見交

換会」と位置付けてホットなテーマにスピーディに取り組むという、従来にはないスタイルを、2018年度の岩本副幹事長・村瀬委員長のコンビで作りに上げてくれました。

村瀬先生、持ち前の「懐の深さ」と「胆力」を遺憾なく発揮して下さい。副会長になっていただいたことに感謝するとともに、心から応援します。

村瀬副会長を応援します。



唐崎浩司 (58期)

村瀬さんとは平成27年度、春秋会の副幹事長で一緒に過ごしてもらいました。村瀬さんとは同じ郊外型の事務所規模も同じ程度ですが、池田市と堺市と距離が離れており、弁護士業としては接点が少なくないです。村瀬さんと会えたのは春秋会という活動を通じてで、思えば会派という存在意義を体現していると思います。

村瀬さんの人柄は、穏やかそのもので、いつもニコニコとされています。意見は素直にお話になりますが、反対意見にも配慮され、決して角の立たない徳のあるお人柄です。気が短く、辛抱や我慢が苦手な私などは、この身の小ささを実感した次第です。

副会長の大役で、しかもコロナ禍が続く舵取りの難しい1年となりますが、村瀬さんは、ニコニコと乗り越えて頂けると思います。

村瀬さんの副会長としての活動を心から応援しますので、皆様の暖かいご支援をお願いします。

和を以て貴しとなす



浦 寛 幸 (59期)

村瀬さんは自分の長所は「誠実さ」とおっしゃっていて「すごいなあ」と思い、感銘を受けました。自分以外の方の長所はとても羨ましく、私にも人に誇れる長所が欲しいなあなんて思う日々ですが、誠実さを長所にあげることのできる方なんて、そうそういるものではありません。村瀬さんは「温厚」の語源になったのではないかと、いほど温厚な方です。いつもカリカリ★イライラしている、温厚さのカケラもない私としましては、常に「見習わなければならない」という存在、それが村瀬さんです。副会長のお仕事はとても大変だとは思いますが、一年間、どうぞお体に気を付けて、持ち前の温厚パワーで、乗り切ってください！心より応援しております！なお、この似顔絵は村瀬さんです。私ではございません。誰が描いたかは秘密です。

村瀬先生、応援します。



間 野 泰 治 (59期)

村瀬先生、副会長当選おめでとうございます。私が村瀬先生とお付き合いさせていただくようになったのは、平成27年度（間違っていたらすみません。）会派の執行部で一緒にさせていただいたときからになります。当時の私は、なすことすべて初めてで終始バタバタしていた状態で

したが、村瀬先生は、冷静沈着にご自身の担当職務を遂行されておられました。また、温かな空気を常にまといおられるため、私のような若輩者でも非常に話しやすかったことを覚えております。

また、内容を特定することは避けませんが、近年においても非常に複雑な問題が議論されている中で、火中の栗を積極的に広い、指摘すべきところは指摘するという姿勢を拝見し、非常に感銘を受けました。

現在、コロナ禍により司法制度や弁護士業務の在り方についても急激な変化がみられ、弁護士自身の世代間の考え方の違いというものが顕在化してきているように感じられる状況の中、村瀬先生であれば、この難しい局面においても必ずや良い結果を弁護士会にもたらしていただけるものと信じています。

1年間、体調に気を付けて頑張ってください！

村瀬先生、がんばってください！



豊 田 祐 介 (60期)

村瀬先生と初めてお会いしたのは、平成20年か同21年の会派対抗ボウリング大会か夏冬会（公然のボウリング秘密結社）であったかと思えます。大会では散々なスコアであった私にも優しく接してくださり、偶に路上ですれ違うだけでも丁寧にご挨拶くださる大変お優しい方です。

また、春秋会メーリングリストの時に相当厳しい内容のものについて、冷静に意見を述べられるのを見るにあたり、自治部門関係に携わってこられた先生の調整力の高さ、懐の深さを感じられます。

弁護士不祥事を聞くことが多い近時、その防止のための指導監督強化等に関し、先生のおっしゃる市民窓口情報の活用強化がどのように実現されるのか注目したいと思います。また、弁護士会の事務の効率化についても問題意識を有しておられるとのこと、ぜひ実現に向けた活動をしていただきたいと思います。

村瀬先生、コロナ禍もあって大変と思いますが、がんばってください！

副会長ご当選おめでとうございます。



東 尚 吾 (61期)

私は、弁護士登録後3年弱、池田第一法律事務所に在籍し、村瀬先生には弁護士としてのイロハを叩き込んでいただきました。

恩師の人物像を勝手に分析しますと、普段、穏やかで柔軟な面に加えて、相当ユーモアが好きの方だとふんでいます。常に、俯瞰する冷静さと温かさを失わない。深刻な状況でも、周囲に余裕を感じさせ、着実に課題を解決していくその姿はカッコイイと思っています。

大阪弁護士会の課題は山積かもしれません。池田の地から見えていた課題も多々あると思います。弁護士会全体の閉塞感もなんとなく感じます。

そんななか副会長という仕事は相当大変だと思いますが、村瀬先生は穏やかで周りに余裕を感じさせながら着実にこなされるのだと想像しています。

お身体に気を付けて、大阪弁護士会の明るい未来のために頑張ってください。

応援しています！

村瀬さん、全力で応援します



荒 木 晋 之 介 (61期)

村瀬さんとは、2016年度、森下幹事長のもとで、一緒に副幹事長をさせていただきました（村瀬さんは副幹事長2年目でした）。

村瀬さんは、いつお会いしてもニコニコされており、どんな仕事も引き受けておられました。池田にある事務所と弁護士会館との往復だけでも疲れそうなものなのに、その疲れなど、全く感じさせない方でした。

村瀬さんは「頼まれたら断らない」とおっしゃっています。私もそうありたいと思っておりますが、実行し続けるのは至難です。村瀬さんのようにジョギングを定期的に行うなどして、少しでも近づけるように精進したいものです。

COVID-19の影響で厳しい状況が続くかもしれませんが、村瀬さんのお人柄なら、自然と人が集まるに違いありません。とはいえ、もし必要であれば、電話かけや行事への参加の呼びかけなど、喜んで致します。

身体にはお気をつけて、ぜひ思う存分、執行部でご活躍ください。

村瀬さんを応援します！

團野彩子 (61期)

村瀬さんには私が弁護士になってからの数年間、ご指導いただきました。私の中での村瀬さんのイメージは、お会いした当初は「柔和」の一言で、10年以上経った今でもそのイメージは変わりませんが、一緒に事件処理させていただく中で、「北風と太陽 (の太陽)」というイメージも付け加わりました。感情的・攻撃的な依頼者や相手方も、物腰の柔らかな村瀬さんと話しているうちに、柔和になっていくということが何度もあったからです。そのような様子を見て、弁護士には温かさや人を癒やす力(?)も必要なのだなと感じてきました。

この原稿を書くにあたり、改めて村瀬さんのことを思い浮かべてみたところ、勤務弁護士時代には、事件処理に關した的確なアドバイスをくださったことはもちろん、お誕生日会を開いて下さったり、今でも毎年お誕生日メッセージを下さるなど、村瀬さんの変わらない細やかな気遣いもたくさん思い浮かんできました。この場を借りて、お礼申し上げます。

応援メッセージっぽくありませんが・・・村瀬さん、陰ながら応援させていただきます！

コロッケ・お好み焼き・ミートスパゲッティのような村瀬先生



柴山慶太 (62期)

村瀬先生は、コロッケのメークインと男爵をうまく混ぜ合わせるように、様々な意見を尊重し、持ち前の穏健さで調和をはかってくれるでしょう。村瀬先生は、豚を下面にしてお好み焼きを焼くように、発想の転換によって、小規模郊外事務所の立場から新たな挑戦をしてくれるでしょう。

そしてスパゲッティ・ミートソースのように・・・(はて、これは何が料理のポイントでしたか・・・?)

村瀬先生はマラソンを完走します。山中伸弥教授は、マラソンは研究と似ている、とおっしゃいます。「日頃コツコツと努力を積み重ねてきた結果、大会で成果がでるかもしれない。そのコツコツの積み重ねの大切さを、マラソンで学んでいる。」と。

そう、村瀬先生はこの、誰もが未曾有の状況の中を、弁護士を必要とする人々と弁護士自身が共に生き抜くために、ミートソースが最後まで絡むように最後までねばり強く、走り抜けてくれるでしょう。

村瀬先生、応援します！

一路順風

星野純子 (62期)

村瀬先生、大阪弁護士会副会長ご就任おめでとうございます。

村瀬先生とは、2015年に春秋会常任幹事(副幹事)を務めた際、ご一緒させていただきました。

会派の活動にあまり参加したことがなかった私にとって、常任幹事会議に出席することは、当初、「大仕事」でしたが、村瀬先生は柔和な表情で穏やかに接して下さったので、緊張感はほぐれ、安心して会議に出席することができました。

新型コロナ感染症への対応をはじめ課題は山積していますが、村瀬先生の穏やかさや調停委員のご経験が生かされて協議や交渉は醸成されてより良い道筋が見つかるかと確信しています。

平坦な道のりではないと思いますが、心身の調和を保ちながら、今まで培われたお力を十二分に発揮され、順調に進んでいかれることを心から願っております。

村瀬さん、がんばってください！



舞弓和宏 (62期)

私は平成26年10月から平成28年9月まで春秋会の囑託を務め、この間の総会や幹事会、正副幹事長会に出席して歴代の執行部の先生方

に大変お世話になりました。村瀬謙一さんはこのうち、平成27年度の吉田之計幹事長の執行部、平成28年度の森下弘幹事長の執行部と2年度続けて副幹事長を務められました。

その村瀬さんが、春秋会から大阪弁護士会の副会長候補として推薦されると伺い、応援のメッセージを差し上げることになりました。

村瀬さんは平成27年度には政策委員会を担当され、平成28年度には研修委員会を担当されました。その後も平成30年度(平野惠稔幹事長)には、政策委員長を務められています。村瀬さんの事務所は池田市にあり、主に西天満で開かれる各種の会議に参加されるのも大変だったのではないかと想像するのですが、村瀬さんはとても精力的に会務をこなされました。

村瀬さんは、新型コロナウイルス感染症(Covid-19)の対策等で多事多難な時期ではあるものの、春秋会と同様に、きっと大阪弁護士会を良い方向へ導いてくださるものと信じています。この1年間、がんばってください！

村瀬先生、応援しています



和田信也 (62期)

村瀬先生、副会長当選おめでとうございます。また、先生には、修習生時代から大変お世話になりました。この場をお借りして、改めて、御礼申し上げます。

昨今、大阪弁護士会は、暗いニュースも多く、様々な問題を抱え、さらに、昨年からの新型コロナウイルス感染症の問題により、現在の副会長の職責は、例年に増して重いものになっていると思います。

しかし、先生は、仕事と家庭を両立させるパ

ワフルさ、2002年当時、当時は珍しかった郊外型事務所を開設するアグレッシブさ、そして、ランニングなどの運動を欠かさない、体力と忍耐力は、まさに、現在の大阪弁護士の副会長として求められていると思います。

これからは、仕事と家庭だけでなく、副会長職も両立させる大変な年になると思いますが、是非頑張ってください。応援しております。

応援しています



染川 智子 (64期)

なんだか温かみのある表情で、目がキラキラしているなあ、何でも相談に乗ってくれそうな、優しい先生、という第一印象でした。もう何年も前、何かの会食でご一緒させていただいた際、何故だかこの先生は信用しようと思ったことを覚えています。その後、会派内の若手サポートMLにアドバイザーとして参加いただいて、幅広い分野でご助言をいただきました。このMLは、メールで流れてくる若手からの質問にアドバイスする、というもので、特に何かのメリットがあるというわけでもないのに、お忙しい中、私も数々のご助言をいただきました。いろんな情報のある中でも、自分の感情や見識だけにとらわれず、冷静沈着に、最も無難かつ建設的でリアルティある意見をされる先生だなあ、というのが現在の印象です。これからも若手の意見をたくさん取り入れていただけたら大変嬉しいです。ご活躍を祈念しております。

村瀬先生、応援しています！



田積 祥子 (65期)

村瀬先生、副会長ご当選、誠におめでとうございます。

村瀬先生には、私が弁護士登録をしてからの約3年間、事務所で多大なるご指導をいただきました。

村瀬先生は、約20年も前に郊外事務所の必要性を考えて池田市に事務所を開設され、非常に先見の明をお持ちの先生です。そしてとてもフットワークが軽く、事務処理能力の高い先生でもあります。弁護士の様々な委員会活動、家事調停委員、法科大学院教員等を積極的になされ、必要があれば色々な場所にも出向かれ、いつもあちこち飛び回っておられました。そのため事務所にいらっしゃる先生を捕まえるには四苦八苦しましたが、いつもこちらを気にかけてくださり、困っていただければ確かなアドバイスをくださいました。短時間で様々な物事を処理されており、本当にすごい先生だと尊敬しております。そして、村瀬先生なら、持ち前のフットワークの軽さと事務処理能力の高さ、先見の明で困難な問題も解決に導いてくださるものと期待しております。

元々お忙しく活躍されておられる中、大変な時期に就任されることもあり、これからの一年は激務になると思いますが、くれぐれもお身体を大事になさってください。心から応援しています。

村瀬先生、頑張ってください！



北本 純子 (71期)

村瀬先生、大阪弁護士会副会長ご就任、おめでとうございます。

村瀬先生の事務所には、春秋会の先生方のご縁で入所させていただき、得難い数多くの経験をさせてもらうことができました。村瀬先生は私からの相談や起案に対して、どんなにお忙しいときでも、素早くレスポンスをくださり、事務所を移籍した現在でも、非常に心強い存在です。そのパワフルな姿勢に常々驚いております。

今後の会務についても、きっと、パワフルに、スピード感を持って取り組んでくださるものと思います。

大阪弁護士会のみなさんのために、ご活躍されますことを心より祈念しております。

1年間お世話になりました



幹事長
谷 英樹 (43期)

2020年度執行部は、会員みなさまのご協力により、1年間の活動を終え、無事退任することができるとなりました。

本年度の春秋会の活動は、コロナに始まり、コロナに終わりました。

感染防止のために集まりを持てないとなると、会派の活動が停止状態に陥ります。そうならないように、副幹事長をはじめ会員みなさまには、様々な工夫により対応していただき、幹事会等の基幹会議のほか、研修や親睦企画、若手会の各種行事などをウェブ会議の形で開催することができました。限られた条件のなかで、必要な活動を行うことができ、例年に劣らない活動ができたものと思っています。

他方、みんなで直接集まって語り合い、議論するというのも、会派の活動として大きな意味があることは間違いありません。今後、状況が許すようになれば、直接集まって、語り合う機会を持てるようになればと思います。

昨年春号では、就任のあいさつで、私自身はこれまで春秋会の活動にはあまり貢献する機会があまりなかった春秋会初心者であり、副幹事長をはじめ、多くの会員の方々にお知恵を貸していただきたいと書きました。振り返ってみると、この1年間、みなさんに支えていただき、なんとか役割を果たせたのではないかと思います。

あらためて1年間のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

退任のご挨拶



副幹事長：政策担当
黒田 愛 (47期)

谷幹事長の下、2020年度の春秋会の副幹事長を務めました。今年は、コロナ渦の影響で、例年通りの行事ができず、これに伴い、私の副幹事長としての仕事も限られたものとなりました。もう少し、コロナ渦でも何かできるのではと積極的に模索し、取り組むべきだったか、と反省しています。

しかし、よかったと思うこともあり。何よりも、村瀬謙一さんを、春秋会推薦の副会長として送り出すことができました。ただこれは、村瀬さんの熱意・実力、春秋会だけでなく弁護士会全体へのこれまでの貢献のたまものであり、当然のことと言えます。

次に、正副幹事長会がZoomで開催されたことです。事務所から弁護士会館まで徒歩10分の距離にあるとはいえ、事務所や自宅から会議に参加できるというのは本当に楽です。また、幹事長会や総会に、Zoomを使って多くの方に参加頂けたのもうれしいことの1つでした。

それから、11月7、8日に実施されました新人歓迎旅行に参加したのも良い思い出です。今から思えば、11月初旬は新規感染者数や重症患者数の上で、コロナの第2波がおさまり第3波が始まる直前、もう少し早くても遅くても実施は難しかったでしょう。企画・実行して頂いた皆さま、ありがとうございました。久しぶりに飛行機に乗って、ご馳走を食べ、紅葉を眺め、春秋会の皆さんとおしゃべりをして、と心から満喫させて頂きました。

春秋会の政策委員会の活動については、山本委員長、有力メンバーの方々を中心となって企画、実施頂きました。ありがとうございました。私は担当でしたが、何の苦労もありませんでした。しかも、意見交換会、シンポジウムへの参加を通して、大阪弁護士会が女性理事者を増やすための対策のあり方、コロナ渦での弁護士業務や人権問題、大阪弁護士会の市民窓口の取組みの奥深さについて、深く考える機会を与えて頂きました。2月18日(木)に開催される予定の意見交換会「弁護士の専門性と弁護士会」も、充実した会となるものと思います。

一年間、どうもありがとうございました。

あっという間の一年でした



副幹事長：会計担当
峯田 和子 (57期)

つい先日、就任挨拶を書いたと思ったのに、もう退任挨拶の原稿依頼を受けています。本年度はコロナに始まり、コロナに終わるという感じで、あっという間の一年でした。役割を振られたときには、どれほど大変な仕事なんだろうと、戦々恐々でしたが、この原稿を書いている時点で、残りあと3ヶ月、何とか乗り切ることができそうです。

これまでの弁護士人生で、あまり会派というもの意識することが無かったのですが、図らずも副幹事長を経験することで、会派で何を議論し、悩み、企画を立て、予算を執行しているのか、その活動を間近で見ることができました。また、弁護士会活動における会派の役割を垣間見ることができました。今後も会派が有効に機能しなければ、弁護士会の担う多くの役割の担い手をきちんと輩出することはできないのでしょうか。無所属の方が多く、どうやって会派に所属する意味を見いだして貰うのか、そのメッセージをいかに発信していくか、予算規模や配分は今のままで良いと言えるのか、ここで議論されていることは、まさに会派に所属しながら幽霊会員をしていた頃に、自分が漠然と感じていた問題意識であり、決してひとりでは無いのだと思えただけでも大収穫だと思います。多くの個性あふれる方々がいる中で、一朝一夕には進まないかも知れませんが、今回をきっかけとして、何か今後お役に立てることがあればと思っています。

コロナに始まりコロナに終わり、まだ続く。



副幹事長：親睦担当
唐崎 浩司 (58期)

令和2年度の副幹事長の職務が終わりました。任期がはじまった直後から緊急事態宣言が発せられ、会合やイベントの中止・延期が続きました。事務所が堺支部にあるため、任期前にウェブ会議の導入を進めようと秘かに思っていましたところ、奇しくも願いが叶う事態になりました。担当した親睦委員会の面々も、直接顔を合わせたのは1回だけ(BBQイベント)。モニター越しの若い先生方が思ったより痩せていたり、背が高かったり。台風の直後で危ぶまれましたが、開催できて本当によかったと思います。

人間関係が希薄になった1年でしたが、良い思い出も悪い思い出も希薄な春秋会執行部でした。「コロナ禍で執行部も大変ですね」などと言葉をかけられますが、どちらかという負担が少なく、「楽でした」という感想になってしまいます。この原稿を書いている今も緊急事態宣言が発せられていますが、自粛ムードに慣れてしまい、話しぶりがウェブ会議が性に合わないなと緊迫感のない今日この頃です。

令和3年度は常議員に立候補させていただき、先日めでたく当選しました。常議員会もウェブ会議と聞き及んでおりますので、苦手な会議が続くと思います。春秋会の皆様とまたどこかのイベントや宴会で楽しくおしゃべりする日を楽しみにしております。

副幹事長退任のご挨拶



副幹事長：広報担当
山口 昌之 (58期)

この3月で任期を終え、副幹事長を退任することとなりました。

振り返れば、今年度はコロナ禍の中でどのようにして会派を運営していくか、模索ばかりしていた一年でした。

任期が始まる昨年4月まで、Zoomという言葉すら全く知らなかった私ですが、幹事会や総会をリアルとWebを併用するというを試み始めてから、たくさんのお話を勉強しました。スピーカーやマイク、Webカメラ、プロジェクター、スクリーンなどを駆使しながら、リアル出席をしてもWeb参加をしてもできるだけスムーズに運営できるように試行錯誤しました。幹事会は通常昼の1時間なのですが、前後30分は機材の設置と撤収作業で時間が取られ、毎回倍の時間がかかっていました。この辺りの作業は、誰に任せるわけにもいかず、全て執行部のメンバーで行っていました。来年度も執行部の方にもきちんと引き継ぎます(そこそこ大変です)。

私の担当は広報委員会でした。中森委員長の発想のもと、毎月ニュースレターを発行するという試みをしました。各担当は大変だったと思いますが、概ね好評だったのではないかと思います。

また、今年度から初めて広報誌の春号についてもWeb版とすることとなりました。紙版の削減による経費削減と利便性の向上には確実につながっていると思います。来年度以降、広報誌のあり方とともに、大幅な経費削減の効果をさらに次に結びつけることを検討していただければと思います。

一年間、ありがとうございました。

退任のごあいさつ



副幹事長：研修担当
砂川 辰彦 (65期)

2020年度、副幹事長として研修を担当させていただきました。これまで春秋会の活動に全くと言っていいほど関わっておらず、会派の活動は未知の世界だったので多少不安でしたが、正副幹事長の先生方や、研修委員会の先生方に引っ張っていただき、なんとか任務を終えることができました。ありがとうございました。

2020年度は当初から新型コロナウイルス感染拡大の影響があらゆる場面であり、何を行うにしても、感染予防、感染拡大防止のことを考えないということはありませんでした。そのような中でも、今年度の研修委員会は、研修を実施しないという選択ではなく、今年度はじめの4月から、オンライン研修を活用して、コロナ禍の中法律相談が増えそうな分野やヒヤリ・ハット等の研修を実施されました。どの研修も大変勉強になるものでした。講師の先生方ありがとうございました。なお、私自身も、研修(「登山家の話をきく研修」)を企画させていただきました。この研修は、同級生で昔一緒に山で岩登りをしていた天野和明さんに講師をお願いしました。天野さんには山梨県からオンラインで講師をしてくださり本当に感謝しています。

会派についてはまだまだ未知なことが多いですが、この1年間、これまでになかった経験をさせていただき大変勉強になりました。今回副幹事長を担当させていただいたご縁を大切に、今後は以前よりも、研修等の会派の行事に参加させていただきたいと思っております。1年間ありがとうございました。今後どうぞよろしくお願いたします。

副幹事長退任のご挨拶



副幹事長：若手会担当
阿武 修平 (69期)

若手会担当副幹事長の阿武(あんの)です。

私は、今年度が初めての執行部入りだったため、何もわからない状態からのスタートでした。もっとも、今年度はコロナウイルスの影響で、例年通りにはいかない業務が次々と発生し、チーム谷の諸先輩方にとっても初めての業務が多々あったため、皆で協議しながら一つ一つ新しいことを決めて進めて行くことが多い1年だった印象です。

執行部で経験したことで最も印象に残っているのは、やはり、WEBで総会や幹事会を実施したこと。大人数の会議のために、機材や環境をそろえ接続テストを行い準備するという、今思うと一見当たり前に見えることが、慣れるまではとても大変でした。本年度の執行部は、カメラマニアの唐崎先生を始め、こういったIT・機材に詳しい方がたまたま複数いらっしゃったので、何とか大きな問題なく乗り切ることができました。

ようやくzoom会議を使いこなせるようになり、自信を持ち始めた矢先、気づけば1年が経過してた形ですので(笑)、次年度執行部の方にはぜひともこのノウハウを引き継いで頂きたいです。

若手会については、主要イベントである(私も大好きな)飲み会を通じた懇親会を、企画はしたものの結局実施できなかったことが大変心残りでした。一方で、zoomを用いた研修には例年よりも多くの方に参加頂くことができたので、次年度は、zoomでの研修と懇親イベントをコロナウイルスの状況に応じてうまく使い分けて頂けますと幸いです。

また、本会でも対面での懇親イベントがほとんどなかったため、諸先輩方に直接お会いしてご挨拶等ができなかったことも大変残念でした。いつかコロナが明けた際には、またそのような会にも参加できたらと思います。

至らない点が多々あったかとは思いますが、皆様の温かいご支援のおかげで何とか副幹事長を務め切ることができました。

改めまして、ありがとうございました。

退任のご挨拶



政策委員長
山本 淳 (51期)

「なぜお前が?」、「君、誰や?」、「大丈夫か?」と思われながらスタートした政策委員長の御勤め。はい、やはり大丈夫ではありませんでした。この場を借りてお詫び申し上げます。特にまったく頼りない委員長を支えていただきました政策委員の先輩方へ。私の頼りない舵取りに、先輩方から手取り足取りご指導、ご意見いただいたおかげで一年をやり通せました。先輩方がいらっしやなければ全く成り立ちませんでした。それから、私の無理やりのお願いにもかかわらず政策委員に参加、協力いただいた同期、若手の皆様へ。大変感謝しています。同期、若手の皆様に参加、協力をいただきましたおかげで、私も不安心を落ち着かせながらもなんとか続けられました。春秋会が弁護士会を支える政策集団としてあり続けてきたのは、まさに会内において弁護士や弁護士会の課題、そして人権や社会問題等に真摯に向き合い、激論をされてきたからであるということ、一年間の活動を通して改めて実感しました。昨年4月以降、女性理事者の問題、不祥事防止対策(市民窓口相談情報等の活用)、弁護士の専門性と弁護士会をテーマに意見交換会を3回開催し、また「コロナ禍で我々が考えるべきこと」をテーマに政策シンポジウムを開催しました。特に昨年はコロナ問題に社会全体が一色に染まった一年でしたが、その中でコロナに関連する諸問題を取り上げ、我々弁護士、弁護士会が考える事柄について広く知り、考える機会を持てたことは有意義であったと思っております。ありがとうございました。

退任のあいさつ



研修委員長
上田 純 (50期)

今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、例年と異なる運営を強いられました。定期的に開催される委員会は、リアルではなく、もっぱら Zoom を利用して開催しました。また、例年開催される委員会の懇親会も断念しました。そのため、委員同士の懇親が深められなかったことが残念です。

他方、研修自体も、3密の回避の観点から、WEB 会議方式での開催を余儀なくされました。委員や講師の方々も十分慣れていない中で WEB 研修を開催することになりましたが、委員や講師の方々との事前のリハーサル等により、比較的トラブルなく開催できたのではないかと思います。特に、年度初めの4月に緊急事態宣言が発せられたにもかかわらず、委員の皆さんのご尽力と講師の先生のご協力で、4月下旬には、他会派に先駆け、WEB 会議方式で、雇用調整助成金の研修を開催できたことは、特筆すべきことだったと思います。その後も、WEB 会議方式にて、事業再生・経営者保証ガイドライン(7月)、労働事件研修(9月)、登山家の特別研修(10月・五月会共催)、ヒヤリハット研修(1月)と開催でき、その内容・回数とも例年の遜色ない研修が開催できたと思います。

また、当日、参加できない方のために、研修を録画し一定期間閲覧に供する試みも行う等、リアル研修ではできなかった試みも行うことができました。これらのノウハウ等も含めて、次年度の研修委員会に承継できればと思います。

最後に、ご尽力頂いた研修委員の皆様、ご協力頂いた講師の先生方、機材や Zoom 契約その他様々なリクエストに応じて頂いた執行部・囑託の先生方には、篤く感謝申し上げます。

退任のごあいさつ



親睦委員長
寺川 拓 (62期)

昨年度は、コロナ禍で「不要不急の活動は自粛」というムードの中で、何とか親睦委員会の活動をすることができました。ひとえに副幹事長の唐崎さん、若手をはじめとする親睦委員の皆さん、オブザーバーの浦さん、そして企画に参加いただいた皆様のお陰です。誠にありがとうございました。

春秋会の一番の魅力である「人」との交流をできるだけ多くの皆様に体験していただきたいと、第2波と第3波の間隙を突いてBBQやバスケットボール観戦の企画を実施したり、WEBでの交流を企画してみたりと工夫を重ねてみましたが、参加された皆様、楽しんでいただけましたでしょうか。

2月に予定された新人歓迎旅行が延期になった(残念!)という宿題を残したということもあり、本年度の親睦担当の副幹事長として新たな親睦委員会とともに親睦企画を盛り上げたいと思いますので、本年度も宜しく願いいたします。

ありがとうございました。



広報委員長
中森 俊久 (55期)

今年度は、春秋会ニュースレターをメーリングリスト上で毎月発行することとし、インタビュー記事や民法改正クイズ、グルメや音楽記事、各行事の報告などを掲載してきました。ご協力いただいた先生方には改めて感謝申し上げます。

そのニュースレターですが、当初私は、いわゆるメールニュース程度のイメージでいました。ところが、初回を担当してくれた才木委員が作成したのは、素晴らしいレイアウトがなされたもので、想像を遙かに上回るものでした。そのお陰様々で、書式的にも継続性のあるニュースをお届けすることができたと思います。

春秋秋号では、コロナ禍に関する特集を組み、裁判所にも協力してもらいながら、年表をまとめていきました。この作業は、木場委員が中心に担当して緻密な作業をしていただいた結果、時間が経つほどに価値が生まれる「記録」を残せたように思います。また、今年度から初めて、この春秋春号もWEB版として発行する運びとなりました。どれだけの方々がネットで閲覧されているのか、広報委員会としてはその点が気になるところです。

地味な作業が多い広報委員会。学生時代の新聞部のような雰囲気でも少しは楽しめればと思いつつも、各自が忙しい中、ルーティーンをこなすだけで精一杯というのが現実だったかもしれません。それでも委員のみなさまにも恵まれ、1年間を無事終えることができました。次年度は、信頼する広瀬元太郎さんが委員長です。今後とも広報委員会をどうぞ宜しくお願いします。ありがとうございました。

退任あいさつ



若手会世話役代表
枝川 直美 (64期)

今年度、若手会代表を務めさせていただきました枝川です。

私が着任時には、すでにコロナ感染が拡大しており、今年の若手会は、スタートから例年のような活動を行うことができませんでした。

若手、特に登録して間もない方々の交流の場となり、業務において困ったことが発生した場合にも、気軽に相談しやすい場を作るのが若手会の役割だと思うのですが、懇親会等ができず、そういったことをできなかったのが心残りです。

ただ、若手向けの研修を3回ほど行うことができ、その研修には、多くの方(30名程度)に、参加していただけたのが大変うれしかったです。研修では、質問も時間がおさまりきらないくらいたくさん出ました。若手会のアットホームな研修ならではの感じ、若手会として、独自に研修を実施していくことの意味を感じました。WEBでの研修実施は、事務所を出て研修に参加することが難しい方々にも参加しやすく(特に若手は、事務所を出にくいこともあると思います)、コロナが収束しても、続いていくことになるんだろなと思っています。

私は、今年10年目を迎え、若手会の卒業時期が近づいてきていますが、これまで参加していなかった若手会の活動に参加する機会を得ることができ、貴重な機会となりました。どうもありがとうございました。

応援をお願いします！



幹事長
濱田 雄久 (47期)

2021年度幹事長に就任することとなりました。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

前々年度から始まり前年度に本格化した新型コロナウイルスの蔓延が、弁護士会の会務や会派運営にも大きな影響を与えています。私たちの年度でも新型コロナウイルス感染状況下の社会を前提に会派運営をしていかざるを得ないでしょう。

弁護士会や春秋会の長い歴史の中でも全く経験のない状況です。手探りが続きますが、幸いにも私たちの年度は、前年度や前々年度の執行部が試行錯誤のうで編み出した新しい会派運営の取り組みを踏襲することができます。特にWEB会議導入により逆に会派活動への参加のハードルが下がっているところもあり、これを好機にとらえて幅広い会員の皆様に会派活動への参加を促していきたいと思っております。

研修、広報、親睦、政策、会計と若手会、それぞれに頼りになる副幹事長、また委員長や代表に就任いただくことができることになりました。幹事長として心から嬉しく思っており、チームワークを最大限発揮して運営にあたります。

今、会派はいろいろな意味で「曲がり角」に来ているところ。弁護士会会務への意見とりまとめ、役員を選出、親睦や研修、また会員同士の助けあい、様々な意味で従来行われてきた手法が時代遅れになってきているようにも見えます。他方でそのような時代だからこそ、会派の取り組みの重要な意義をあらためて感じることも多くあります。

積み重ねてきた大切な営みを引き継ぎ、また新しい仕組みを採り入れて、充実した会派運営をしていきたいと思っております。あらためて一年間よろしくお願いいたします。

良き思い出をつくりたい



副幹事長：政策担当
高江 俊名 (48期)

2021年度副幹事長を務めることになりました。春秋会の執行部を経験するのは、2010年度の宮崎裕二執行部のとき以来、2度目になります。今回は、政策委員会を担当いたします。

今回は、と書いて、前回は何の担当だったかな？と思ひ、当時の資料なども引っ張り出しつつ記憶を思い返してみたら、前回は政策委員会の担当であったことを思い出しました。自分の記憶のいい加減さにため息をつくとともに、当時のことを具体的に思い出し、あれからもう10年経ったのかと、感慨にふけてしまいました。

前回のときは、政策委員会では、木村圭二委員長のもと、民事裁判改革や弁護士費用保険をテーマに取り上げ、シンポジウムを行いました。特に、弁護士費用保険のシンポについては、当時、LACが弁護士会の中でもそれほど広まっていなかった中で、私自身がシンポのコーディネーターを務ることになり、その後、LACが飛躍的に広まっていくことになったため、思い出深いものがあります。

2021年度は、私と同期の村瀬さんが副会長を務められ、政策委員長の林さんも私と同期ということになります。同期のお二人をしっかりと支えながら、今回も、10年後に良き思い出となるような活動ができればと思っています。

よろしくお願いいたします。

就任挨拶



副幹事長：研修担当
中村 和洋 (49期)

このたび、副幹事長に就任した中村和洋です。修習は49期ですが、検察官を10年してから弁護士になりましたので、弁護士としては14年目となります。

大阪府八尾市出身、関西大学法学部卒で、弁護士会の近くのJIN・ORIXビルで事務所を構えています。一応ボス弁なのですが、優秀なアソシエイトに支えられて、何とかやっています。

趣味としては、能の謡(うたい)と仕舞(しまい)を、京都の観世流能楽師分林道治先生に習っています。「謡」とは、昔の結婚式で「高砂や～」と謡うもの、と言えお分かりいただけるでしょうか。お腹からしっかりと声を出す稽古をしますので、尋問の時の声がよく通り、仕事にも役立ちます。また、「仕舞」とは能の一部を切り取ったダンスのことで、短いもので1～2分、長いもので10分くらいです。これも背筋をピンと伸ばしますので、姿勢が正しくなるという効果があります。

あとは、それほど強くはないのですが、お酒を飲むのが大好きです。家ではウイスキーや焼酎、泡盛をよく飲んでいて、いつかスコットランドの蒸留所を見学するのが夢です。なお、泡盛では、最近のお勧めは「忠孝」という銘柄のものです。甘い香りで、飲みやすいです。

春秋会では、これまで伝統芸能鑑賞、ビアパーティ、ウイスキー蒸留所見学と、遊びの企画ばかり参加してまいりました。執行部の経験は全くありませんが、少しでもお役に立てればと考えていますので、よろしくお願いいたします。

副幹事長就任のご挨拶



副幹事長：広報担当
柳 勝久 (61期)

はじめまして。今年度の広報担当の副幹事長に就任することになりました、柳と申します。

私は、弁護士登録後6年ほどしてから大阪で勤務するようになり、これにあわせて、春秋会に入会させていただきましたが、春秋会には、新人歓迎旅行で上海に連れて行っていただいたり、親睦委員会の企画で潮干狩りに参加させていただいたくらいで、ほとんど繋がりはありませんでした(少々飲み食いしただけで、全く恩返しできておらず、申し訳ありません)。春秋会の活動について、まだまだ不勉強のところはありますが、いただいた貴重な機会ですので、精一杯、また、楽しみながら、みなさまのお役に立てればと考えています。

このたび、広報を担当させていただくことになりました。昨今のコロナ禍で、WEB会議の導入やリモートワークの推進など、私たち弁護士の仕事ぶりも、一変しました。そして、これに伴って、広報の役割や情報発信の方法なども、大きく変わっていくのではないかと、思います。なにぶん機械音痴で、私自身のリテラシーがついていけるのか、というところはありますが、時代のニーズに、そして、今置かれている状況に合致した形での広報活動を行っていきたくと思っています。

1年間、微力ながら務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

就任のごあいさつ



副幹事長：親睦担当
寺川 拓 (62期)

本年度の副幹事長として、親睦を担当させていただくことになりました寺川と申します。

昨年度は親睦委員長に続きまして、本年度は親睦担当の副幹事長と、「親睦」にとって大変厳しい環境下でお役目をいただきました。

コロナ禍において人々の交流が制限され人間関係が希薄になっていくことを感じています。弁護士も例外ではありませんが、こんなときこそ「親睦」は「不要不急」ではなく、重要な役割を果たすものだと思います。特に新しく入会された会員にとって、事務所以外の弁護士と接する機会を持つことは非常に有意義なことだと思います。

本年度も感染防止に十分に留意しながら、多くの会員が交流できる魅力あるイベントが企画されることと思いますので、多くの方が参加していただきまよう宜しく願いいたします。

副幹事長就任のご挨拶



副幹事長：会計担当
奥野 祐希 (67期)

このたび、副幹事長を務めさせていただくことになりました、67期の奥野と申します。

副幹事長就任については、濱田雄久先生から打診をいただいたのですが、職責の重みから私でよいのかと心配になり、今もその心配は払拭されておりません。ですが、濱田先生とは、先生が弊所で弁護修習を過ごされたことや、(弁護士会の)委員会活動を通じて大変お世話になってきたことなど、とてもご縁が深いと感じており、今までのご恩に報いたいという思いからお引き受けさせていただくことにいたしました。同期の小野先生も嘱託弁護士として活躍されているので、それに続こうという思いもござります。

春秋会については、以前、中井洋恵先生から、「親戚の法事みたいなもんやから、ふらっと気軽に参加したらいいよ」とお声がけいただいたにもかかわらず、ここ数年は足が遠のいてしまっておりました。会派活動について、まだまだ不勉強ではありますが、濱田先生からいただいた貴重な機会ですので、楽しみながら、春秋会会員の皆様に少しでもお役に立てるよう努めていきたいと思っております。

至らない点が多々あるかと思いますが、これからの1年間、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶



副幹事長：若手会担当
稲生 貴子 (70期)

2021年度副幹事長の役を仰せつかりました70期の稲生貴子(いのうたかこ)と申します。皆様、よろしくお願いいたします。

私は法曹界とは異なる業界から弁護士となり、春秋会に入会後、気づけば3年が経っていました。これまでの会派活動としては、親睦委員として新人歓迎会やビアパーティー等の企画運営を行ってきましたが、正直、執行部の方々がどのようなことをされてきたのかについて、あまり詳しいとは言えません…

このような大役をおうけするのは初めてのことであり、無事務めあげられるか不安な気持ちがございます。しかしながら、弁護士1年目から大変お世話になっている濱田先生(思い起こせば、新人旅行の際にご一緒させていただき、それ以降も何かとご縁がございますね)からお声がけいただき、濱田先生を始めこれまでお世話になった先生方に対して恩返しのできればと、副幹事長をお願いさせていただくこととなりました。

現在、新型コロナの影響で、弁護士会の会務や会派活動においても、様々な対応が求められています。ウェブ会議やテレワークが推進され便利になった一方、人と直接会う機会が制限される等、問題が山積みです。このような中、微力ではございますが、私なりに少しでも春秋会に貢献していく所存です。

最後になりますが、春秋会会員の皆様におかれましては、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

1年間 よろしくお願いいたします。



政策委員長
林 邦彦 (48期)

この度、濱田幹事長よりご指名いただき、政策委員長を拝命しました、林邦彦です。

なぜか、政策委員長2回目です。2回目でもいいのかとは正直思ってはおりますが、大学同期の濱田幹事長からのご指名ですので、断りようもないところです。

前回は振り返りますと、どうもまだまだ至らなかつた感がある、だからこそ、今回お引き受けしてよいか、とは思案するところではあります。従前研修委員長の時は自分としてはイメージしやすかったのですが、正直政策は最も苦手分野と自覚しています。2回やって、ようやく1人前だから、というのなら納得です。

とはいうものの、お引き受けした以上、気持ちを切り替えて、明るく元気に、濱田幹事長のスローガンに従い、政策の春秋会の特色を発揮できるように頑張りたいと思います。

また、本年度は、春秋会選出の副会長が村瀬さん、政策担当筆頭副幹事長が高江さんという、これまた司法研修所同期で同い年のお二人のもとでの、政策委員長になりますので、政策委員会の企画で、お二人を盛り上げて、春秋会を盛り上げられればと思います。

昨年度は山本淳委員長の下で、多くの委員が活発に活動されたので、山本委員長に追いつくように、皆さんを巻き込んで、企画を実行していければと思います。

政策シンポや意見交換会を開催して、本年度の春秋会を盛り上げますので、政策委員会への忌憚のないご意見を出していただくとともに、企画へのご参加のほう、よろしくお願いいたします。

皆さんに興味を持って頂けるような研修を企画したいと思っております！



研修委員長
原 正和 (55期)

皆さん、本年度、研修委員長をさせて頂くことになりました55期の原です。どうぞよろしくお願い致します。

私自身の春秋会の活動としては、約10年前に若手会の代表をさせて頂いて以来になります。弁護士登録から18年以上が経過し、仕事ばかりしてはいけないなと思っていたところに、本年度幹事長である濱田先生からお声がけ頂き、この度、大変久しぶりに春秋会の活動に積極的に関わらせて頂くことになった次第です。濱田先生はアメリカのロースクールの先輩であり、私の留学にあたっては推薦状をご作成頂いたという大きな御恩がありますので、濱田先生をはじめとする執行部の皆さんのお役に立てよう頑張りたいと思っております。

弁護士会自体が充実した研修を多数実施している中、弁護士会の中の会派の一つである春秋会が行う研修の存在意義や期待されている役割について、研修委員会の委員の皆さんとしっかり協議したうえ、春秋会の会員だけではなく他会派に所属しておられる方々にも興味を持って頂けるような研修を企画できればと考えております。本年度もコロナ禍による制約が色々あると思いますが、役に立つ！面白い！新しい！と皆さんに思ってもらえるような研修を企画したいと思っておりますので、一年間、どうぞよろしくお願い致します。

就任のご挨拶



親睦委員長
竹中 宏一 (60期)

昨年11月、戦闘妖精りねーさんこと、小橋りる先生から電話がありました。

小橋先生からの電話イコール何か頼み事だろうと身構えたところ、案の定、親睦委員長の打診でした。

新人の頃に広報委員を何年間か担当させて頂いたことはあるものの、親睦委員の経験が全くない私に何故という感じでしたが、修習生の頃からお世話になっている戦闘妖精りねーさんからの依頼ですので、結局引き受けさせて頂くことになりました。

引き受けはしたものの、ひとりぼっちの寂しい親睦委員会になったらどうしようと不安に駆られながら、まずは人員集めにあたったところ、親睦委員の経験もある同期の豊田祐介先生が顧問に、ロースクール時代からの友人である宮下泰彦先生が副委員長に就任してくれることになり(委員長権限で勝手に肩書きを付させて頂いております)、なんとかひとりぼっちの親睦委員会を回避することができました。

こんな状況ですので、旅行や普段の企画を例年通り踏襲というわけにもいきませんが、こんなときだからこそ、「ピンチをチャンスに」の姿勢で、みんなで知恵を絞りながら、楽しい企画を実現できればと思います。

親睦委員はまだ募集集中ですので(名誉顧問、相談役、企画本部長など多くの役職に空席があります)、お試しにでも参加希望の会員の方がいらっしゃいましたら、是非、私までお気軽にご連絡下さい。

それでは、1年間、どうぞ宜しくお願い致します。

2万円分の価値を感じさせたい



広報委員長
広瀬元太郎 (60期)

本年度広報委員長を務めさせていただきます広瀬と申します。

定期的に春秋会メーリスを騒がしております広瀬です。そんな奴に広報委員長をやらせて大丈夫なのかとの疑問はございますが、お声がかかった以上はきっちりと職責を果たしていこうと思っております。

ここ3年間くらいの期間に、春秋会報の通年(春・秋)の電子化がなされ、年間300万円近くの経費削減がなされました。また、毎月1回発行(電子版)のニュースレターも定着いたしました。

会報につきましては、私が弁護士になって以来、紙の無駄ではないのかと疑問をもっていました。これについては、解決の糸口が見つかりました。次は、内容が、会員の役に立っているのか、面白いのかという点を見直していきたいと思っています。

いっぽうで、あまり成果がでない点もあります。それは、若手の声の吸い上げです。メーリングリストに自由に意見を書けない状況は改善されておられません。

また、意見ではなく、事務所の先輩や上司には聞けないような質問(聞いたら「調べろよ」と怒られるけど、聞いた方が圧倒的に早い質問や「この事務所大丈夫?」というような根源的な質問)を、会派の仲間がざくばらんに答えるという雰囲気を作りたいですが、なかなか厳しいです。どうしたら書きやすい雰囲気になるのか、あるいは、若手だけの別のメーリングリストを作ったほうがいいのか等模索していきたいと思っております。

ここ数年の司法改革の成果なのか、弊害なのか、我々弁護士は楽園を追われてしまったようです。そのなかで、年間2万円の春秋会費は大金です。2万円に対するメリットがなければ退会されるのは当然のことです。私個人としては、この2万円は価値のあるものだと思っておりますが、すべての会員が2万円の価値を感じることでできる広報活動をしていきたいと思っております。

1年間 よろしくお願ひいたします



若手会世話役代表
吉村 友香 (65期)

2021年度の若手会の代表に就任しました。1年間どうぞよろしくお願い致します。

実を申しますと、これまで春秋会の行事にはあまり参加したことがなく、「若手会?一体何をするのだろうか…」という感じであります。過去に春秋会の行事では、私が新人時代の新人歓迎旅行(雄琴温泉)、ビアパーティ、新人歓迎旅行(上海)くらいなのですが、どの行事でも普段お話しする機会がない先生方と交流ができて、楽しくまた新鮮な時間を過ごすことができたと記憶しています。

若手会企画なのか春秋会全体企画なのかあやふやですが、春秋会の企画の中には私にとって興味をそそるものがたくさんあって、例えば、サントリーの工場見学やワインの夕べ等(飲む企画ばかりですが…)、「また企画してくれないかな」と密かに思っておりました。

今回、若手会の代表に就任したのを機に、「あれに参加したかったなあ」と思っていた企画を実現できたらと考えております。飲み会企画の希望ばかりを語っていましたが、勿論、弁護士の能力アップのための勉強企画も…。

そのためにも早くコロナの感染拡大が収束することを祈るばかりです。



2020年11月10日(火)

大阪弁護士会館にて、標記のシンポジウムが開催されました。

第1 企画の趣旨について

コロナ禍は、弁護士業務について大きな影響を与えたことはもとより、言うまでもなく、社会における大きな問題であり、労働、差別、家庭、経済の停滞など、様々な影響を及ぼしています。弁護士会に関わる問題について弁護士が取り組むのは当然として、それ以外の問題についても、それぞれの弁護士が模索・実践してきました。こうした取り組みについて、議論して深めることは、それぞれの取り組みを更に発展させる機会にもなると思われるため、企画したものです。

第2 基調報告

司会進行役の私より、コロナ禍を巡る社会の動きと個別報告以外の事柄について、概要の報告を行いました。

社会の動きとしては、感染拡大とともに突然の学校休校があり、学校に通う子がいる家庭では仕事との調整が問題になりました。また、オリンピックを実施できるのかという問題が浮上し、政府は、「オリンピックをコロナに打ち勝った証として完全な形で実施する」という話も出ていましたが、延期されることとなり、オリンピックの延期が決まると、本格的にコロナ対策へ舵が切られました。志村けんさん、岡江久美子さんなど有名人も亡くなり、社会は大きな不安につつまれることになり、海外のようなロッ

クダウンはなかったものの、緊急事態宣言が発出されました。

日弁連が活動停止中、大阪弁護士会では、図書館も含め、会館は開館が継続されました。対外的活動についてはほぼ停止しましたが、法律相談は電話相談という形に切り替えて継続的な実施がされていました。

常議員会は、登録・登録換請求は職業選択の自由という側面に関わりますし、会費の減免という生活に密接に関連するものでもあるので、休会せずに開催されましたが、感染リスクを避けるために、6月からWEB参加が併用されました。「採決の際、議場にいない常議員は、採決に加わることができない。」(大阪弁護士会議事規程36条)との規程があり、この関係で、「議場」の解釈問題があったものの、即時性と双方向性が担保できるならば、WEB参加者も「議場」にいるものとみなす、との解釈により、開催継続と感染拡大防止の両立をはかりました。

司法修習は自宅学習となった時期があり、大阪では分野別修習の特に第3クールが大きな影響を受けて、ほぼ通常の修習ができない状態になり、このような中での弁護修習のあり方が大きな課題となりました。選択型実務修習の時期には、当会においては、講義形式ものはリモート修習の体制を整えることが出来ていましたが、実施後の総括としては、より効果を上げるため、感染拡大防止の重点の置き方が課題となりました。

裁判所の状況としては、一部の事件を除いて全てストップされました。緊急事態宣言が明けてからも期日調整がなかなか整わず、長期間進行がないことが多く、このことについての批判的意見がアンケートでも多かったところです。特に、調停事件では、調停室や待合室の確保等の問題もあり、滞留が深刻となりました。この

対策として、大阪家裁では、

- ①午前、午後1、午後2の3枠の体制にする、
- ②本来の調停室を待合室にしたりする、といった努力もされています。但し、各枠が1時間20分とこれまでより短時間になっており、期日における充実した協議が実施できるかとの懸念もあります。

刑事分野では、収容者の感染予防、一般の面会の制限、担当検察官のコロナ感染による裁判員裁判の期日延期などが問題となりました。

感染者や感染リスクの高い医療従事者への差別などの事例も多数ありました。マスコミでも取り上げられ、青いライトを照らして決まった時間に拍手しようなどという取り組みもされましたが、差別や誹謗中傷が止んだとはいえないように感じられます。

また、感染情報と感染者の特定の問題、感染予防の観点から位置情報を取得して感染者を監視する動きなど、プライバシーとの兼ね合いで注意を要する問題もあります。

以上のように、新型コロナウイルスの拡大に応じて様々な問題が生じている状況について、概要を報告しました。



第3 個別報告

以下は、各登壇者から各分野における個別の詳細な報告をしてもらいました。

1 弁護士会の体制等の検討状況について

大阪弁護士会 副会長 岩本朗

令和2年度副会長である岩本朗会員から、弁護士会の対応について、次のように、報告いただきました。

コロナ対応について、一つ一つの個別対応を説明するとキリがなく、考え方の基本、骨子となるものを示す必要から、4月7日付けの「緊急事態宣言発令に際しての理事者の基本方針」を作成し、提示した。この基本方針の最初と最後の部分、当番・国選・市民法律相談を維持するということと、会員の皆様にはご不便をおかけいたしますが、緊急事態宣言下において勤務する職員に対し、温かい目で接していただくよう何卒よろしくお願いいたしますということ、ここに総論的な悩みは尽きている。基本方針に記載のない対応としては、23条照会の郵送化がある。

会務活動の維持は宣言したし、他の会と比較

しても頑張ってきたとは思いますが、会務活動では窓口の時間短縮や休止もしていたので、十分な役割を果たしてないのではないかという意見もあがった。この点は、多数の会員の出入りがある、職員もいる、そのような中で感染防止を考えなければならないということで執行部は考えていた。弁護士会の職員は弁護士会の従業員なので、これら職員に対して負っている安全配慮義務との関係で、窓口対応の感染リスク等をどう考えるのか、密な状態での勤務をどうするのかなど様々なことを考えないといけないが、このような点を一般の会員の方に理解してもらうのがどうしても難しかった印象がある。

意思決定機関に関する問題としては、総会の実施も問題となり、会則では毎年5月実施とされるが、本年はやむを得ず延期とした。延期に批判もあり、総会ができない中で予算をどうするのかという問題も生じた。現状、これらに関わる会則の改正も検討している。

正副会長・副会長会は、紙での決裁があるので、いわゆるリアル開催でせざるを得なかった。ただ、副会長らが一度に感染して機能停止になってはいけないので、半分の方は執務室、半分の方は会議室にて、執務することとし、一気に感染することのないように配慮していた。

委員会活動については、第1回委員会を実施しないと委員長が選任できないという問題があり、人数を限定して、「できるだけ来ないように」という変わったお願いをして、形式的に第1回委員会を実施し、委員長を選任した。その後の委員会では、各委員会でウェブを併用しながらうまく運営してもらった。ウェブ開催は良い面と悪い面があるが、たくさんの方が委員会に参



加してくれるようになったという面があった。他方、秘密保持等の観点からウェブ化が難しい委員会（例えば懲戒委員会）などもある。会則等でウェブでも委員会ができることを規程することも検討しているが、懲戒委員会などをどうするのかという点がある。

2 法律相談体制の検討状況について

大阪弁護士会

総合法律相談センター 運営委員長 福田健次

福田会員からは、法律相談体制の検討状況について報告いただきました。

コロナ対応をどうするかについて、岩本副会長、米倉副会長、森副会長、ひまわりの松尾委員長、担当事務局にて、1週間に1回ぐらいは打合せの機会を設定してきた。

4月8日に感染リスクを重視して面談相談を中止し、代替措置として電話相談に切り替えた。電話相談では、相談料は徴収していない。色々な意見があるだろうが、徴収方法等でなかなか難しい面があり徴収していない。

7月から面談相談を一部再開し、夜間、土日等は引き続き休止していたが、8月には、サテライトの南河内を再開、11月に夜間、土曜も再開し、巡回相談所も一部再開した。

上記のように面談相談も再開はしているが、1時間1枠としている（通常は30分）。ドアの



開放やアクリルボードの設置もしている。設定枠は減っているが、他方、需要があり、相談枠に空きはない。

法律相談のWEB予約の受付を中止して全て電話受付としている。これは、マスクの着用や検温等の注意事項の案内を個別に行うためである。

自治体の法律相談業務の対応として、まず、各自治体に意向照会をした。会員への感染リスクもあるので、自治体にできれば電話相談に移行してほしいという要請もした。結果として、面談相談を継続したところもあるが、電話相談への切り替えが一番多かった。自治体によっては、法律相談を完全に中止するということもあった。6月22日に「面談による法律相談の再開について」という文書を発送して、7月以降、順次面談による法律相談を実施している。自治体には、感染リスク防止対策をしてもらうよう、要請している。自治体の意見は様々で、



我々は委託を受けている立場なので、自治体の意見を尊重しながら進めていった状況である。

新型コロナウイルスに関する無料電話相談の実施について、3月11日から事業者・労働者向け無料電話相談を開設していたが、それを5月11日から新型コロナウイルスに関する総合電話相談に改称して、受け付けることとした。相談担当者の体制構築、相談担当者への研修、相談内容の分析等をすべく、様々な委員会で構成する運営PTを設置した。

5月25日には、新型コロナウイルス電話相談の案内のほか、支援情報等を提供するサイトとして、広報室と運営PTの協同で特設サイトも立ち上げた。

自治体の法律相談に行った会員から、感染リスクについて特段の異義等はなかった。会員の協力なくして実施できなかったといえる。

3 非正規労働相談、生活困窮者相談の現場から

非正規労働者の権利実現全国会議事務局次長、いのちとくらしを守る 相談会相談員 小野順子
小野会員から、弁護士会以外の団体における相談活動について報告いただきました。
コロナ災害を乗り越える何でも電話相談会を、2時間×6枠×4回線で、延べ48名体制で、弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉



士、労働組合、福祉施設職員など、様々な職種の人で対応し、実施した。担当者は、事前にオンラインで研修を実施した。大阪のみならず全国各地で実施した取り組みである。

NPO法人の自殺対策支援センターのライフレリンク（東京の団体）とも繋がり、辛そうな方がいるとそこを紹介したりしていた。

4月は特別定額給付金の関係もあり、その関係の問い合わせがすごく多かった

相談内容は、生活費、住居、労働、事業主、家事、結婚式・披露宴の解除、健康、債務等々に関する各種相談で、ありとあらゆる相談があった。

4 新型コロナウイルス総合電話相談の現場から

大阪弁護士会災害復興支援委員会副委員長、大阪弁護士会総合電話相談員 繁松祐行
繁松会員からは、新型コロナウイルス総合電話相談の状況・実例等を報告いただきました。

11月6日までで相談件数は1199件になる。
内容は、事業者からのものは、融資・助成金・給付金などの減収補償や資金繰りに関する相談が約45%で最も多く、ついで、契約や取引関係に関する相談が約12%、その後は休業補償や賃料の関係の相談が続く。他方、労働者からのものについては、3月は休業補償の相談が圧倒的に多かったが、4月以降は解雇などの雇

用関係の相談が増えている印象である。特徴的なこととして、女性の相談が割合的に多いということがある。PTでは、フリーランスや非正規雇用の人に影響が出ているのではないかと分析していた。

相談内容の具体例としては、持続化給付金がもらえるか、休業手当を払わないといけないか、テナント賃料が払えない、というものが事業者では多く、解雇、休業手当が貰えないというのが労働者では多かった。キャンセル関係では結婚式場や旅行のキャンセルが多く、握手会のイベントキャンセル料の相談もあった。あとは、特別定額給付金が貰えるか、税金の減免猶予の関係などが多かった。

コロナ差別関係のホットラインとして、10月3日に「あかん！コロナ差別 ホットライン」を実施した。差別関係の相談としては、上記のホットラインの広告を見た人から架電があり、通常の風邪の症状があっただけなのに、基礎疾患ある同僚から嫌がらせを受けてまいるというものがあった。

その他、給付金等の詐欺に加担してしまったことへの相談も増えている。

第4 パネルディスカッション

以上の各報告をふまえ、いくつかのテーマについて、意見交換を行いました。以下は、字数の関係により、各テーマ毎の意見交換の要旨となります。

1 弁護士会の窓口体制について

弁護士会の窓口が週3日体制であることについて、事務所が遠い会員、事務局職員を持たない会員には不便も大きいのではないか、特に、図書館が空いておらずレッドブックがみれない、会議室が電話予約できないということなど



の会員にとっての意見が紹介された。

執行部としては、不便ではないはずとはいえ、6階の証明窓口、23条照会の窓口の問題が一番大きいと思われるが、他方、会館の中でも一番に人が密集する場所であり、その状況がよろしくないということで、検討し、その結果として23条照会を郵送化して窓口では対応しないことにした。23条照会の窓口を閉めるとその窓口の割合が大きいので他の窓口も閉めるという判断になる。そして、郵送に変えたことで、23条照会の処理が滞留している。窓口を閉めている方が事務処理は進むので、処理が滞留している現状において通常の形に戻しにくいというのが実情である。滞留状態については、審査室の増員などを行っているが、まだ十分に解決に至っていないとの現状が報告された。

2 会議室の利用制限について

会議の用途によって、例えば、研修だと講師だけがほぼ話すのみというものもある。映画館などでも飲食しないなら通常どおりでよい、野球場でも半分程度の収容であれば開催してよいという方向で進んだりしているが、こういった社会の動きも含め、会館の会議室の利用制限の再検討を求める意見もあった。

この点、執行部としては、賛否両論ではある



が、慎重派の意見に対して説得できるかという
と、難しさもあるとのことであった。

3 委員会活動について

ウェブの併用や完全ウェブでの実施になっ
て、日弁連の委員会は圧倒的に参加しやす
くなった反面、当会の活動においても、ウェブ
で行うと、新入会員を誘いにくい、委員会内の懇
親をはかることが難しいとの意見があった。こ
の点については、次の新入会員を迎えるに当た
り、ウェブ開催をするとしたら、初めての方
にも参加してもらいやすいようにするにはどう
すればいいか。この点に目配りする立場の人を決
めて配慮してあげるのがいいのではないかと
の意見があった。

4 弁護士会主催行事について

執行部から、弁護士会主催の行事について、
当初は、中止や延期が余儀なくされたもの、
来館しない形で多くの人に参加してもらえ
るような体制作りがなされ、例えば、人権フェ
スタについて、来館してもらわずに実施でき
るよう準備されているとの報告がなされた。

5 裁判所関連について

アンケートにおいて批判が多かった裁判所が

ストップしたことについて、意見交換
を行った。司法分野を止めるべきでは
ないという強硬論もあったが、弁護士
会の職員の健康と安全を考えると
同様、裁判所もそれは同じなのでは
ないか、法律事務所職員に対するものや、
弁護士自身についても、通常どおりと
いうわけにも行かないのではないかな
どの意見が出された。

6 法律相談体制について

法律相談の体制について、相談担
当者の確保については、特に問題は生じな
かったとのことである。

今後、弁護士会の相談をウェブ相談とす
るべきではとの意見が出されたが、委員
会としては、議論は未了であるものの、
ニーズはあるであろうから、検討する
べきであり、相談料の支払を確保する
手段が課題であること、無料のもの
のみをウェブ相談にすることもあり得
るだろうなどの意見が出された。

7 コロナ相談における 特徴などについて

災害時の状況の傾向に似ており、被災
されると被災者は不安で、行政から様
々な情報が発信されるが、的確に情報
を理解やキャッチできないことがあ
るが、コロナ禍でも同じような傾向
を感じた。コロナに関する支援情報に
ついての相談は単純なものも多い。し
かし、一般の方にとっては、様々な
情報がある中で欲しい情報にたどり着
けないというのもある、税金の減免
関係もそうである。弁護士は多くの
情報の中から必要な情報を取り出し
たり、要件該当性を判断するのも得意
なので、法律に特化した問題でなく
ても弁護士は重要な存在であるとの
意見が出された。

また、制度があっても、自治体の受付の事情
などのために困難な面があった住居確保給付金
の例が報告された。失業でなくてもよいと要件
緩和されたが、相談が増えすぎて役所の相談員
が疲弊してしまいうまく機能しなかつた。弁護
士がうまく関与し、専門家である弁護士を通
じて申請すると審査が通りやすいというこ
とがあり、そういう関与ができると、相談員
の疲弊もへるし、弁護士のほうの貢献の機
会にもなるし良かったのではないかと
の意見が出された。なお、休業要請外支
援金の審査にあたっては、当初、弁護士の
関与は予定されていなかったが、執行部
の努力により、弁護士が関与すること
になったとの例が紹介された。

8 コロナ禍における差別等 の人権問題について

コロナ差別に特化した相談は全国でもな
かったため、「あかん！コロナ差別 ホット
ライン」相談が実施されたとの報告がな
された。但し、マスコミ報道もなされ
たものの、相談件数は多くはなかつた
とのことであり、差別等の事案に、
弁護士としてどう関与できるかとい
う問題もあることがあるとの意見がな
された。継続的な検討課題であると思
われる。



また、弁護士会としても、引き続き取り組
んでいくべきであり、具体的には、声明等
による啓発活動があるのではないかと
の意見が出された。なお、鳥取県のHP
では、コロナ問題に言及したサイトが
あり、そこに鳥取県弁護士会がリンク
先となっている。更に、知事、弁護
士会会長、警察本部長、地方法務局
長連名での、差別や誹謗中傷に関
する共同行動宣言等も記載されて
いる。地方であるがゆえに、出来
たことかもしれないが、大阪にお
いても、こういった取り組みが検
討されても良いのではないかな
どの意見があった。

第5 企画を終えての感想

パネリストの方々から、貴重な報告・意見
をいただいたこともあり、参加者からは、
コロナ禍における様々な問題について考
える良い機会になったと感想も寄せら
れました。私自身も、準備段階も含め
て、大変勉強になりました。本巻が発
行される頃のコロナ禍を巡る情勢は
不明ですが、本報告が皆さんの参考
になれば幸いです。

特集3 大阪府内の警察署近くの グルメ特集

有村とく子弁護士とお店を訪ねてきました。

春秋会広報委員会にて作成しました大阪府内の警察署近くのグルメ特集をお届けします。刑事当番や急な接見で、遠方の警察に行かねばならない時に「しんどいな」と思うかもしれませんが、もしホッと一息するタイミングがあればご参考いただければ幸いです。なお、一覧には、警察署の電話番号や最寄り駅も書いていますので、その点でも重宝いただけるかと思います。

また、今回の一覧の完成を記念しまして、前年度広報委員長の有村とく子弁護士と、本年度広報委員長の中森とで、紹介されているお店の1つである地下鉄御堂筋線西田辺駅近くの「BODEGA」（イタリアン）を訪ねました。お店のご紹介とともに、有村弁護士からお聞きしました若手へのメッセージなどを報告したいと思います。



アヒージョとピザが最高

西田辺駅は、東住吉警察署の最寄り駅となります。お店は駅から近く、警察署に向かう方向にあります。このお店を紹介して下さったのは、岩谷基弁護士です。岩谷弁護士に何がお勧めか聞いておけば良かったと思いつつ、メニューを見てあれこれ注文しました。

ポテトサラダ、温野菜料理、牡蠣のアヒージョ、マリナーラ（ニンニク、トマトソース、オレガノのみのシンプルなピザ）、お肉料理を楽しみましたが、アヒージョとピザが本当に美味しかったです。お店も入り易く雰囲気も良かったです。飲み物のメニューも多くあるのもナイスです。



保護命令とその他仮処分の違い

この日私は、成人した子どもから暴力を受ける親御さんからの相談を聞いた直後でした。保護命令と通常の仮処分とはどう違っただろうか？など、初歩的なことをアレコレ考えていたところ、有村弁護士から、DV防止法に基づく保護命令に従わない場合には逮捕される場合があるなど、通常の仮処分との違いにつき、色々教えて貰うことができました。

久しぶりの夜の外出でのウキウキ感に加え、有村弁護士とも話が盛り上がり、あっという間の時間でしたが、そんな中でも、仕事のことを少しお聞きすることができ、なるほどなと思うことができました。いつも思うのですが、弁護士の仕事は、一人で抱え込まないことがとても大切だと思います。

誰もが通る道

有村弁護士も、複数の被害者のある刑事事件の弁護活動の中で、加害者への怒りを被害者からぶつけられ、その対応に心が折れそうになったようです。そんなときでも、「誰もが通る道」「それが自分の仕事」という思いで踏ん張り、頑張れたとのことでした。

また、新人の頃の新件の法律相談も、「知らない。」ことが怖く、強いストレスを感じることもあったそうです。法律相談に向かう途中、松本七哉弁護士（春秋会41期）と道で会ったとき、不安な気持ちを打ち明けたところ、松本弁護士は、「自分は相談者がどんなことを言うてくるのか楽しみ。」と仰ったそうです。自分もそんなふうに見えるようになりたい、そういう域にまで達したいと思わせてもらったエピソードとして今でも記憶しているとのことでした。

弁護士になって良かった

元気がない人に笑顔になってもらいたい、そんな思いでこの仕事を20年以上続けてきた有村弁護士。今なお仕事の悩みは尽きないそうですが、仕事を通して人との出会いや、時に得られる「やりがい」を思えば、間違いなくこの仕事に就いて良かったと言います。また、その経験の中で、解決に向けた選択肢を増やし、バランスのとれた事件処理ができたと感じることも少しずつ増えてきたそうです。

そんなお話を先輩から聞くと、後輩である我々も「頑張ろう。」という気持ちになります。誰もがしんどい時があるかと思いますが、時には一息つくことも大切です。広報委員会の取材と称して、私も元気をいただきました。今回の特集が皆様にも少しでもお役に立てれば、広報委員会一同嬉しく思います。



警察署グルメ一覧情報



大阪市内

府警本部
(06-6943-1234)

谷町線 谷町四丁目

ブルーランジュリー グウ 中央区安堂寺町1-3-5 キャピトル安堂寺 1F おしゃれなパン屋さんで、イートインも可能。

ほてい寿司 中央区谷町3-2-14 戎谷4ビル1階 上本町ほてい寿司ののれん分け店

新北島別館
(06-6682-0260)

四つ橋線 住之江公園

マクドナルド 住之江トイザラス店 住之江区南加賀屋 2-3-21 駅の目の前にあり。

① 天天、有 住之江区南加賀屋 4-4-22 ちよつと駅からあるけど美味しい。

② 宮本むなし パウ住之江公園店 住之江区新北島 1-1

③ なか卯 住之江公園店 住之江区南加賀屋 2-1-4

④ 板前焼肉 一光 住之江店 住之江区新北島1-3-2 住之江ハイツ 1F ランチはお得。

大淀
(06-6376-1234)

御堂筋・阪急線 中津

カンテ グランデ 中津本店 北区中津3-32-2 アルティスタ中津 B1F

駅から少し歩くと、カレーの美味しいインド喫茶。トータス松本が売れる前に働いていた店としても有名。

曽根崎
(06-6315-1234)

梅田

サンシャイン 北区曽根崎 2-11-8 B2F レトロな喫茶店、ホットケーキ、オムライスが有名。

肉寿司薪焼き キッチン ひろ 北区堂山町10-7 ステージ Jewelビル 105

がっつりメニュー(ピザとかパスタとか、美味しいです)。

天満
(06-6363-1234)

堺筋線 北浜

① エルマーズグリーンカフェ 中央区高麗橋 1-7-3 北浜プラザ 1F スコーンなど焼き菓子和紅茶が絶品です。

② カカオティエ ゴカン 高麗橋本店 中央区高麗橋 2-6-9 1F 本店も有名ですが、チョコレート好きならこちらのパフェがおすすめ。

御堂筋線 淀屋橋

アド・パンドユース 中央区北浜 4-3-1 淀屋橋odona 2F

都島
(06-6925-1234)

谷町線 都島

① マルルー (パン) 都島区都島本通 1-6-11 ② ジャンルプラン 都島店 (ケーキ) 都島区都島本通 2-14-6

① オコメノカミサマ (ラーメン) 都島区都島本通 3-22-6 ② ナンタラ (インド料理) 都島区都島本通 3-28-2

③ 下品なぐらいダシのうまいラーメン屋 都島店 都島区都島本通 2-16-13

福島
(06-6465-1234)

阪神線 野田

① 粉匠 (お好み焼き) 福島区吉野 2-13-12 ② いちまるらーめん 福島区吉野 2-13-7

JR環状線 野田

まぜ麺 マホロバ 福島区福島 2-2-2 (JR福島駅徒歩2分) 沖縄の名店が大阪に出店! 最高!

千日前線 玉川

串焼き だだ (焼鳥) 福島区吉野 3-1-41

此花
(06-6466-1234)

阪神なんば線 千鳥橋

じゃんぼ総本店 千鳥橋店 此花区四貫島 1丁目 8-15 お手軽です。

マナカマナ 此花区春日出中 1-29-13 1F

よくある感じのインド料理屋さんで、カレー、ナンなど定番料理以外にも、モモ(スパイシーな小籠包みたいなもの)もあります。比較的夜遅くまで開いています。警察署自体が駅まで遠く、タクシーもなかなか拾えないので、この場所です。ゆっくり食事をするときは時間とタクシーを考えた上でのほうが良いです。

東
(06-6268-1234)

堺筋線 堺筋本町

ゼー六 本町店 中央区本町 1-3-22 純喫茶・アイス最中の名店です。

鶏右衛門 (焼鳥) 中央区本町橋 7-18 名阪第 2ビル 2F つくねが巨大!

南
(06-6281-1234)

長堀鶴見緑地線 長堀橋

① アラビアコーヒー 中央区難波 1-6-7 (難波駅) レトロです! サンドイッチも美味しい!

② 純喫茶 アメリカン 中央区道頓堀 1-7-4 株式会社 アメリカンビル (道頓堀) レトロです!

③ アクアヴィット 中央区西心斎橋 2-3-22 バーです、フルーツカクテルが美味しいバー。

① 季節の贅沢堺銀シャリげこ亭 大丸心斎橋店 中央区心斎橋筋 1-7-1 大丸心斎橋本館10F

堺の宿院近くの銀シャリ理の名店が満を持して大丸出店です。定食屋さんなのでひとりで入りやすいです。

② 和食たちばな 道頓堀大阪松竹座 中央区道頓堀 1-9-19 大阪松竹座B 2F

松竹座地下にあり、美味しいクラフトビールが飲めます!

③ 兆治 中央区西心斎橋 2-3-22 ホルモン鍋屋、モクモクな店内ですが最高です!

④ とんかつ大喜 中央区東心斎橋 1-6-2

西
(06-6583-1234)

中央・千日前線 阿波座 麺屋あわぎ (ラーメン) 西区立売堀 4-9-10

港
(06-6574-1234)

JR環状線 大正

井尻珈琲焙煎所 大正区三軒家東 1-4-11 「ここ最高です。」とのこと。

① 中華そば 花京 大正店 大正区三軒家 1-4-6

② ヤタラスパイス (インド料理) 大正区三軒屋東 1-2-5 2F

旭
(06-6952-1234)

JRおおさか東線 城北公園通

赤一かどや (ソフトクリーム・かき氷) 旭区赤川1丁目 6-14

釜揚げ手打ちうどん喜多 旭区赤川1丁目 6-14

谷町線 関目高殿

① epais 関目高殿店 城東区成育 5-23-17 和光建設関目レジャービル 1F

分厚いお肉なのに、やわらかいとんかつ。店内は少し狭いので予約した方がいいです。

② 魚伊本店 旭区高殿 4-8-10 絶品のうな重。香ばしく、かつ、中はふんわりの鰻の蒲焼。

③ 関目団長 (ラーメン) 城東区成育 5-23-2 パークプラザ森小路 101

城東
(06-6943-1234)

今里・長堀鶴見緑地線 蒲生 4 丁目

いずれも\浦寛幸先生ご推薦\

koko ti café 城東区中央 1丁目12-17 第2坂本ビル 店内がおしゃれ。近隣の方々の憩いの場。ちょっとした休憩にどうぞ。

① 飛龍 城東区中央 1-12-17 おいしいと評判の伝説のお店。一番行ってみたい焼肉屋。

② 炭火烧肉たむら 蒲生本店 城東区中央 1-8-30

吉本芸人の「たむけん」ことたむけんじさんが経営する焼肉屋。ハラミがおいしい。

③ 焼肉美食亭いわや 城東区中央 1-13-18 角屋がもよんビル 5F

ちよつとお高めのお肉のお店。雰囲気もよく、デートにも使えます。

④ 門舎 城東区蒲生 3-11-16 隠れ家的なおしゃれ居酒屋。オススメはビーフカツレツ。肉のうまみが最強。

⑤ そば冷泉 城東区蒲生 4-20-5 最近できたお蕎麦の専門店。店内で手打ちそばを作っています。

⑥ スクオーレ 城東区蒲生 4-21-21

ピザとパスタのお店。色々なピザがあり、そのピザは窯焼き。お昼もやってます。

⑦ やきとりたづや 城東区蒲生 4-15-13

肝がトロンとしていておいしいですが、ぎんなんもおいしい。

鶴見
(06-6913-1234)

長堀鶴見緑地線 横堤 ※地下鉄出口直ぐに警察署があります。

大阪水上
(06-6575-1234)

中央線 大阪港

雪花の郷 大阪店 港区築港 4-4-23 かき氷の有名店です。

築港麺工房 港区海岸通 1-5-25 築港ビル 1F

大正
(06-6555-1234)

JR環状線 大正 ※港警察参照

天王寺
(06-6773-1234)

谷町線 四天王寺前夕陽ヶ丘

① フロレスタ 四天王寺店 天王寺区四天王寺 1-12-28 ドーナツ屋さんです。

② ブーランジェリー パリゴ 天王寺区上本町 9-3-4 MASTERSRESIDENCE 1F

虹の仏 (カレー・洋食) 天王寺区四天王寺 1-12-23

浪速 <p>(06-6633-1234)</p>	 電車 堺筋・阪堺線 恵美須町 <p> 📍肉のさかもと (デリカテッセン・コロッケ・串カツ) 浪速区恵美須東 1-22-6</p> <div> 📺① グリル梵 (洋食店) 浪速区恵美須東 1-17-17</div> <div> ② 甲州麺 恵美須町店 (ほうとう・餃子) 浪速区恵美須西 1-2-7 シティーハイム不夜城 1F</div>
---------------------------------	---

東成 <p>(06-6974-1234)</p>	 電車 今里・千日前線 今里 <p> 📍ケントハウス本店 東成区大今里南 1-21-19 🚶 阪急百貨店にも入るケーキ屋さんです。</p> <div> 📺今里わっしょい (ラーメン) 東成区大今里南 1-5-2</div>
---------------------------------	--

生野 <p>(06-6712-1234)</p>	 電車 JR環状線線 桃谷 <p> 📍手作り豚まん専門店龍福 桃谷店 生野区勝山北 1-2-9 🚶 肉まんのほかシューマイや春巻きもあります。</p> <div> 📺豚骨黒カレー MECHA 天王寺区堂ヶ芝 1-9-3 🚶 ランチタイムのみの営業</div>
---------------------------------	--

阿倍野 <p>(06-6653-1234)</p>	 電車 谷町線 阿倍野 <p> 📍① 嶋屋 本店 阿倍野区阿倍野筋 2-4-37 🚶 大学芋の名店。</p> <div> ② ビアンシユール (パン・サンドイッチ) 阿倍野区阿倍野筋 2-4-44</div> <div> 📺実身美 (サンミ) あべの店 (健康食・カフェ) 阿倍野区阿倍野筋 2-4-39</div> <div> 電車 阪堺上町線 松虫</div> <div> 📺らーめん極 阿倍野筋店 阿倍野区王子町 1-4-27</div>
----------------------------------	--

住之江 <p>(06-6682-1234)</p>	 電車 四つ橋線 住之江公園 ※ 新北島別館参照
住吉 <p>(06-6675-1234)</p>	 電車 南海本線 住吉大社 📍 住吉菓庵 喜久寿 住吉区東粉浜 3-28-12 🚶 だら焼きが有名です。
東住吉 <p>(06-6622-1234)</p>	 電車 JR阪和線 南田辺

いずれも、岩谷基先生ご推薦／

📺① マガリーダツタ 東住吉区南田辺 2-1-3 グリーンコーポ山坂 1F

🚶 雑誌などでよく取り上げられるスパイスカレーの店。無くなり次第終了です。「カレー」と言われなければ、なんの料理か分からないくらいのカレーが出てきますが、うまいです。

② ごはんとお酒と布と糸fudan 東住吉区山坂 2-10-3

🚶 スタンドアサヒの裏にある地元の人気店。夜だけです。予約しないと入れないです。

③ げしとうじ 阿倍野区長池町16-6

🚶 スパイスカレーのお店です。古い町屋を改装した店内でリラックスして食事できます。土日はたいがい並んでいます。

④ スタンドアサヒ 東住吉区山坂2-10-10

🚶 太田和彦氏「居酒屋大全」にも紹介された居酒屋の名店。亡き女将の後を継いだ兄妹が店を切り盛りしています。エビフライから松茸土瓶蒸しまで、地元のおっちゃんからファミリー、観光客まで、なんでも受け入れる度量の広い店です。

 電車 御堂筋線 西田辺	<div> 📺① うどんゆきの 東住吉区山坂 3-10-14 🚶 正統派大阪うどんの名店。行列しているときもあります。</div> <div> ② ピエドラ 阿倍野区西田辺 1-4-21 FUMOSE 西田辺 1F 🚶 スペイン料理店です。ランチあり。こちらも人気店です。</div> <div> ③ サッポロラーメン ほんば 阿倍野区長池町21-10</div> <div> 🚶 一見、なんの変哲もないラーメン屋ですが、なんでもうまいです。某関大法学部教授もツイッターで絶賛。</div> <div> ④ BODEGA 阿倍野区昭和町 5-12-14 田村ビル 1F</div> <div> 🚶 ナポリピッツアの店。ミシュランでビルグルマンを取得しています。マルゲリータは最高。「サッポロラーメンほんば」のすぐそばです。</div>
---	---

平野 <p>(06-6769-1234)</p>	 電車 谷町線 喜連瓜破 ※ 駅近くにイオン喜連瓜破店があります。 <div> 📺うどん工房元 平野区喜連 2-7-21</div>
---------------------------------	---

西成 <p>(06-6648-1234)</p>	 電車 堺筋・御堂筋線 動物園前 <p> 📍小橋るり先生ご推薦／ 千成屋コーヒー 浪速区恵美須東 3-4-15 🚶 ミックスジュース発祥のお店。レトロです。</p> <div> 📺マルフク (ホルモン・立ち飲み居酒屋) 西成区太子 1-6-16</div> <div> 電車 JR環状・南海線 新今宮</div> <div> 📍551蓬莱 新今宮店 西成区萩之茶屋 1-2-24 🚶 おやつにピッタリ。</div> <div> 📺小橋るり先生ご推薦／ ホルモン道場 浪速区恵美須東 3-2-23</div> <div> 🚶 丸腸、牛タンとか甘辛ダレで鉄板焼きしてくれます。めっちゃ安いの!</div> <div> 電車 南海高野線 萩之茶屋</div> <div> 📺中森俊久先生ご推薦／ なんばや和 (立ち飲み・洋食) 西成区萩之茶屋 3-3-23 🚶 音楽が聴けたり安かったり良い感じですよ。</div>
---------------------------------	---

淀川 <p>(06-6305-1234)</p>	 電車 阪急線 十三 <p> 📍① Patisserie Touchez du bois 淀川区十三元今里 2-21-3 メゾン愛花夢105 🚶 とても凝ったケーキで味も絶品です。</p> <div> ② 喜八洲総本舗 本店 淀川区十三本町 1-4-2 🚶 みたらし団子が有名です。</div> <div> 📺① 印度屋十三店 (カレー・サンドイッチ) 淀川区十三本町 2-1-2</div> <div> ② くそヤジ最後のひとつり (ラーメン) 淀川区十三本町 1-2-23</div>
---------------------------------	---

東淀川 <p>(06-6325-1234)</p>	 電車 阪急京都線 上新庄 <p> 📍プチプランス 上新庄店 (ケーキ) 東淀川区瑞光 1-11-4</p> <div> 📺① 杏花楼 (中華・点心) 東淀川区上新庄 3-12-16 ② 天狗庵 (油そば) 東淀川区瑞光 1-16-8</div> <div> ③ 凡僧 東淀川区小松 1-1-2 江口実業ビル 1F</div> <div> 🚶 警察署とは反対側の出口。焼鳥。全部美味しいが特に肝!</div>
----------------------------------	---

大阪市外	
高槻 <p>(072-672-1234)</p>	 電車 阪急京都線 高槻市 <p> 📍ラ・ギャミヌリイ 高槻市高槻町15-2 唐崎屋ビル1F 🚶 洒落た店構えの人気店で、いつもお客さんでごった返しています。</p> <div> 📺彩色ラーメンきんせい 高槻駅前 (ラーメン・つけ麺) 高槻市北園町18番 1 コーケンビル 1F103</div>

茨木 <p>(072-622-1234)</p>	 電車 JR京都線 茨木 📍 リユーヘイ JR茨木店 (パン) 茨木市西駅前町 6-22
	 📺 レモングラスハウス (タイ料理) 茨木市西駅前町 3-21 ステーション・プラザ 1F

摂津 <p>(06-6319-1234)</p>	 電車 阪急京都線 摂津市 📺 九州ラーメン珍竜軒 摂津市南千里丘 3-6
	 電車 大阪モノレール 摂津 📺 たんぼぼ (ちゃんぽん) 摂津市学園町 2-1-18

吹田 <p>(06-6385-1234)</p>	 電車 JRおおさか東線 南吹田 ※ 新駅のため周辺にコンビニのみ
	 電車 阪急千里線 吹田 いづれも、中西教子先生ご推薦／
	 📍 和 - 水都饌菓 吹田市穂波町13-42
	 🚶 吹田警察署の横と言ってもいい、徒歩 1 分くらいのだ筋にある、和菓子屋さんです。金のプリン(380円)は美味しくて、お勧めです。その他には、おはぎやわらび餅、タルト、フルーツ大福など色々あります。私がこの間行った時は、ハロウィン関係の可愛い商品が並んでいました。ちょっとしたお土産に重宝です。イートインスペースは残念ながらありません。
	<div> 📺① モンダルジャン 吹田市穂波町 6-15</div> <div> 🚶 吹田警察署から徒歩 5 分、吹田市立第 6 中学校の前にある、鉄板焼きステーキの店です。夜は高級店ですが、ランチはシェフのおすすめのハンバーグステーキなどが1700円、1800円で食べられます。ちょっとしたご褒美といった所です。店の外観がコテージみたいで素敵です。個室もあります。</div> <div> ② パリワール 吹田店 吹田市泉町 2-47-28 🚶 吹田警察署から徒歩 5、6 分の所にある、インド料理店です。ランチは750円くらいで、本格的なカレーやナンが味わえます。</div>

豊能 <p>(072-737-1234)</p>	 電車 能勢電鉄妙見線 妙見口 📺 かめたに 豊能郡豊能町吉川143 🚶 お食事処、猪肉あります
箕面 <p>(072-724-1234)</p>	 電車 阪急箕面線 箕面

 📍 菓子工房 エピナール 箕面市箕面 6丁目 6-8	
<div> 📺① 銀蔵 サンクスみのお店 箕面市箕面 6-4-24</div> <div> 🚶 中央卸市場仲買直営のお店で、海鮮丼などが美味です! 店のつくりは「食堂」みたいな感じです。</div> <div> ② 嵯峨野茶家 箕面市箕面 5-13-40 箕面ニュープラザ 1F 🚶 定食メニューも居酒屋メニューも充実。</div> <div> ③ kitchen suu 箕面市箕面 6-2-29</div> <div> 🚶 おからを使った創作家庭料理のお店。晩は、1品300円、500円で居酒屋として利用可。</div> <div> ④ ヴィアミノ 箕面市箕面 5-13-46</div> <div> 🚶 隠れ家風の場所にある、石窯ピザなどの美味しいお店。わかりにくい場所にあるので、電話したほうがよいかもしれません。1人2700円でコース料理があり、ミネストローネ・パスタかピザ・石窯焼き料理 (肉または魚・野菜)、ジェラート、ドリンクでお腹いっぱい楽しめます。</div> <div> ⑤ フェリーチエ (オムライス・洋食) 箕面市箕面 6-1-32 1F</div>	 📺 藤田さえ子先生ご推薦／

池田 <p>(072-753-1234)</p>	 電車 阪急宝塚本線 池田 📍 満寿美堂 池田市菅原町11-3 🚶 和菓子です。
	 📺 蕎麦見世のあみ 池田市菅原町 6-7

豊中 <p>(06-6849-1234)</p>	 電車 阪急宝塚本線 岡町 📍 森のおはぎ 豊中市中樞塚 2丁目25-10
	 🚶 常時 7、8 種類のおはぎがあり、カボチャなど変わり種もあります。
	 📺 洋食屋グリルCoCCo 豊中市中樞塚 2-18-12 藤本ビル 1F

豊中南 (06-6334-1234)	 阪急宝塚本線 庄内  肉ふじ (デリカテッセン) 豊中市庄内2-1-5  烈火本店 (ラーメン) 豊中市庄内東町2-2-14
羽曳野 (072-952-1234)	 近鉄南大阪・同長野線 古市   小橋るり先生のご推薦  ① Mory's 羽曳野市古市2-8-8  ② 中華料理花蓮 羽曳野市白鳥1-1-17  ③ 駅からちよつとあるの…、要予約。でも別世界の設えで美味しいワインとお食事を。
富田林 (0721-25-1234)	 近鉄長野線 富田林西口  パンセ 富田林市寿町2丁目1-3  ① ポパイ 西口店 (ラーメン屋) 富田林市常盤町5-4  ② 安くて美味しい。
枚岡 (072-987-1234)	 近鉄奈良線 瓢箪山  肉の森田屋 瓢箪山店 (コロッケ) 東大阪市昭和町2-3  瓢亭 (とんかつ) 東大阪市旭町15-16
河内 (072-965-1234)	 近鉄奈良線 河内花園  多喜万 精肉店 (コロッケ) 東大阪市吉田1-1-29  近鉄けいはんな線 荒本  ① らーめん大王 東大阪菱江店 東大阪市菱江2-1-10  ② サカエ屋 東大阪市荒本2-15-28  ③ 焼肉、ランチもあります。
	 // // 吉田  菓子工房レジェール・ソルティ 吉田店 東大阪市今米1-14-17  ① うどん日和 東大阪市中新開2-13-46-103 正起吉田ハイツ1階
布施 (06-6727-1234)	 近鉄奈良線 八戸ノ里  ルジャンドル 八戸ノ里本店 東大阪市下小阪2-14-10  ② 可愛いケーキ屋です。
八尾 (072-992-1234)	 JR大和路線 八尾  とんかつマンジエ 八尾市陽光園2-3-22  ③ 名店です。
松原 (072-336-1234)	 近鉄南大阪線 河内松原  名代とんかつ 千房 松原市上田3-1-13
柏原 (072-970-1234)	 近鉄道明寺線 柏原南口  ばん処ちどり 柏原市大泉1-9-17 グランドムール1F ※墜下駅が最寄です。  ③ ハード系本格派パン屋
枚方 (072-845-1234)	 京阪交野線 宮之阪  コーヒーショップabout a coffee 枚方市宮之阪1-9-37  京阪本・同交野線 枚方市  ジョフラン 京阪百貨店 枚方店 枚方市岡東町19-19 京阪百貨店 ひらかた店  ③ 地元の名店です。  ① 真っ赤ならーめん とまこ 枚方市川原町8-12 クラウンビル11号  ② トマト押しでとてもおいしいです。
寝屋川 (072-823-1234)	 京阪本線 寝屋川市  ティコラツテ 寝屋川市豊野町15-6  ③ 向かいの系列ジェラート屋さんも絶品です。
門真 (06-6906-1234)	 京阪本線 古川橋 ※ 駅前にファミマとイオンがあります。  大阪モノレール・京阪本線 門真市 ※ 駅前にイズミヤがあります。  ① 麺やゆた花 (ラーメン・つけ麺・餃子) 門真市新橋町12-18  ② 洋食屋 ぷてい あういによん 門真市速見町5-6
守口 (06-6994-1234)	 谷町線 守口  ① 麺やしき 守口市豊秀町2-1-3 エスゴワール豊秀ワン1F  京阪本線 守口市  アスカ守口店 (たこ焼き・お好み焼き) 守口市河原町8-3 京阪百貨店守口店B1F
四条畷 (072-875-1234)	 JR学研都市線 野崎  吉野家 170号線 野崎店 大東市南津の辺町21-38
交野 (072-891-1234)	 JR学研都市線 津田 ※ 駅前のセブンイレブンを逃すと何もありません。
堺 (072-223-1234)	 阪堺軌道阪堺線 大小路  ① 風来軒 大阪本店 (ラーメン) 堺市堺区熊野町東1丁目1-10  ② 百福 (うどん・おでん) 堺市堺区熊野町東3-1-8
北堺 (072-250-1234)	 御堂筋線 新金岡  RisaRisa (カフェ) 堺市北区新金岡町5丁目4-107-1  ① 王子西安鍋貼館 (中華料理) 堺市北区金岡町5-6-101

西堺 (072-274-1234)	 JR阪和線 鳳  パティスリーフォンセ 堺市西区鳳南町1-3-3 アーバンプラザ1階   有料とく子先生のご推薦  ① しおじん 堺市西区鳳東町4-317  ② 「ゆずしおらーめん」がおすすめとのことです。  ③ ラーメンNewYork×NewYork 堺市西区鳳中町3-61-3
-----------------------------	--

南堺 (072-291-1234)	 泉北高速鉄道線 栲・美木多 ※ 駅前にファミマがあります。
高石 (072-265-1234)	 南海本線・高師浜線 羽衣、JR阪和線 東羽衣  炭焼きうなぎのうえだ 高石市羽衣1-20-5
泉大津 (0725-23-1234)	 南海本線 泉大津  虎屋スイーツ 泉大津市田中町9-8  らーめん小鉄 泉大津市旭町19-2 N. KLASS泉大津
和泉 (0725-46-1234)	 JR阪和線 和泉府中  真 (チャイニーズ ダイニング シン) 泉大津市東豊中町1丁目7-1 グリーンファンタン106号
岸和田 (072-439-1234)	 南海本線 岸和田  だんぢり屋 岸和田市野田町1-6-24  ① 小橋るり先生のご推薦  ② うどん蔵ふじたや 岸和田市筋海町8-9  ③ 手打ちうどんが美味しい!キーマカレーうどん、だまされたと思って食べてください!もちろん他のメニューも美味しいです。  ④ 足立敦史先生のご推薦  ⑤ 北野 岸和田市野田町3-4-9  ⑥ 岸和田警察署の前の道路をはさんだ向かいにあるラーメン屋「北野」のラーメンは、何故かリピートしてしまう一品です。鶏豚骨と魚介醤油を合わせたトリプルスープで、クリーミーかつ濃厚だけど、魚介が効いてる分しつこくないことが原因でしょうか。多めに盛られたカイワレが後味をおさえているのかも。食べログでも3.55でわるくはない評価です。

	 JR阪和線 東岸和田  NICOL (パン・サンドイッチ) 和泉市府中町7-1-1  かんさい泉大津店 泉大津市東豊中町3-14-5
--	--

貝塚 (072-431-1234)	 南海本線・水間鉄道 貝塚 ※ 警察署近くにファミマがあります。  水車 貝塚市近木959-1  ③ ザ喫茶店
関西空港 (072-456-1234)	 南海空港線・JR関西空港線 関西空港  たこ昌関西空港店 泉佐野市泉州空港北1 関西国際空港 第1ターミナルビル2F ダイニングコート町家小路内  ① 龍旗信関西空港店 (ラーメン) 泉佐野市泉州空港北1 関西国際空港 第1ターミナルビル2F ダイニングコート町家小路内

泉佐野 (072-464-1234)	 南海本線・同空港線 泉佐野  植木和彦先生のご推薦  ① MIYABI'S 泉佐野市上町2丁目2-2-12  ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  ① ストロングスタイル (ステーキ屋) 泉佐野市上町3丁目1-31  ② らあ〜麺SHOU 泉佐野市高松東1-10-37 泉佐野センタービルB1F  ③ お好み焼き 文福 泉佐野市若宮町7-18
------------------------------	---

泉南 (072-471-1234)	 南海本線 尾崎  モスバーガー 尾崎店 阪南市下出720-5
黒山 (072-362-1234)	 南海高野線 北野田  SOUP&NOODLE 桜鳳 (ラーメン屋) 堺市東区北野田93  近鉄南大阪線 河内松原 ※ 松原警察署参照  御堂筋線 新金岡 ※ 北堺警察署参照

河内長野 (0721-54-1234)	 南海高野線 河内長野  マニカリー (インドカレー) 河内長野市長野町5-1-111 ノバディながの南館1F
-------------------------------	---

少年鑑別所 (072-233-3326)	 南海高野線 浅香山  ブランベック (フレンチ・ピストロ) 堺市堺区高須町2-2-22  南海高野線 堺東 ▼ 堺東か堺市でレンタサイクルを借りるのがおすすめです ▼  ① ビアードパバ 堺市堺区三国ヶ丘御幸通61  ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  ① 中華そばムタヒロ 堺東店 堺市堺区中瓦町2-3-18  ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  ① 中華そばムタヒロ 堺東店 堺市堺区中瓦町2-3-18  ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯
--------------------------------	--

特集Ⅳ

春秋会

新人紹介 2021

自己紹介

横瀬 大輝 (65期)
堂島法律事務所



関西での執務・生活のはじまり

皆さんはじめまして。新65期の弁護士の横瀬大輝と申します。

2013年に弁護士登録をしてから約8年、弁護士法人ほくと総合法律事務所(東京オフィス)でお世話になり、弁護士としての基礎を徹底的に鍛えてもらいました。2020年10月からは、堂島法律事務所(大阪事務所)に移籍して、大阪弁護士会、そして大阪春秋会に入会させていただきました。

堂島法律事務所に移籍してからというもの、これまでに経験したことのない分野や種類の事件を多く担当させてもらっており、日々充実した毎日を送っています。大阪では事件の相手方(や依頼者さんも?)にパワフル・豪快な方が多く、何とか食らいついているという状況です。子どものときから空手をやっており、体力と根気強さには自信がありますので、負けじと頑張りたいと思います。

実は関西で生活するのは初めてでして、友達もあまり関西におりません(泣)。コロナの関係もあり、飲み会や会食をするのも憚られる

ため、寂しい状況が続いています……。お酒も好きですので、コロナが落ち着きましたら、是非ぜひお気軽にお誘いいただけたら嬉しいです。

プライベートでは、妻と一緒に宝塚歌劇団を観劇するのが趣味の1つでして、こちらに引っ越してきて宝塚大劇場が近くなったので、よく通っています。宝塚大劇場に気軽に行けるようになったのは、引っ越してよかったランキングの5本の指に入ります。宝塚に興味がある方がいらっしゃいましたら、是非お声掛けいただけたら嬉しいです。

また、先ほど述べたとおり、子どもの頃から空手をやってきていました。実家が空手道場です。大学でも本気で空手に取り組んできました。ですが、最近は運動不足気味でお腹が……。運動不足解消&ダイエットのために、家の中で突きや蹴りの稽古をしていますが、妻からは白い目で見られています……。

関西に引っ越してきて、新しい環境での執務・生活が始まりました。まだまだ不慣れなところもありますが、こちらに引っ越してきてよかったなぁと思っています。これからは春秋会での行事や活動にも是非色々に参加させていただきたいと思います。新参者ですが、どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

◎先輩より……………柳 勝久 (61期)

横瀬さんについて

令和2年10月、横瀬さんは、中途採用で当

事務所に入所しました。彼は新65期、7年半あまり、東京で弁護士としての経験を積んでいることとなります。思い起こせば、私も、7年ほど、東京で弁護士や官庁出向の経験を積んだ上で、当事務所に中途採用で入所しました。なんとなく、私の経歴と重なるところがあります。しばらく、当事務所に入所した当時の私と重ね合わせ、いかに自分が未熟者だったかとひとしきり反省し、自己嫌悪になって、それ以上考えるのをやめました。

横瀬さんとは、スーパーヘビー級の案件を含め、複数の案件をご一緒にしていますが、彼の事務処理の速さ、正確さ、ガッツ、体力、物腰の柔らかさ、所内の弁護士や依頼者に対する配慮など、すべてにおいて非の打ちどころがありません。すでに午前様状態になっている横瀬さんから、パンパンになって回らなくなっている我々の業務を引き取りたいとの申し出があったときには、「神ですかキミは。」と、心の中で呟きました。彼は空手の有段者、お父さんは、空手の道場を経営しているとのこと。空手やってたら、こんな立派な人間になるのでしょうか。私もやってたらよかったかな、もう手遅れやな、息子にもやらせようかな。

そんな横瀬さんですが、ノリもよく、これまた素晴らしいです。横瀬さんの採用面接後の宴席で、ネクタイを額に巻いた姿が、今でも忘れられません。こんな逸材ですから、他の事務所からの引き合いも数多だったでしょう。ただ、ネクタイを額に巻いた彼の姿を見て、「彼は堂島に来る運命だ。そうに違いない。」と確信しました。そして、その確信は現実のものとなり、今、こうして、一緒に仕事をさせていただいています。

今後も、様々な案件で、横瀬さんの力をいかに発揮してもらおうことになるでしょう。これから、苦楽を共にできることを、心から楽しみにしています。

自己紹介

藤田 圭介 (71期)
弁護士法人・響 大阪オフィス



血圧が160

この度、春秋会に入会しました71期の藤田圭介と申します。弁護士法人響の大阪オフィスに所属しております。

昨年6月下旬に同事務所の東京のオフィスより異動になりました。

もともと、兵庫県出身で、大学と院は京都の立命館大学、修習は神戸ということで、慣れ親しんだ関西に帰ってくるのができてうれしく思っております。

東京では第二東京弁護士会に所属し、主に高齢者・障がい者総合支援センターという委員会に所属し、複数の都立病院に足を運び、患者さんやケースワーカーさん、ソーシャルワーカーさんから寄せられる交通事故・相続・借金・行政対応などの様々な相談にベテランの先生と一緒に対応したり、委員会の複数の先生と共同で、不当な長期入院患者の退院請求なども行ってきました。

また、東京ファクタリング弁護団にも所属し、コロナが出始めた前後の時期から流行っていた給料ファクタリング被害の相談や事件処理などを行いました。

他方で、プライベートでは、最近ハマりだしたのが、サウナです。サウナと水風呂を交互に入ってから「整った」瞬間が非常に気持ちよく、かつ、仕事の疲れやストレスから解放された気分になるので(解放されたのは気分だけで仕事は残ったままですが)、週に2、3回通っています。

また、飲むことがこの上なく好きなのですが、

外出自粛の影響で家飲みをする機会が増え、クラフトビールを飲み集めるようになりました。ピルスナー、ペールエール、アイピーエー、ヴァイツェン、フルーツビール、スタウトなど種類が豊富にあり、日々ネットで探しまくっては購入して夜な夜な堪能しております。そのためか昨年の健康診断では30代前半で血圧が160となり、悪玉コレステロールが異常に多いとの診断を受けました。

その他にも、ランニング、ゴルフ、卓球、ロードバイク、スノーボー、野球観戦（阪神ファンです！）、ドラマ・映画などの動画鑑賞、マンガ、脱出ゲームなどをいろいろなものに手を出しております。

弁護士3年目にはなりますが、まだまだ未熟者ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

◎先輩より…………… 河野 哲平 (71期)
響きわたる声

昨年7月から一緒に働く同期の藤田君を紹介いたします。

彼の声は、圧倒的なボリュームでよく通ります。ボリュームが必要な場面では、特に頼りになる存在です。隣に机を並べて仕事をするようになって約半年、最近、彼のボリュームによって慣れてきたような気がします。

また、彼は、ビールが大好きで底なしに飲むことができます。前は、よく一緒に飲みに行っていました。私は最後までとても付き合いきれず、彼にとっては飲み足りない状況でいつも終了となってしまいます。この状況が収まったらまた飲みに行きたいと思っています。

みなさま、響きわたる声の藤田君のことを、どうぞよろしくお願い申し上げます。飲みにも誘ってやってください！

自己紹介

青木 克也 (73期)

弁護士法人古川・片田
総合法律事務所 南森町事務所



10年の学生生活を終えて

私は1989年に茨城県の田舎町で生まれました。高校を卒業後、一浪して京都大学に入学し、学内では軟式野球、剣道、法律相談などのサークル活動にいそしみました。

そのかわら、京都・大阪で貧困問題や労働問題との印象的な出会いをし、学外でいくつかの支援団体の活動にも参加するようになりました。

4回生のときは公務員や記者を志望していましたが、就職活動に失敗し、進路未定のまま学部を卒業しました。アルバイトや各種団体での活動をしながら進路を再考した結果、活動の中で素晴らしい弁護士の方々との出会いがあったことから、自分も弁護士になろうと思い、翌年法科大学院に進学しました。

法科大学院でも落ち着いたのなさは変わらず、貧困問題への取組みの中で出会った学生仲間たちと一緒に、奨学金やブラックバイトの問題に取り組む学生向けの労働組合を立ち上げました。司法試験の2か月前まで団体交渉をするなどしていましたが、受験勉強もそれなりには頑張っていたので、なんとか合格することができました。

そのまま司法修習に行けばよいものを、労働法理論をもっと勉強したいと思い、大学院の博士後期課程に進学しました。フランチャイジーの労働者性をテーマに博士論文を書き、4年かけて同課程を修了しました。

そのような経緯で、学部4年、法科大学院2年、博士課程4年と、合計10年に及ぶ学生生活を

京都で過ごしました。その前と間に1年ずつの浪人期間もありましたので、すべて終わった時には30歳になっていました。

司法修習でも関西の修習地を希望しましたが、少しずれて徳島になりました。小規模なだけに修習生一人ひとりが丁寧な指導を受けられ、新型コロナウイルスの影響も比較的小さかったので、個性豊かな仲間たちとともに充実した修習生活を送ることができました。

修習中に頭書の法人から入所内定をいただき、縁あって昔からお世話になっていた川村遼平先輩（紹介文ありがとうございます！）と一緒に仕事をしていけることになりました。

あいにくの社会情勢ではありますが、いずれ春秋会の皆様と交流できるのを楽しみにしております。よろしく願いいたします。

◎先輩より…………… 川村 遼平 (72期)
青木克也さんの親切さの賜物

青木さんと知り合ってから、約10年の歳月が過ぎようとしています。こういった紹介文を書く機会でもないと、なかなか思い出を振り返ることもありませんので、改めて月日の流れる早さに驚いています。

青木さんと初めて知り合ったのは、彼がまだ京都大学の学生の頃でした。当時の私は修士課程の大学院生で、当時は東京に住んでいたのですが、学外団体の活動を通じて彼と知り合ったのです。

当時の青木さんは、友人たちと労働組合を立ち上げたり、ボランティア活動に勤しんだり、活発かつ真摯に世の中の問題と向き合い、有意義な学生生活を送っていました。そんな青木さんが大学を出てからどんな活躍をするのか、私はぼんやりと楽しみにしていました。

最初に会った頃は確か官僚になるような話をきいていたので、厚労省などにいい政策を立案してくれるのだろうかと思っていましたが、気が付けば彼はロースクールに進学してしまし

た。その後は、70期の代に司法試験に合格し、京都大学の博士課程に進学して早期に同過程を修了され、73期司法修習を終え、晴れて弁護士となりました。昨年は司法修習生の肩書で『日本労働学会誌』133号に論文を寄稿していただいたので、興味のある方はぜひご一読ください。

社会学系の大学院に在籍していた門外漢の私が弁護士になろうと思いついたとき、親身に相談に乗ってくれたのも青木さんでした。受験科目すら理解していなかった私に、試験制度や勉強方法などを教えてくれた上、彼が使っていた教材やノートを段ボール箱いっぱい詰めて送ってくれました。弁護士になったのは私自身の選択ですが、結果として彼より1年早く弁護士になることができたのは、青木さんの親切さの賜物なのです。

そんな彼が、初対面から10年ほどの月日を経て、同じ弁護士として、同じ大阪で、しかも同じ事務所で働くことになったのですから、こんなにも人との縁を感じることはありません。彼がこれからどんな弁護士になっていくのか、私はとても楽しみにしています。

私は青木さんに教わって試験に合格した身ですので、私から彼にいえるのは、30代になったし健康には気を付けようね、ということくらいです。春秋会の先生方からも多くのことを吸収して社会の発展に役立ててくれる人物だと思いますので、ぜひとも様々な場に誘っていただき、ご指導くださいますと幸いです。

自己紹介

青木 晶子 (73期)
共栄法律事務所



金本元監督の大ファン

今年1月より、共栄法律事務所にて執務を開始致しました、青木晶子（あおきしょうこ）と申します。この度、ご縁を頂き、春秋会に入会させて頂くこととなりました。

私は、京都女子高校、北海道大学法学部を卒業後、京都大学法科大学に進学し、翌年司法試験に合格しました。大の阪神ファン（金本元監督の大ファンです）でして、修習期間中（修習地は京都でした）は思う存分甲子園に足を運ぼうと意気込んでいたのですが、昨今の状況で叶わず、画面越しに応援する日々を送ってまいりました。

入所してから、2週間余りが経過し、自身の不甲斐なさ、力不足を感じる毎日ですが、少しでも依頼者の方のお力になりたいという思いで日々業務にあたっています。

最近になり、ふと思い出した歌があります。

「明日ありと思う心の仇桜夜半に
嵐の吹かぬものは」

親鸞聖人が9歳で出家を決意した折り、「もう遅いから、式は明日にしたらどうか」との高僧の提案に対して、親鸞聖人が返答した句です。高校の頃、学校の授業で教わり、その頃は右から左に抜けていたのですが、弁護士になって、改めてこの言葉を思い起こしました。

人生は不確かなのにも関わらず、人は明日があるという安易な期待に寄りかかってしまします。そんな心の弱さを捨て、「いま一番すべきことは何か」を常に考えてこそ、私自身、次のステップに進めるのではと感じています。

父を亡くした中学2年生の時に弁護士を志してから今日まで、多くの方々に支えて頂き、弁護士としてスタートラインに立つことができました。感謝の気持ちを決して忘れることなく日々精進しなければならないという強い決意です。まだまだ至りませんが、春秋会の先生方皆様に多くのことを教えて頂き、一步一步前進していきたいと思えます。

今後共、ご指導ご鞭撻賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

◎先輩より…………… 内貴 梨咲子 (72期)

字がとてもきれいな

本年1月より弊所に入所しました青木晶子弁護士を紹介いたします。

青木さんの一番の印象は、字がとてもきれいなということです。入所前にもかかわらず、青木さんから年賀状をお送りいただきましたが、字がとても達筆でした。年賀状に手書きでメッセージを書くだけでも大変だというのに青木さんの流れるようなきれいな字に惚れ惚れしました。また、まじめな青木さんの性格が字にも滲み出ており、字は人の性格を表しているのだとしみじみ感じます。

そんな青木さんですが、性格は前述のとおりまじめで明るい素敵な方です。青木さんが事務所に入所されてから事務所の雰囲気がとても明るくなりました。事務所のメンバーへの挨拶はもちろんのこと、事務所の先生や事務局ともコミュニケーションを取られており、既に事務所に馴染んでおられます。私自身、青木さんと一緒に仕事をする機会がまだなく、仕事面での青木さんの印象は限られますが、メールの文面が非常に丁寧です。メールの文面が丁寧なのですから、仕事では丁寧な仕事をされるのだと思います。青木さんが入所してまだ1カ月も経っておりませんが、事務所の戦力になっていただけた方だと確信しております。

プライベートでの青木さんですが、野球観戦

がご趣味だそうです。昨年、弊所で野球観戦ツアーを計画しておりましたが、コロナウイルスの影響により泣く泣く中止となりました。現在もコロナウイルスの影響により、野球観戦に行けていない日々が続いているそうなので、野球観戦が趣味の春秋会のさん方がおられましたら、青木さんにお声がけいただければと存じます。

また、青木さんは春雨や白滝が大好きだそうです。昨年6月、弊所は淀屋橋から心斎橋へ事務所が移転したため、心斎橋の春雨や白滝が美味しいお店（なかなか無さそうですが・・・）をご存じの方がおられましたら是非青木さんに教えていただければ幸いです。

青木さんは既に弁護士会での委員会活動（法教育委員会や子どもの権利委員会等）に積極的に参加されていますので、春秋会での活動も積極的に参加いただけたらと思います。

春秋会の皆様におかれましては、今後とも青木さんをよろしく願いいたします。

自己紹介

有本 喜英 (73期)
弁護士法人梅ヶ枝中央法律事務所



ゴルフのレッスンに通い始めました

はじめまして、この度、春秋会に新規入会させて頂きました、73期の有本喜英（ありもと よしひで）と申します。岡山での修習を経て、本年1月より、弁護士法人梅ヶ枝中央法律事務所（大阪市北区西天満）にて勤務しております。

出身は大阪市ですが、幼少期に奈良県に転居し、小中高等学校時代を奈良県で過ごしました。その後、大阪大学法学部を卒業し、京都大学法

科大学院に進学、卒業いたしました。

大学時代の4年間は個別指導学習塾で講師のアルバイトをしていました。このアルバイトで経験したことで、私が講師を始めて間もないとき、生徒に学習方法の指導する際に自分が考える理想的な方法を伝えようとするばかりで、生徒とコミュニケーションをとる姿勢が不十分なことがありました。そのような姿勢で指導を行っても押しつけにしかありませんから、当然、生徒に聞き入れられることもなく、また反発を受けることもありました。当時は、指導が上手くいかないことに悩みましたが、あるとき、先輩講師が生徒の趣味の話題や近況なども聞きつつ指導を行っているのを目にしました。その講師は生徒と良好な関係を築けていましたし、担当生徒の学習意欲も高まっているように感じましたので、私も先輩にならって、勉強から離れた話題についてもコミュニケーションをとるようにしました。そのような姿勢で生徒と接するようになってからは生徒がこちらの指導を聞き入れてくれることも増えたように感じています。

この経験から学んだのは、自分の言い分を受け入れてもらうためには、まず信頼関係を築くことが大切であるということです。弁護士として働く上でも、依頼者との信頼関係の構築がスタートになるのではないかと思います。このような依頼者との関わり方についても、経験豊富な諸先輩方から多くを学ばせていただきたいと考えております。

私の趣味について、従来から映画鑑賞が好きでよく映画館に行ったり自宅で楽しんだりしていました。これに加えてアウトドアな趣味も増やそうと考え、岡山での修習中にはゴルフのレッスンに通い始めました。今後は、ゴルフも趣味としたいと考えておりますので、会派の先生方と一緒にできる機会があればうれしく思います。

会派の活動は、世代を超えて諸先輩方と交流

できる素晴らしい機会でもありますので、今後も積極的に参加したいと考えております。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

◎先輩より…………… 岩田 和久 (64期)
有本さんを宜しく申し上げます。

今年も、事務所に新たな仲間が入所してくれました。今年は、有本さんと久井さんの2名が、事務所に参画してくれましたが、私からは、有本さんをご紹介させていただきます。

有本さんは、1月に入所して間がなく、また、昨今のコロナウィルス感染拡大の時世柄、歓迎会や飲み会が出来ないため、有本さんと深く付き合い、人格の神髄に接するのはこれからですが、私が感じた有本さんの第一印象は、「誠実」、「柔和」、「謙虚」というものです。

私も、早いもので弁護士10年目になりますが、その中で確信しているのは、弁護士は全人格をもって依頼者と向き合い、事件処理に臨むことが必須であるということです。有事の相談の依頼者は、事件の渦中に在る限り平常の精神状態ではないわけですから、私は、弁護士の垣根を越えて法律外の不安感を含めて全て包み込んで、平穏を取り戻して頂けるよう努めるようにしています。

有本さんは、「誠実」、「柔和」、「謙虚」という素養が強く、依頼者と向き合う上で、極めて価値の高い素養をもってると確信しています。おそらく、有本さんの今まで人生の中で育まれたものであると思うところであり、一朝一夕では体得できないものです。だからこそ、依頼者に必ずこの人柄が響くと確信しています。有本さんには、これから持ち前の素養を活かし、単にいい人で終わるのではなく、弁護士として、温かみに溢れ、強く頼もしい弁護士として、多くの依頼者を護れる存在になって欲しいと思います。

そのためにも、所内だけでなく、会派での交流を通じて、弊所外での兄弁姉弁との縁を育み、

縦横の繋がりを自主的に作り、たくさんの価値観や流儀に触れて欲しいと思っています。

私、たった10年のキャリアで、先輩風を突風で吹かせる内容となりましたが、会派の先生方におかれましては、有本さんを温かく迎え入れて頂けると幸いです。

自己紹介

伊賀 友介 (73期)
伊賀総合法律事務所



台所の床で腹筋運動を

大阪弁護士会新入会員の伊賀友介(73期)と申します。今年1月から、伊賀総合法律事務所勤務しています。

現在42歳です。司法試験では苦労してきました。

大学の理系学部を卒業し、ほんのわずかな会社員生活を経て、新聞配達員や派遣のアルバイトなどをしてきました。はじめは気楽さを求めている生活でしたが、生きていくことの難しさを実感しました。結果的には、自分なりに社会を学んでいる経験になったと思っています。

今は、人間の力を信じ、あきらめずに仕事をしていきたいという気持ちでいます。

プライベートでは、体を動かすため山登りに出たりすることがあります。中学校では陸上部、高校ではサッカー一部で、もともと運動は好きな方でした。奈良での修習中は、新型コロナの影響で数週間自宅学習を強いられていましたが、その時は若草山を登っていました。今は奈良市の富雄に住んでいるので、生駒山や矢田丘陵を目的に往復2、3時間かけて歩くこともあります。また、最近では、台所が広い部屋に住んでいることから、電子レンジで牛乳を温めている間など

に、台所の床で腹筋運動をする機会が増えました。「はあうっ」となるところまでやるのが気持ちいいと感じるようになってきました。習慣になればいいなと思っています。

映画を見ることも好きです。去年は、007 ノー・タイム・トゥ・ダイを楽しみにしていましたが、公開延期となりその後も待たされているので、忘れかけています。

自分は、受験期間が長かったのですが、法律知識はかなり不足していると感じています。修習中にもっと勉強しておけばよかったとも思いますが、かといってできたとも思えません。これから日々努力していくつもりです。いろんな分野に興味関心を持ち、勉強していきたいです。

最後に、これからは、弁護士として精一杯仕事をしていこうと思います。春秋会の先輩方や同期の皆さんとは、互いに助け合えるような関係になればと思っています。

よろしくお願い致します。

◎先輩より…………… 伊賀 興一 (29期)
伊賀友介をよろしく

この度、春秋会に入会しました伊賀友介をよろしく申し上げます。

かねてから、いろいろどう生きるか悩んできたようですが、弁護士の道があってくれば良いな、と願っています。

大学は北大理学部で、全くの畑違いのところに飛び込んできました。毎日、私の事件処理や考え方について、あれこれ提案や質問をしてくれています。これも集団主義(最小単位ですが)の切磋琢磨になればいいなと、事務所では結構にぎやかに過ごしています。

父としては、仕事の肩の荷が下せるかと、少しほっとしているところです。

自己紹介

井出 達矢 (73期)
ライオン橋法律事務所



入会のご挨拶

この度、春秋会に入会いたしました73期の井出達矢と申します。

長野県出身で、修習地は富山県でした。富山は第5希望で出した修習地だったのですが、私は内陸県の出身ということもあり、修習生活に負けないくらい美しい自然と美味しい海の幸を楽しんだ1年間でした。

とはいえ、新型コロナウイルスの影響は当然修習にも及んでおり、自宅で黙々と課題をこなす自宅待機の期間があったり、本来和光市の司法研修所で受けるはずだった集合修習がオンライン上での授業になったりと、予想していた修習生活と全く異なる部分もありました。修習地が異なる同期の友人たちとは、二回試験で約1年ぶりに導入修習以来の再会を果たすことになるなど残念なこともありましたが、富山では裁判所がウィズコロナでの対応として書面による準備手続や電話会議・ビデオ会議を積極的に活用していたこともあり、コロナがなければ見ることがなかったはずの手続を見る機会を得ることができ、とてもいい経験になりました。先輩方から聞いたこととは全く違う、初めて尽くしの修習生活でしたが、73期全員にとって思い出深い修習生活になったのではないかと思います。

話は現在に戻りますが、私は日本司法支援センターに就職いたしまして、現在、ライオン橋法律事務所スタッフ弁護士の養成を受けております。私は西日本で生活した経験がないので、養成の期間だけとはいえ、大阪での生活をとても楽しみにしてまいりました。事務所では初勤務

の日から法律相談に同席するなど、積極的に案件に関わらせていただいております。短時間の相談時間の中で、相談者の話をいかに聞きもらさないようにするか日々奮闘中です。同時に、事務所の先生方の相談者の方へのご説明や、事案や今後の方針を検討されているお姿を見て、自分自身もプロフェSSIONALの世界に足を踏み入れようとしているのだ、と改めて実感しています。

1年間後には養成事務所を卒業しなければならぬからこそ、この1年間、学べることはしっかり学び、吸収していく所存でございます。春秋会においても、たくさんの先生方にお会いできることを楽しみにしております。今後ともぜひご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

◎先輩より…………… 島尾 恵理 (46期)

癒し系のキャラクター

弁護士会では、男性弁護士ばかりの中に女性弁護士が一人混じっているという光景は珍しいものではありません。しかし、逆に、女性弁護士ばかりの中に男性弁護士が一人にいることはあまりなく、そういった場合何となく居心地悪く落ち着かないものだ、と、中堅の男性弁護士から聞いたことがあります。

当事務所には、現在、5人の弁護士が在籍していますが、井出さんは唯一の男性弁護士です。でも、いつも穏やかに笑みをたたえている井出さんの表情からは、居心地悪くて困っているような気配はみじんも感じられません。以前、女性ばかりのドラッグストアでバイトしていたことがあるという井出さんは、事務員を含め女性ばかりの事務所の風景の中に、何の違和感もなく溶け込んでおり、何年も前からここにいたのではないかと錯覚するほどです。

井出さんは、真面目な努力家でありながら、必死の形相で脇目も振らずに仕事に取り組むというタイプでは決してありません。いつも、どこことなくのんびりとした雰囲気を見せており、他の人とは異なる時間の流れの中に生きて

いる仙人のようにも見えます。

ワークライフバランスを保ち、爽やかに自転車通勤。実に健康的です。

井出さんは、変な遠慮をすることもなく、自己主張もありますが、常に礼儀正しく、周囲の人を不快にすることがありません。

困っている人を助けたいとの思いから法曹を志したという井出さんは、打ち合わせの際も、のどかな田園風景を彷彿させる表情を浮かべ、穏やかに依頼者の話を傾聴しています。

癒し系キャラクターの井出さんは、助けを求めて相談に来られる依頼者の方々の気持ちに寄り添ってあげることのできる弁護士にきつとなってくれることと確信しています。

井出さんは、法テラスのスタッフ弁護士であり、1年後には赴任地へ派遣されることとなりますが、それまでの間、皆様、井出さんをどうぞよろしくお願いいたします。

自己紹介

大岩 祐司 (73期)

きづがわ共同法律事務所



法テラススタッフ養成弁護士です

この度、大阪弁護士会春秋会に入会させていただきました大岩祐司です。法テラススタッフ弁護士として、きづがわ共同法律事務所において1年間養成を受けることとなりました。

私は、愛知県の知多半島（2つある半島の内、西側の方）の先端にある南知多町で生まれ、高校卒業まで南知多町で育ちました。南知多町は、漁業が盛んで、離島である日間賀島のフグが全国的にも有名です。日間賀島には、県外からの観光客も大勢来られます。また、砂のきれいな海水浴場としても有名で、夏に開催される花火

大会では小規模開催を活かした名物の水中スターマインがとても迫力があってきれいです。

中学校時代から北の大地北海道に憧れていたことから、大学は北海道大学工学部土木工学科に入学しました。北海道大学では、コンクリートが寒冷地でどのような劣化をするかについての研究に励みました。北海道大学では大学院まで進み、大学院修了後は、東京、熊本、大阪の各地で、システムエンジニアやプログラマーなどの社会人を経験しました。社会人時代には、残業代未払いや上司からのパワハラ問題に直面したことから、司法と国民の距離が遠いことを痛感しました。

そのような経験から、国民と司法の距離を近づける活動をしたいと考えるようになり、大阪大学ロースクール未修者コースに入学し、司法試験を目指しました。ロースクール在学中や就職活動中に法テラススタッフ弁護士の仕事に興味を持ち、困っている人に寄り添って援助ができる仕事をしたいと思い、法テラススタッフ弁護士の道を選びました。よろしくお願いいたします。

◎先輩より…………… 岩田 研二郎 (33期)

大岩さんをよろしく

大岩さんは、私の事務所で養成している法テラススタッフ弁護士の12人目の被養成者です。理系大学を卒業されシステムエンジニアなどの社会人経験がある異色の人材です。大津修習ですが、73期は、コロナ禍で司法修習もオンライン授業となるなど、苦労も多く、修習を終えられました。

全寮制の私立小学校に通う5年の息子さんを、金曜日夕方に迎え、月曜日朝に送り出すという生活で、毎週金曜日がかかるのを楽しみにされている父親です。1年と短い期間ですが、よろしくお祈りいたします。

自己紹介

加門 亜弥 (73期)

法律事務所サラ



親戚に嘉門〇夫はおりません

この度、春秋会に入会しました、73期の加門亜弥と申します。本年1月1日付で法律事務所サラに入所し、勤務しております。

「加門」という名字は珍しいので、一発で覚えていただけることも多く、特に司法修習で多くの人と知り合うようになってからは、この名字で良かったなと思うことが多々あります。たまにご年配の方から「親戚は嘉門〇夫？」と聞かれますが、なんの関係もありません。

出身は兵庫県尼崎市です。物騒なイメージの絶えない土地ですが、実は「関西住みたい街ランキング」なるものに上位に入るほどの人気があります。大阪や神戸へのアクセスも良いので、引っ越しを考えておられる方は、是非尼崎も候補に入れてください。

生まれも育ちも生粋の「尼っ子」ですが、実は尼崎市以外にも大好きな場所があります。それは、私の司法修習地、大分です。生まれてからずっと尼崎市で育ち、西宮市の中高一貫校、関西大学、関西大学法科大学院に通ってきた私は、司法修習で大阪その他近畿圏から離れることなど微塵も考えておらず、修習希望地に「大分」とだけ記載しました。配属先を知らせる紙を見て、「大阪じゃなくて？一文字打ち間違えてない？」と絶望に駆られたことは今でも鮮明に覚えております。

結果的に、大分は非常に住み良い土地で、のびのびと修習することができました。コロナ禍で大分県内を自由に旅行することは難しかったのですが、大分市内や別府市、由布市で温泉を満

喫することができましたし、なんといっても食べ物非常に美味しかったです。魚介類が新鮮で、北海道に負けないくらい寿司のレベルが高く、大分空港では手荷物返却レーンで手荷物の合間に大きな寿司模型を流し、寿司の美味しさをアピールしています。大阪の立派な料亭で出てくるレベルのお刺身が、大分だとスーパーで手に入るのです。(新幹線が通っていない点を除けば)大分も尼崎に負けないくらい素晴らしい場所です。ここまで読まれた方はお察しかと思いますが、食べることが大好きですので、いつかまた大分へ旅行し、食べ物と温泉を満喫するのが最近の目標です。

のんびりとした修習生活を送ったおかげで、目まぐるしい弁護士業に悪戦苦闘しておりますが、先輩方に追いつけるよう努力して参ります。至らない点多々あるかと存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎先輩より…………… 福田 美紀 (62期)
アカペラサークルで度胸が

この度、当事務所に入所された、73期の加門亜弥さんを紹介いたします。

加門さんは、関西大学卒業後、関西大学法科大学院(未修)に進学し、卒業後1回目の司法試験で合格され、大分修習を経た後に当事務所に入所されました。

73期の皆さんは、コロナの影響で修習も例年通りとはいかなかったようですが、折角入所されたのに、このコロナ禍で歓迎会等も開催することができず、また、対面での打ち合わせも極力控えているため、例年とはまったく異なるスタートになってしまいました。

ただ、そんな状況にもかかわらず、彼女は非常に頑張ってくれています。勤務初日に電話対応をしているのを隣で聞いていましたが、緊張しつつも涼やかな声で非常にしっかりと受け答えしていたので、自分の新人の頃と比べてもなかなかの度胸だと目を細めて感心するばかりで

した。仕事も早く、「訴状作ってえ〜」という私の指示に対する第一声は、「これ、先に内容証明で解除の意思表示をした方が良くないですか。」でした。私は、「お、おおん。確かに。」と、不甲斐ない返答をし、パパッと内容証明を起案した彼女に「もう教えることは何もない。」と、またもや目を細めたのでした。

委員会にも積極的に参加されており、委員会活動でも会派の活動でも気配どころか存在を消しきっている私とはまったく違います。今後も、当事務所だけでなく、様々な場所で活躍してくれることと期待しています。

まだ聴いたことはないのですが、彼女は大学時代、アカペラサークルに所属していたそうで、その発表の場で度胸が培われたのだとか。

一緒にカラオケに行き、歌声を聴くことができるのはいつになるのでしょうか。お酒どころか、一緒に外食ランチに行くことすら躊躇われる日々……とりあえず一刻も早く、加門さんの歓迎会を開催できる世界が来ることを祈る毎日です。

春秋会のみなさま、加門さんをどうぞよろしく願いいたします。

自己紹介

垣岡 彩英 (73期)
堺オリーブ法律事務所



金的蹴りが得意です

1 ご挨拶

はじめまして。73期の垣岡彩英と申します。1年の司法修習を終え、堺オリーブ法律事務所にて、弁護士として勤務しております。

出身地は京都市伏見区というところで、京都出身と名乗ると怒られる地域です。幼稚園から

高校までカトリックの学校で、毎日祈りを唱え、聖歌を歌っていましたが、家は仏教の真言宗です。中高は女子校でした。高校卒業後は、立命館大学法学部、立命館大学法科大学院に進学し、生まれてから26年ほど、ずっと京都にいました。修習は縁あって大阪になり、初めて1人暮らしをしました。さらに、縁あって堺オリーブ法律事務所に採用していただき、堺に引っ越して堺市民になりました。京都からどンドン南下していています。

2 好きなもの

(1) 少林寺拳法

大学時代は少林寺拳法部に所属し、黒帯も取得しました。現在初段です。司法修習中に少林寺拳法の道場に通い出すという形で、ゆるっと再開しました。最近あまり練習に行けていませんが、いざというときに依頼者と自分の身を守れるように、細々とでも続けていきたいと思えます。ちなみに、得意技は、金的蹴膝受波返(きんてきげり ひざうけ なみがえし)です。

(2) お酒

お酒が好きです。そんなに詳しいわけではありませんが、特にワインと日本酒が好きです。日本酒は辛口が好きです。最近クラフトビールとハイボールにもハマっています。

(3) カラオケ

歌うのが好きで、カラオケにもよく行っていました。最近コロナでなかなかカラオケにも行けないので、自宅のお風呂で歌っています。今は自分の中で歌謡曲ブームが来ていて、山口百恵を歌ったりしています。

(4) ダンス

中学高校はダンス部で、ストリートダンスを踊っていました。ダンスも再開したいと思いつつ、若者だらけのダンススクールに飛び込む勇気がなくて、全然できていません。再開するならば、ダンスプログラムのあるスポーツジムからかなと考えています。

3 苦手なもの

(1) 球技

少林寺拳法やダンスなど、体ひとつでできるスポーツは好きなのですが、球技は非常に苦手です。自分の体の一部のようにボールを操れる人はすごいと思います。

(2) 機械

機械が苦手で、事務所のコピー機の使い方もよくわからず、事務局の方に聞きまくっています。書面作成時間にも影響するので、WordとExcelを使いこなせるようになりたいです。ショートカットキーを覚えたいです。

4 今年の目標

金的蹴りの精度を高めたいです。

◎先輩より…………… 下迫田 浩司 (61期)
疲れたので、ちょっと腕立て伏せ

1 少林寺拳法

垣岡は、一見「ゆるふわ」系に見えますが、それは「気のせい」に過ぎません。

垣岡といえば、少林寺拳法であり、「力愛不二」(りきあいふに。力なき愛は無力であり、愛なき力は暴力であるという意味)をモットーにしています。

「少林寺の修練で、ちょっと怪我しちゃいましたあ(笑)」と垣岡がニコニコしながら言うので、見てみると、手首や腕にたくさんの青アザができていたりして、びっくりさせられます。

「金的蹴りが得意技」ということは、今回の自己紹介文を読んで、初めて知りました。垣岡が修習生のときに当事務所へ面接に来た時には、そういう話は聞いていませんでした。

2 事務所で懸垂と腕立て伏せ

垣岡は、事務所で準備書面を起案している最中、突然スクッと立ち上がって、いきなり懸垂を始めます(注:当事務所に懸垂用のバーがあるわけではなく、あるのは単なる「ぶら下がり健康器」ですが、垣岡はそれを使って懸垂をしています)。

また、垣岡は、準備書面を起案していて頭が

疲れると、突然、「疲れたので、ちょっと腕立て伏せしてきます！」と言って、腕立て伏せをしに行きます（注：当事務所にあるのは、小さなお子さま連れのお客さま用のキッズコーナーのマットですが、垣岡は、そのキッズコーナーのマットの上で腕立て伏せをしています）。よく分かりませんが、垣岡によれば、疲れたときには腕立て伏せをすれば、頭がシャキッとするそうです。

3 極寒の冬にアイス

0℃に近い真冬の寒い日々にも、垣岡は、毎日のようにアイスを食べます。飲み物も、ホットコーヒーやホットティーではなく、アイスコーヒーやアイスティーをよく飲みます。私ならお腹をこわしてしまいそうで心配なのですが、垣岡は体が丈夫で平気なようです。

なお、冷たい物を食べることについて、垣岡は「猫舌なので」と言っていますが、真冬にアイスを食べる理由にはなっていないような気がします。

4 優しい心

このように「質実剛健」な垣岡は、同時に、優しい心の持ち主です。垣岡の言葉を借りれば、「女性や子どもや労働者といった、社会的に弱い立場に置かれがちな方々が、泣き寝入りすることなく幸せに生きていける社会になるよう、尽力したい」とのことで、素晴らしいと思います。私も、微力ながら、垣岡の助けになれるよう、支えていきたいと思います。

自己紹介

公文 大 (73期)

堀総合法律事務所



M-1グランプリに出場しました

弁護士法人堀総合法律事務所に入所した公文です。

私は、小学2年生のときにはじめて女の子に告白しました。小学校高学年からバスケットをはじめ、小学6年生では学校で漫才大会を開催しました。中学校でもバスケットを続け、市の選抜には選ばれたものの、マッチ棒と呼ばれた眉毛によって試合には出してもらえませんでした。そのほかは基本的に友人と遊ぶことや恋愛に熱中していました。高校に入っても特に変わらず、むしろ河本ヒロトと中島みゆきに支配され、これまでより厄介な尖り方をしていた気がします。今振り返っても甘酸っぱいかけがえのない青春でございます。受験だけはしたくないとの思いから、面接だけで大学に入ることのできる制度を利用し、法学部のない大学に入りました。大学3年生まで、なにも考えず、やりたいことをやって、ただただ日々をやりくりしていました。

大学3年生のとき、いろいろな偶然が重なり、法律を勉強してみようと思いました。思ったその日、生協で、六法を買ってみました。購入したポケット六法の横に並んでいた判例六法を見て、「判例とはなんぞや」と思った気がします。その日、帰ったあと、なにをしたらいいか、なんのためにやるかなど全く考えず、ただただ「法律の勉強をする日々」を始めるんだ、と謎の意気込みを胸に、うっすい民法の基本書を、ただただノートに要約していく日々がはじまりました。食うか食われるかの対抗関係のところは、

漫画を読んでいるようで震えました。大学3年生という遅さで、はじめて机に向かって勉強をしたので、勉強することはただただ楽しかったです。

そうこうして、司法試験を目指すことになりました。友人、先生、神様、誰もが、私が司法試験を目指すことを信じていなかったと思います。ロースクールの存在もまったく知りませんでした。後々知ることになり、私は大学史上はじめてのロースクール生（既習）になりました。

ローに入ってから息抜きを言い訳として、けん玉大会や、お絵かきコンテスト、ゲーム大会、周りの気持ちも考えず、いろいろ企画しました。参加していた人は、みんな優秀で、卒業してすぐに司法試験に合格したので結果オーライと言いつけています。むしろ僕だけ一回目落ちるといふ気まずい物語になりました。

1回目の司法試験の後には、M-1グランプリに出場しました。

2回目の司法試験の後には、音楽をつくりました。法律ラップなので許してください。

思えばなぜ自分は弁護士になっているんだろうと考えます。

やっぱり、法律の勉強をしようと思ったその日に六法を買えたからだと思います。

好奇心を行動に移すことをやめない弁護士になりたいです。

◎先輩より……………堀 智弘 (66期)

心に決めた恋人をきちんと大切にす男

今どき流行りのZoom面接を経て、4人目の弁護士として弊所に入所してもらいました。初めて面接をした際、「うちに入ってくるとおもしろそうだ」とくすぐられた好奇心のままに、採用という行動に移してしまいました。

彼はZoomの画面上では大柄に見えがちですが、実物は小柄で愛らしい男です。前歯がちゃんとあるように見えがちですが、うち3本は神経がない歯を持つ男です。一見不真面目そう

に見えがちですが、「俺にはこの人しかいない」と心に決めた恋人（もとい事務所）をきちんと大切にす男です。人の魅力がギャップにあるのだとすれば、彼は相当魅力的な男ということになります。

入所後すぐに所内の空気に馴染んでくれましたが、これほどコミュニケーション力が高い弁護士はそういないのではないかと感じております。また、彼の自己紹介文をご覧いただければお分かりになりますように、彼は知性豊かで教養あふれる美しい文章を書く能力を有しております。きっと、顧客とのコミュニケーションの中でもその潜在的なニーズをうまく汲み取り、適切な解決へと導いて大きな成果を上げる弁護士になってくれるであろうと、大いに期待しております。

一風変わった新しい刺激をくれる、弁護士らしくらぬ弁護士です。修習地が島根であったために大阪の弁護士の知り合いが少ないようですので、是非可愛がってあげてくださいませ。

自己紹介

田中 萌奈美 (73期)

堺筋共同法律事務所



ダイビングのライセンスを取得しました

はじめまして。この度春秋会へと入会することとなりました、田中萌奈美と申します。よろしくお願いたします。

出身は奈良県奈良市で、東大寺の近くに住んでおりました。萌奈美、という少し珍しい名前の由来ですが、伝統ある寺社仏閣や、奈良の緑豊かな自然を気に入った両親が、「萌黄たつ奈良の美しさ」と願いを込めて、萌奈美と名付けたそうです。

出身大学は関西学院大学の法学部です。関西学院大学法科大学院を経て、司法試験に合格し、和歌山県での司法修習を修了後、堺筋共同法律事務所に入所いたしました。

堺筋共同法律事務所の藤原弁護士とは、出身ロースクールが同じであり、法科大学院在学中には、藤原弁護士のゼミで指導を受けるなど大変お世話になり、そのようなご縁で入所するに至りました。

学生時代には軽音サークルに所属し、ベースを弾いていました。サークルでは、東京事変やブルーハーツなど、様々なバンドの曲を演奏していました。修習期間中にも、バンド経験のあるクラスメイトと一緒に、お互いが好きな曲を演奏して楽しみました。

演奏も好きですが、ライブ演奏を見に行くことも大好きです。高校生の頃から、地元奈良のライブハウスに、インディーズバンドのライブ演奏を見に行ったりもしていました。

去年は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、ライブの中止が相次ぎ悲しい思いをしましたが、また以前のように音楽を楽しめる日が来るのを楽しみにしています。

また、修習生の間に何か新たな趣味を見つけたいと思い、ダイビングのライセンスを取得しました。和歌山県の白浜は有名なダイビングスポットで、去年の冬は2回、白浜の海に潜りました。ダイビングというと夏季のアクティビティという印象がありますが、冬の澄んだ海の中を、色とりどりの魚たちと泳ぐのは、とても幻想的な体験でした。

今年の1月から執務を開始し、ようやく弁護士としてスタートラインに立てたことに大きな喜びを感じる一方、右も左もわからず戸惑うことも多くあります。未熟者ではございますが、諸先輩方から多くを学び、日一日と立派な弁護士になるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

◎先輩より……………藤原 航 (62期)

田中萌奈美弁護士が加入いたしました

皆様、当事務所に田中萌奈美弁護士が加入いたしましたので、ご紹介させていただきます。私が田中さんと初めて会ったのは、田中さんが関学ロースクールの3年生になりたての頃、私が担当していた民事法総合演習のフォローアップゼミ（授業の復習や答案作成を指導するゼミ）を受講したときでした。その後、1年間ゼミを通して関わってきました。その頃田中さんに対しては、熱心に勉強して、素直な良い筋の答案を書くという印象を持っていました。田中さんが当時使っていたコンパクト六法は、繰り返し繰り返し引いた痕跡があり、パリパリになっていたと記憶しています。後で知ったことですが、田中さんは関学法学部を3年間で早期卒業し、そのまま同司法研究科の既修者コース（2年コース）に飛び入学し（今ではそういう仕組みがあるようです）、ストレートで司法試験も合格しましたので、私の印象もあながち間違っていなかったと今では思っています。

さて、何故当事務所に田中さんが入所したかと言いますと、田中さんの修習が始まってすぐの頃、田中さんから受けた1通のメールがきっかけです。そこには、就職の相談という形で「刑事事件を積極的に取り扱える事務所を希望しております」「刑事専門の事務所か、刑事専門ではないが、委員会活動等を通して刑事事件に携われる事務所を選ぶかで、迷っております」と記載されていました。1年間ゼミを担当していたのに、まさか田中さんがそこまで刑事事件をしたいと思っていたのか知りませんでしたので、驚くとともに、人員拡充を内心では検討していた当事務所にあわよくば入所しないかと思ひ、早速事務所訪問に来てもらうとともに、うなぎの志津可に食事をしに行きました。後日、当事務所の菅充行弁護士と浦功弁護士に田中さんを引き合わせましたが、「就職面接」と大変緊張していた田中さんに対し、もともと採用前

提であった両ボスからの談笑に心がほぐれたようでした。このような縁で田中さんが当事務所に入所しました。

関学ロースクールは豊川義明先生、池田直樹先生（あすなろ法律事務所）、村上博一先生が現在も教鞭を執っておられて春秋会と非常に関係の濃い法科大学院です。過去にも春秋会の「キラ星」のような先生方が多数教壇に立ってこられ、田中さんも諸先生方から薫陶を受けてきました。そのような諸先生方に囲まれて、田中さんも大きく羽ばたいて欲しいと思っております。これからよろしく願い申し上げます。

自己紹介

徳山慶太 (73期)

共栄法律事務所



「春秋会においてよ！」と言われて

73期の徳山慶太（とくやま けいた）と申します。今年の1月から共栄法律事務所にて執務を開始し、この度春秋会に入会しました。

私は、大阪で生まれ育ち、大阪府立高津高校、関西大学法学部、関西大学法科大学院と大阪府内の学校を卒業し、修習地も大阪でした。弁護士登録地もやはり大阪ということで、弁護士としてこの地に骨を埋める覚悟です。このような大阪に関する覚悟があつてか、新元号の幕開けとなる令和元年司法試験の際には、大阪会場にてトップバッター受験番号00001という大役？を仰せつかったと勝手に思い込んでおります。

私が春秋会に入会するに至ったのは、事務所の先生方が多く所属されていることはもちろんですが、大学の合格祝賀会にて、平成29年度の幹事長である中井洋恵先生から「春秋会においてよ！」と熱烈な勧誘を受けたことにもよります。

性格は、例えば、大阪弁護士会73期グループLINEの作成を提案、主体的に関与したりなどと活発・積極的な方でしょうか。春秋会にはグルメ研究会なるものもあるとのことと、とりわけ、鮎、ホルモン、豆腐、日本酒について手厚いご指導を賜りますようお願い申し上げます。一方で、お世話になった多くの方々による司法試験合格後のお祝いに引き続き、修習初期の飲み会にも積極的に参加したこととその後のいわゆるコロナ禍によって修習の相当部分が在宅となってしまったために、ここ1年半で10キロ近く体重が増えてしまいました。そのため、ゴルフなど体を動かすような行事があれば、そちらにも積極的に参加したいと思っています。

趣味はボードゲームで、ボードゲームカフェ・バーに行って初対面の方々と楽しむこともあれば、友人内で楽しむこともあります。麻雀も嗜むので、是非お声がけいただきたいです。

入会にあたり、春秋会のウェブサイトを見ました。正直なところ、弁護士登録したばかりの私にとって、春秋会が当初監視・批判団体として設立し、現在は政策団体・理事者選出団体へと変化したことやその役割はあまりピンとくる話ではありませんが、平成25年度の幹事長である木村圭二郎先生のご挨拶のページにもあり、「多くの人が楽しく集うことができ、意見や悩み、日常の些事についての感想を述べ合うことができる場」の一員に加えていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◎先輩より……………内貴 梨咲子 (72期)

元気の良さ

本年1月より弊所に入所しました徳山慶太弁護士を紹介いたします。

徳山さんの一番の印象は、元気の良さです。入所初日、徳山さんが私の席に新年の挨拶をしに来てくれました。その挨拶がとても元気で、休みボケしていた私の休み気分が吹き飛びました。徳山さんの挨拶で私の仕事スイッチが入っ

たと言っても過言ではありません。徳山さん、その節はありがとうございました。

そんな徳山さんですが、元気の良さに加えて仕事に対する情熱に満ち溢れています。私自身、徳山さんと一緒に仕事をする機会がまだないにもかかわらず、仕事に対する情熱を感じられます。徳山さんに入所して最初の週末に何をするか尋ねたところ、事務所に行って本を読み勉強するとおっしゃっていました。これから仕事が忙しくなっていくとしても、徳山さんなら仕事に対する情熱で乗り越えていただけると信じています。

また、徳山さんは弊所に入所する前から倒産法に興味があると仰っていました。既に倒産法実務研究会に所属し、積極的に同研究会に参加されています。弊所は取扱い業務として破産案件が比較的多いため、徳山さんが事務所の戦力になっていただける方だと確信しております(もちろん破産案件以外でも)。

プライベートでの徳山さんですが、徳山さんの自己紹介に記載のとおり、今年は体を動かす1年にしたいそうです。トレーニングジムに加入し、事務所出所前や退所後にトレーニングジムへ通い、汗を流す予定だとおっしゃっていました。是非、春秋会でゴルフ大会や山登り等アクティブな活動を企画いただき、徳山さんに体を動かす機会を与えていただければ幸いです。

また、徳山さんは鮫、ホルモン、豆腐及び日本酒が大好物だそうです。コロナウイルスにより飲み会等が実施できない現状ですが、前述の食べ物等が美味しいお店がございましたら徳山さんに教えていただければと存じます。

前述のとおり、徳山さんは事務所の業務だけでなく研究会にも積極的に参加されておりますので、春秋会での活躍も大いに期待できます。

春秋会の皆様におかれましては、今後とも徳山さんをよろしく願いいたします。

自己紹介

豊田 夕雪 (73期)

中辻綜合法律事務所



人との縁を大切に

この度、春秋会に新規入会させていただきました、豊田夕雪と申します。昨年12月に大阪での司法修習を終え、同月大阪弁護士会に弁護士登録し、現在、中辻綜合法律事務所勤務させていただいております。

私は、生まれも育ちも大阪の堺市で、関西大学法学部、大阪市立大学法科大学院を修了しました。

学生時代は、剣道部、理化学部、放送部、コンピューター部、奇術研究部と、多種多様な分野に関心を持ち、その興味の赴くままに広く浅く嗜んできた私ですが、弁護士になりたいという気持ちだけは、10年以上変わらず強く持ち続けてきました。

司法試験合格まで時間がかかってしまったので、その間はほとんど家に引きこもって鬱々と勉強をする日々でした。

そのため、司法修習以降、たくさんの人と出会い、一緒においしいご飯を食べたり、遊んだり、人との縁の大切さを噛みしめながら幸せにひたる毎日です。

趣味は、映画やゲームといったインドアなものが多いですが、これからは積極的に外に出て、人との縁を大切にしながら、様々なことに楽しく挑戦してみたいと思っています。

新型コロナの影響で、現在はなかなか思うように外出できない日々が続いておりますが、これがおさまりましたら、是非いろいろ誘っていただければ嬉しく思います。

弁護士として働き始めて約1か月が経ちまし

たが、委任状や準備書面等にかかれた自分の名前と職印を見るたび、いまだむずむずと照れくさく思いながらも、その職責の重大さに身の引き締まる思いです。

まだまだ右も左もわからない未熟者ではありますが、少しでも早く皆様からの信頼をいただけますよう、先生方や依頼者の方から学び、誠心誠意努力し、日々精進を重ねて参ります。

何卒皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

◎先輩より…………… 中辻 大輔 (62期)

豊田さんをよろしく申し上げます

新しく入所された豊田夕雪さんをご紹介させていただきます。

私が抱く豊田さんの印象は、人への優しさだけでなく、その場にいるだけでぱっと明るくなるような雰囲気をもった素晴らしい方だと思います。

学生時代は剣道部や奇術研究部等様々な分野で活躍していたと聞いています。

ここでは書けませんが奇術研究のことを聞くと、きっと仰天体験や楽しい話が聞けると思うので是非聞いてあげてください。

司法試験受験生時代にはご両親だけではなく看護師である妹さんの支えもあって司法試験に合格できたという話も聞いており、温かいご家族の様子も窺え、豊田さん自身もご家族を非常に大切にされています。

弁護士としては何事にもチャレンジをしたいという想いがあり、どのような分野にも興味をもって真剣に取り組もうとされています。

最近気づいた小さなことは、豊田さんは辛い物が好きということで私が悪戦苦闘した激辛の麻婆豆腐を難なく完食される能力も持っていますし、早歩きで早食いの私に負けないくらいのスピードも持っています。

豊田さんの人となりや能力はここでは書ききれませんが、そこは今後弁護士として活躍して

いく中で知っていただけたら幸いです。

新人弁護士としての豊田さんの成長を大いに期待するとともに、春秋会の諸先輩方からも温かいご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

自己紹介

長 沢 一 輝 (73期)

S&W 国際法律事務所



眠れる獅子として

春秋会の皆様、初めまして。73期の長沢一輝と申します。同じ事務所の河野雄介先生にご紹介いただき春秋会に入会いたしました。

簡単に自己紹介いたします。今年の1月で26歳になりました。最近はゴルフにはまっています。まだまだ練習中ですが、ぜひアドバイスいただけたら幸いです。出身は兵庫県の三田市です。三田市のウッドタウンというおしゃれな名前の街で育ちました。

小中高は地元の公立の学校に進学しました。中学は軟式テニス部、高校は硬式テニス部に入っていました。どちらも一時、団体戦の補欠メンバーまで上り詰めましたが、ついぞ団体試合で活躍することなく、眠れる獅子として母校の歴史に名を刻みました。大学では、弁護士にあこがれ、同じ志の多い法律相談部に入りましたが、入学当初のモチベーションがどこへ行ったのか、恥ずかしながら勉強も相談部の活動もしなくなりました。その後は、タイや上海に旅行するなどして、大学生活を謳歌していたところ、大学4年生になり、ようやく入学当初のモチベーションを思い出し、司法試験の勉強に取り掛かりました。ロースクールでは、同級生の仲間たちや、ご指導いただいた教員の皆様、

弁護士の先生方のおかげで楽しく実りのある2年間を送らせていただきました。

春秋会の先生方にも授業や飲み会等で大変お世話になりました。

修習は、札幌、福岡、金沢の順に希望し、見事札幌を引き当て、検察修習終わりは毎日スキー・スノーボードに励みました。残念ながらコロナの影響もあり、観光はあまりできませんでしたが、その分、9月以降は毎週ゴルフに行くなど充実した修習生活を送ることができました。もちろん、遊びだけでなく、弁護修習先の先生の下で、ニュースで大きく報じられた裁判員裁判事件に関わらせていただくなど、大変貴重な経験をさせていただきました。

今年の1月からは、毎日初めて見るような事件ばかりで、頭を悩ませつつも、同期と一緒に楽しく過ごしております。

諸先輩方におかれましては、弁護士そして人生の先輩として、これからご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

同期の皆様は、ぜひ仲良くしてください。

どうぞよろしくお願い致します。

◎先輩より…………… 河野 雄介 (60期)

ユーモアを織り込んでくるセンスが絶妙

長沢一輝さんは同期の福本光太郎さんと共に、事務所に入所し、二人とも春秋会に入会してくれることになりました。私自身、春秋会の会務にはあまりかかわってこなかったのですが、今期は、親睦委員として73期新人歓迎旅行の手配を進めていた関係で、ぜひお二人とも春秋会に入会してほしいと思い、春秋会の素晴らしさについてプレゼンをしたところ、快く入会してもらえた次第です。二人は、この1月5日から事務所に出てきてくれているのですが、昼も夜も一緒にご飯を食べているようで、大変仲良しなので(ゴルフのベストスコアも二人とも112とのことです)お二人とも春秋会に入所してもらうことができ、良かったです(ここ

まで、福本さんの原稿と長沢さんの原稿同じです……)。

長沢さんは、礼儀正しさを保ちながらも、クスリと笑えるユーモアを織り込んでくるセンスが絶妙な人材です。

弁護士を志した動機を聞いてみたところ、最初は弁護士になればお金持ちになれると思っていたが、今は、弁護士として案件に関与することで世の中を良くすることに貢献したいというのが主たるモチベーションになっているとのこと。

弁護士として取り組みたい分野としては、「何か世の中が良くなるような新しいことをしたい」、とのことで、事務所が主として扱っているベンチャー法務はこの範疇に入ってくるのかもしれない。他方で、修習時代に、報道もされるような裁判員裁判事件に関わる機会を得たことで、刑事弁護の発展に何らかの形で貢献したいという思いを強くもっているとのこと。

春秋会は、刑事弁護に熱心に取り組まれている先生もおられますし、立法につながるような弁護団事件に取り組まれている先生もたくさんおられます。長沢さんには、春秋会の先生方のご指導を賜りながらも、世の中が良くなるような新しいことにどんどん挑戦してほしいと思っています。

皆様、長沢さんをよろしくお願い致します。

自己紹介

久井 大輝 (73期)

弁護士法人梅ヶ枝中央法律事務所



ずっとキャッチャー

はじめまして、今年度から春秋会に新規入会させていただきます、久井大輝(ひさい だいき)と申します。第73期司法修習(実務修習地は和歌山)を経て、本年1月より、弁護士法人梅ヶ枝中央法律事務所(大阪市北区西天満)にて勤務しております。

関西大学在学中に所属していた法律相談部にて、相談者から「ありがとう」という言葉をかけて頂いたことに感銘を受け、弁護士になることを決意しました。その後、大阪大学大学院高等司法研究科に進学し、司法試験に合格し、この度、弁護士としての第一歩を踏み出すことになりました。

出身は大阪府堺市であり、26年間ずっと関西で暮らしております。

中学時代からソフトボール部に所属し、高校時代ではキャプテンを務め、大阪2位になりました。ポジションは中学時代からずっとキャッチャーでした。

最近ソフトボールをやめ、週末に運動しなくなり体重が増えたこともあり、体系維持のために、ゴルフを始めました。まだまだ成長段階ですので、いろんな方とプレーをしてもっと上手くなり、例年開催される会派対抗ゴルフで活躍することが目標です。春秋会の先生方に練習やラウンドにお誘いいただければ嬉しく思います。

大学院時代に会社法の教授とゼミを組み、判例を研究したことをきっかけに、会社法により一層興味を持ち、会社法を扱った企業法務を中

心に仕事をしていきたいと思いました。また、大学院時代や修習中を通して、スポーツ法分野に触れ、法的サポートが十分に行き届いていないスポーツ業界にも、弁護士として携わることができればと日々模索しております。

一見目力が強く、近寄りたいたいといわれることがあります。自分自身では、性格は明るく、フレンドリーなタイプだと思っていますので、見た目判断せず、積極的に話していただければ幸いです。

会派の活動は、事務所外に人脈を広げ、多くの人と意見交換できる一方、仕事のことを忘れリフレッシュすることもできる、貴重な場だと伺っています。春秋会の先生方のご指導をいただきながら、会派での活動にも積極的に関わること、少しでも春秋会に貢献できたらと考えています。

実務に就いたばかりで、右も左もまったく分からない新人弁護士ですが、何卒よろしく願います。

◎先輩より…………… 杉野 龍太 (71期)

その大きな目を一杯に輝かせて

今年、弊所に入所した久井大輝さんを紹介させていただきます。

久井さんは、大阪府堺市の出身で、学生時代、修習生時代を通してずっと関西で暮らしてきた、純度100%の関西人です。また、彼は、大阪大学ロースクール出身で、私の後輩でもあります。彼の入学は、ちょうど私の卒業と同じタイミングだったのですが、卒業後の飲み会では、何度か顔を合わせる機会がありました。久井さんのフレンドリーな性格から、飲み会ではすぐに打ち解け、一緒に楽しく飲み明かしたことを覚えています。

久井さんのチャームポイント(?)といえはやはり、そのぱっちりとした大きな目です。彼はロースクール生時代から、その大きな目を一杯に輝かせて、初対面の先輩にも臆せず、ぐい

ぐいと食いついていました。弊所に入所した後も、大きな目の輝きはそのまま、毎日先輩弁護士にぐいぐいと食いついており、同僚として大変頼もしく思っています。

また、久井さんは、中学時代からソフトボールを続けてきたスポーツマンでもあります。ポジションはキャッチャー、過去にはソフトボールチームの監督を務めた経験まであるそうで、そのリーダーとしての素質は折り紙付きです。最近ではゴルフに挑戦し始めたそうですが、ソフトボールで鍛えた身体能力を活かし、早速頭角を現し始めているようです。一向にゴルフの腕が上達しない私は、そんな彼の成長を頼もしく、そして恨めしく思いながら見守っております。春秋会の先生方におかれましては、機会がありましたら、是非久井さんをラウンドにお誘いいただければ幸いです。

以上にご紹介したとおり、久井さんは、気さくで熱意のある、とても魅力的な人物です。今後きっと、春秋会の活動でも活躍してくれることと思います。春秋会の先生方におかれましては、久井さんに大いにご期待いただき、ご指導を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

自己紹介

福本 洸太郎 (73期)
S&W 国際法律事務所



七帝戦優勝

初めまして、第73期の弁護士でS&W国際法律事務所所属の福本洸太郎と申します。

出身は神戸市の西の端にある垂水区というところ。出身地をいうときに「神戸」というと垂水は神戸ではないと言われることがありま

す。しかし、兵庫県民には私よりも酷い「神戸」詐欺をする人が……、これ以上はやめておきます。

そんな垂水で私は生まれ、地元の公立の小学校、中学校、高校を卒業しました。小学校は少年野球に打ち込み、中学は野球部がなかったのでソフトテニス部に所属し、高校でもソフトテニスを続けました。

大学は地元を離れて九州大学の法学部に入学しました。なんで関西から九州に行ったの？とよく聞かれますが、単純に福岡が楽しそうだったのと、大学のソフトテニス部が強そうだったという理由ぐらいしかなかった気がします。

私は大学に入ると体育会のソフトテニス部に入部しました。練習がきつくて大変だった気もしますが、喉元過ぎれば熱さを忘れてしまいました。4年間で、七帝戦優勝、全九州国公立大会優勝、全九州1部リーグ準優勝など、楽しい経験をさせてもらいました。恥ずかしながら大学で勉強をした記憶はほとんどありません。

大学卒業後は、神戸大学法科大学院に進学しました。神戸大学には実家から通学していました。ロースクール時代はさすがに勉強していました。とはいえ、タイの法律事務所で1か月間インターンさせてもらったり、シンガポール国立大学で10日間ぐらい研修に参加させてもらったり、良い経験もできました。

幸運にも一度目の司法試験で合格することができました。神戸修習は楽しいと聞いていたので、修習地の希望は「第一希望神戸 以下一任」という勝負に出ました。理由欄には実家があることについて厚く（熱く？）書きました。無事に神戸になりました。

思い描いていた修習生活は、キラキラした毎日でした。しかし、蓋をあけてみれば、平日は男友達とサウナに行き、休日は男友達とゴルフに行くというむさ苦しい毎日となりました。でも楽しく過ごせましたし、二回試験にも合格できたのでよしとします。

1月からは、弁護士として仕事をするようになり、大変身が引き締まる思いです。今回河野先生のご紹介がありまして、春秋会に入会させていただくこととなりました。偉大な先輩方の背中を追いつけるよう日々勉強して参りたいと存じます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。同期の皆様には、たくさんご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願い致します。

◎先輩より…………… 河野 雄介 (60期) 進取の気性に富みし者

福本洸太郎さんは、同期の長沢一輝さんと共に、事務所に入所し、二人とも春秋会に入会してくれることになりました。私自身、春秋会の会務にはあまりかかわってこなかったのですが、今期は、親睦委員として73期新人歓迎旅行の手配を進めていた関係で、ぜひお二人とも春秋会に入会してほしいと思い、春秋会の素晴らしさについてプレゼンをしたところ、快く入会してもらえた次第です。二人は、この1月5日から事務所に出てきてくれているのですが、昼も夜も一緒にご飯を食べているようで、大変仲良しなので（ゴルフのベストスコアも二人とも112とのこと）、お二人とも春秋会に入所してもらうことができ、良かったです（ここまで、福本さんの原稿と長沢さんの原稿同じです…）。

福本さんは、ご自身の自己紹介にもあるように、神戸出身にもかかわらず、九州の地に飛び込んで大学生活を送ったり、タイやシンガポールで研修をしたりと、進取の気性に富んでいます。また、企業に就職するよりは、自分のやりたいことが自由にできるのではないかと思ったのが弁護士の志望動機とのこと。弁護士になったいま、どのような仕事か話を聞いてみましたが、事務所で主に取り扱っている、ベンチャー法務や国際法務に主な興味があるとのことですが、弁護士を志望した「自分のやりたいことが自由にできる」という動機

にはビジネス法務以外の「やりたいこと」も含まれていることがわかりました。というのも、学生時代には、家庭裁判所で、非行少年の立ち直りのための活動を支援するためのボランティア活動を行ったり、司法試験合格後には、長野の豪雨災害の復興ボランティアに参加したりされていたようです。その関係で、少年事件にも興味があるとのこと。

福本さんには、事務所の仕事もさることながら、春秋会の皆様のご指導もいただきながら、「自分のやりたいこと」も自由にしてもらって、弁護士としてキラキラと輝いてほしいと思います。皆様、福本さんをよろしくごお願い致します。

自己紹介

松本 里香 (73期)
京橋共同法律事務所



孤独死の恐怖

はじめまして。このたび、春秋会に入会いたしました、松本里香と申します。

出身は愛知県名古屋市です。一橋大学、神戸大学法科大学院、73期高松修習を経た後、法テラスの養成弁護士として、京橋共同法律事務所にて修行中の身であります。

私は、法科大学院を修了していますが、基本書の本文よりも脚注のワンフレーズの趣旨が気になって前に進まなくなり沼にはまる、といういわゆる「受からない筋」の人間でした。

結局、勉強はしたくないし働きたくもないけど暇なのも嫌だったので5年ほど非正規労働職を転々とし、大学院修了7年後に司法試験に合格しました。きっかけは某製パン工場の夜勤休憩中に見た1本のドキュメンタリーでした。

その日、団子にゴマをまぶし続ける作業に疲

れてぐったりしていた私は、休憩室中央の机に積んであった北海道チーズ蒸しケーキを齧りながらテレビを見ていました。番組は、当時にわかに社会問題化していた「孤独死」のドキュメンタリー。順調な社会人生活を送っていた女性が、ちょっとした躓きからセルフネグレクトに陥り、ごみに埋もれながらアパートの片隅でひっそりと孤独死するという内容のものでした。それを見た私が思ったのは、そんな人がいる社会を変えたい…では残念ながら、「あ、やばい。私も孤独死するわ」という、漠然よりも歴然寄りの恐怖でした。当時、いい加減正社員としてどこかに就職しなければと思ってはいたものの、院卒でダラダラしていた職歴と20代後半女性というすぐ辞めそうな年齢が災いし、地元企業2社に断られたところだったのです。私は、翌日には、押し入れにしまい込んでいた基本書を全部「捨て」、司法試験対策用テキストを購入してガリガリと勉強を始めました。その後、幸いにも予備試験に合格でき、現在に至ります。

このような経緯で弁護士になったこともあり、弁護士としての自己紹介や目標の発表をすることが、私は苦手です。一度は司法試験から逃げ、今度は孤独死の恐怖から逃げた結果が今、というのが偽らざる本音です。正義とか弱者といった言葉を使うことにもためらいがあります。職を転々とする中で、色々な人の正義や、弱者とされる人々の強さを目の当たりにした経験から、物事を相対化しすぎて信念がないのが信念になっているようにも思います。とはいえ、頭でっかちになるだけでは何もしえませんが、今はただ、一つ一つの手続きの意味を考え、書式のすみずみを見直し、ひたすら実務のいろは習得にまい進していく所存であります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

◎先輩より…………… 楠 晋一 (62期)

松本里香さんをご紹介します。

松本さんは、京橋共同法律事務所5人目の法テラス養成弁護士です。

松本さん本人の自己紹介はいたって控えめです。実際の松本さんの人柄も自己紹介同様、いたって控えめでしかも謙虚です。松本さん本人の自己紹介にも登場する少し遠回りした経歴がそうさせるのかもしれませんが。

松本さんが事務所で仕事を始めて1か月ほどになりましたが、早くもその仕事ぶりで事務所でも好印象を与えています。

同じ事務所で見ていると、松本さんの自己評価とは裏腹に、肩の力が抜けていて、考え方も素直で、しかもすごく柔軟です。松本さん自身も「職を転々とする中で、色々な人の正義や、弱者とされる人々の強さを目の当たりにした経験から、物事を相対化しすぎて信念がないのが信念になっているようにも思います。」と書かれています。いろいろな人の立場に置き換えて考えられるバランス感覚は素晴らしいと思います。自己紹介を見てもわかりますが、わかりやすい文章が書けます(しかもエピソードが面白い)。書面の作成も的確で(しかも早い)、依頼者の話もよく聞き、依頼者によく質問して食らいついています。正直、どうしてそんなに控えめなのでしょうと勝手に思っています。私の1年目よりよほどいい仕事をしています。

松本さんは、1日に3回朝昼晩に弁護士になってよかったのかなあと思っているというのですが、このまま順調に成長すれば、間違いなく依頼者に寄り添える弁護士として大成できますから、これからも自信をもって仕事に励んでもらえればありがたいです。

松本さんは、こう見えて空手の経験があり、ムエタイの大会に出ようかとさざっと言えるほど運動神経もいいみたいです。ただ、昨今のコロナ禍で体を動かす機会(本人曰く「有形力を行使する機会」)がなく、本人はうずうずしてい

るようです。

松本さんは控えめな方ですが、弁護士の日常業務や、弁護士会や会派、所属団体などの活動を通じて、さらに弁護士としての引き出しを増やしていられることを期待しています。1年間という短い期間ではありますが、春秋会の先生方からも、松本里香さんへのご指導をよろしくお願いいたします。

自己紹介

宮崎佳美 (73期)

池田第一法律事務所



ご縁を大切に

昨年の12月に大阪で弁護士登録をさせていただきました。宮崎佳美と申します。

生まれも育ちも大阪で、2019年に司法試験に合格し、地元の大阪で、73期司法修習生として、1年間の修習を修了いたしました。このたびご縁があり、池田第一法律事務所執務を開始させていただいております。

私は、困っている人に寄り添いたいという思いから弁護士を目指しました。

悩みをもって法律事務所を訪れる相談者の皆様のお力になれるよう、日々研鑽を重ねてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、近畿大学法科大学院出身で、近畿大学での司法試験合格祝賀会に参加した際、浦先生に春秋会の勉強会に誘っていただき、2019年の10月に開催されました、春秋会の労働法の勉強会に参加させていただいたことがあります。勉強会では労働法の問題についての貴重なお話を拝聴させていただいた上、懇親会や二次会にまで連れて行っていただきました。当時の

私は、まだ合格直後で、司法修習生ですらなかったにも関わらず、皆様には大変良くしていただき、春秋会は素晴らしい会派だなあと感じた記憶があります。

ところで、昨年の6月から、休日はもっぱら乗馬をしています。もともと新型コロナウィルスの影響の少ない、屋外で活動のできるスポーツをはじめたいという程度の気持ちではじめた乗馬ですが、今では馬に乗らない日はなんだか落ち着かないほどすっかりハマってしまいました。

馬は体が大きく、力も「馬力」という言葉があるほどで、人間など簡単に引きずることが出来る動物です。また、それぞれの馬で性格も全く異なり、人間に噛むふりをして驚かすような少し性格に問題がある馬もいます。しかしながら、人間を背にして走るときは、どの馬も鞍上の人間を頼って信頼しており、人間の手綱の持ち方一つで馬自身が転んでしまうこともあるほどです。

私は、このような馬の人に対する信頼に強く心を打たれ、乗馬を趣味として長く続けたいと思うようになりました。そして、乗馬クラブには引退した競走馬が来ることが多いことを知り、競走馬の引退後支援の活動についても関心を持つようになりました。

このように私たちは、日々いろいろな背景を持つ人々や活動と様々な機会に関わっており、それが自分の将来の活動や仕事につながっていくことがあるということを、修習中から特に強く実感するようになりました。

これからも、より一層、人との出会いやご縁を大切にしていきたいと考えております。

これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

◎先輩より…………… 村瀬 謙一 (48期)

宮崎佳美さんをよろしくお願いたします

宮崎佳美さんは、合格者を必ずしも多数は輩

出されていない大学、ロースクールを経て、司法試験の合格を勝ち取られました。試験の合格までの道のりには幾多の試練があったものと推察されますが、試練を乗り越え、絶対法曹になるのだという意欲は並々ならぬものであったようです。この紹介文を作成している時点では、まだまだ、相談や書面の起案への参加は限られています。また、当事務所での執務体制を整えるために、わざわざ大阪市内から池田市内に転居されるなど、その意気込みには目を瞠めるものがあります。

とはいえ、将来有望な新人弁護士が、池田市内にこもってしまってもいけませんので、弁護団活動や委員会活動、そして春秋会の活動において、宮崎さんをどうぞよろしくをお願いします！

自己紹介

山本 こそえ (73期)
 弁護士法人アットパートナーズ



研修会を通じて

皆様はじめまして、73期新入会員の山本こそえと申します。私は千葉県の上野市という港町出身で、実家はお寿司屋さんをしています。出身ロースクールが近畿大学ということもあり、修習地も大阪を希望し、そのまま大阪に就職することになりました。大阪にはロースクールに入学したときから住んでおり、今年で9年目になりますが、今後も大阪ですと働いていく予定です。所属事務所は、堺筋本町にある弁護士法人アットパートナーズです。

春秋会は、一昨年、司法試験の合格後に近大つながりで浦先生に労働法研修会に誘われて、

参加し、大阪にこのような会派があることを知りました。

私は、司法試験合格後はどのような分野に携わる弁護士になりたいのか悩んでいましたが、春秋会の労働法研修会をきっかけに労働法の分野に興味を持つことができ、労働法や破産の分野に力を入れている現在の所属事務所に就職することができました。

趣味は、動物カフェ巡りと読書です。犬や猫はもちろん、フクロウや爬虫類のカフェなどによく行きます。そして、自宅のアパートでは、珍しいかもしれませんが、蛇を飼っています。好きな作家は、宮部みゆきです。ミステリー全般が好きですが、宮部みゆきはかつて法律事務所に勤めていたことがあり、弁護士の格好いい姿が作中で描かれることも多く、私が弁護士を目指すきっかけにもなりました。

また、私は小さい頃から、母が旅行好きなこともあり、旅行が好きです。千葉に住んでいた頃は、東北の方へ旅行することが多かったです。

一方、関西の方は、移住するまでほとんど来たことがありませんでした。関西に来てからは、京都や奈良などの観光地に週末に気軽に行くことができるので、2泊3日の旅行では訪れることのできないようなマニアックな観光地を訪ねることができ、やはり関西に移住して良かったなと思います。

とはいえ、受験生活中は、遠くへ旅行することができなかったのも、いつの日か島根や山口など、さらに西の方へ旅行してみたいと思っています。

春秋会では旅行が多いと聞いており、コロナの情勢もありますが、春秋会の皆様と旅行できる日を楽しみにしております。

最後に、春秋会の新入会員として、是非とも楽しく活動に参加していきたいと思っておりますので、皆様、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

◎先輩より……………浦 寛幸 (59期) なんどき 何時も敵を掌中に入れて合戦すべし

新しく入会されました73期、山本こそえさんの紹介をさせていただきます（同じ事務所ではない私が紹介するのもアレですが、気にせずお目通しください。）。某大学の合格祝賀会でお会いした際は、おとなしめの女性だったわけですが、それ以降お会いしていませんので、実は今はもう、金髪になって、イケイケギャルになっていたらどうしようかと強い不安に襲われつつ、この原稿をしたためております。もし、間違いがありましたらご容赦を！

村瀬さんの事務所に新しく入られた、73期の宮崎佳美さんと仲がよいようで、宮崎さんの勧めで春秋会に入会されたとのことですが（よくやった！宮崎さん！）、以前お会いした際も、お二人いつも仲良くされていましたね。ということで、山本こそえさんの詳細は、宮崎さんに聞いてね！（あの時はお酒が入っていて、あんまり覚えていないとかそういうことではありません。決して、違います。）ご本人の自己紹介のとおり、実家はお寿司屋さん、労働分野に興味をもち、動物カフェ巡りと読書が趣味とのこと！やっぱり、イケイケギャルに変貌してなかった！よかった！

山本さんの事務所には、春秋会員がいないようですので、みなさん、是非ともチャホヤしてあげてください。いかんせん、おとなしそうな方なので、というか、おとなしいの語源になったのではないかとはいくらくらい、おとなしい方なので、グイグイ系の弁護士になるにはどうしたらいいのかとか、グイグイ系の弁護士をどうやって取り扱ったらいいのかなど、教科書に載っていないことは特に教えてあげてください。え？グイグイ系の弁護士って誰のことかって？そりゃあ、もう、ケンケンとかですかね。

事務所内でも相談できる先輩はいるかとは思いますが、相談できる人は多いにこしたことは

ありません。春秋会の色々な方々と交流をもって、今後の糧にしてもらえればと思います！

春秋会 会員名簿

9期 石川 元也 橋本 敦 山口 伸六	熊野 勝之 林 正明 細見 茂 山下 潔 山村 恒年	井上 善雄 浦 功 大江 洋一 桐山 剛 豊川 義明 森野 俊彦	28期 池田 啓倫 石田 法子 北本 修二 藤原 猛爾	河村 利行 坂田 宗彦 田窪 五朗 席田喜代隆 中西 裕人 森下 弘	山下 誠	秋田 仁志 秋田 真志 岩城 裕 黒瀬 英昭 佐井 利信 財前 昌和 巽 昌章 田中 厚 七尾 聡 日高 清司 平野 恵稔 細見 孝二 松本 七哉 茂木 鉄平 吉田 之計 吉田 義弘	湯川 健司	45期 李 義 宇賀神 徹 神山公仁彦 河原林昌樹 坂本 団 豊島 達哉 中嶋 弘 藤木 敏之 宮岡 寛 村井 潤	48期 大川 治 岡本 岳 河原 誠 白倉 典武 高江 俊名 長澤 哲也 鍋本 裕之 林 邦彦 藤井 美江 堀内 康徳 村瀬 謙一	河村 学 小橋 るり 田中 史子 西村 勇作 松井 淑子 山本 淳 由良 尚文
11期 宇賀神 直 小林つとむ 藤本 清	19期 赤坂 久雄 大兼 利夫 辛島 宏 谷 五佐夫 徳田 勝 福山孔市良	24期 赤澤 博之 蒲田 豊彦 島川 勝 松森 彬 丸山 哲男	29期 伊賀 興一 岩嶋 修治 小杉 茂雄 芝原 明夫 平井 慶一 間瀬場 猛 水田 利裕 山口 健一	34期 青本 悦男 岩永 恵子 梅田 章二 中井 康之 宮崎 裕二 宮崎 陽子 村松 昭夫	38期 飯田 和宏 井上 直行 岡村 久道 岡村 泰郎 田中 義信 長岡麻寿恵 丹羽 雅雄 福森 亮二 増田 勝久 村上 久徳 森 信雄 山崎 敏彦 横山 精一	日高 清司 平野 恵稔 細見 孝二 松本 七哉 茂木 鉄平 吉田 之計 吉田 義弘	46期 飯島 奈絵 大久保康弘 奥村 秀二 越尾 邦仁 小林 徹也 島尾 恵理 下川 和男 長尾 博史 野上 昌樹 平尾 宏紀 八木 倫夫	49期 伊加井義弘 石原 真弓 伊藤 妙子 河野 豊 北岡 弘章 木村 重夫 佐藤 吉浩 杉島 幸生 田中 一郎 中村 和洋 二宮 誠行 村上 博一 山本 健司 吉田 昌功	52期 東 実一郎 七堂 眞紀 高橋 徹 竹平 征吾 寺尾 浩 徳田 琢 中筋 利朗 中原 修 野村 祥子 平山 敏也 増田 尚 増田 広充 松本 智子	
12期 井関 和彦 川村 俊雄 三橋完太郎	20期 佐々木信行 辻 公雄 西岡 芳樹 安木 健	25期 金子 武嗣 谷口 進 松丸 正 吉岡 良治	30期 上山 勤 関根 幹雄 谷 智恵子 早川 光俊 松井 忠義	35期 国府 泰道 齋藤 眞行 杉本 啓二 田中 茂	39期 井奥 圭介 池田 直樹 今村 峰夫 鎌田 幸夫 木村圭二郎 下村 泰 城塚 健之 杉本 吉史 田島 義久 濱岡 峰也 山崎 国満	42期 加藤 高志 岸本由起子 長添 節 峯本 耕治 村田 浩治 雪田 樹理	43期 池口 毅 浦川 義輝 菊元 成典 崔 信義 青海 利之 妹尾 純充 谷 英樹 中 紀人 宮下 尚幸	47期 井上 楸子 岩谷 基 岩本 朗 江口 拓哉 勝井 映子 黒田 愛 篠原 俊一 白出 博之 乗井 弥生 濱田 雄久 原野早知子 眞継 寛子 蒔井 順子	50期 有村とく子 上田 純 小川 和恵 小野 昌史 中島 宏治	53期 愛須 勝也 奥村 裕和 小関 伸吾 崎原 卓 中西 基 半田みどり 吹矢 洋一 藤田さえ子 松本 光右 牟禮 大介
13期 赤沢 敬之 小林 保夫 得津 正熙	21期 大川 真郎 柴山 譽之 中山 巖雄 平山 正和 三上 孝孜 宮崎 誠	26期 大野 町子 島津 和博 津留崎直美 出水 順 中川 秀三 中川 泰夫 細川喜子雄	31期 齋藤ともよ 澤田 隆 福本 富男 正木みどり 宮地 光子	36期 土谷 明 長野真一郎 西村 健 福田 健次 松田 繁三 村本 武志 柳村 幸宏 山内 良治	40期 市川 智 岩城 穰 中井 洋恵 西 晃 松田 成治 山西 美明 吉田 肇	44期 井上 洋子 斎藤 英樹 住川 和夫 松本 康之	51期 尾崎 一浩 加藤 知徳 上出 恭子 川上 良	54期 井上 耕史 大西 克彦 塩田 勲 鈴木 節男 南石 知哉		
14期 久保井一匡 増井 俊雄	22期 稲田堅太郎 大深 忠延 菅 充行 寺沢 勝子 寺沢 達夫 戸谷 茂樹 山田 庸男	27期 木内 道祥 斎藤 浩 桜井 健雄 西枝 攻 平栗 勲 松尾 直嗣 三木 俊博	32期 提中 良則 段林 和江 松原 伸幸 的場 俊介	37期 池谷 博行 石井 教文 加藤 安宏 空野 佳弘 徳井 義幸 原田 次郎	41期 青木 佳史	55期 青木 永光 石橋 一晃	56期 伊勢谷倍生			

原 啓一郎
湯原 伸一

55期

石橋 徹也
稲吉 大輔
今春 博
大江 祥雅
大前 治
甲斐みなみ
國本 依伸
清水 伸賢
末弘婦紗子
中森 俊久
西原 和彦
原 正和
飛岡恵美子
三好 吉安

56期

青砥 洋司
今井 力
植村 弘樹
尾形 信一
西念 京祐
橋本 智子
長谷川武治
古本 剛之
森平 尚美

57期

家郷 資大
宇都宮一志
大森 剛
奥津 周
小野 順子
河合 順子
川島 裕理
小瀧 悦子
新村 守
菅野 園子

角谷洋一郎
富山 聡子
東山 俊
藤木 達郎
普門 大輔
堀川 智子
溝上 絢子
峯田 和子
宮本 剛
向井 啓介

58期

奥田 慎吾
奥村 昌裕
越知 覚子
唐崎 浩司
熊谷 卓也
佐藤 俊
須井 康雄
中島 康之
中平 史
名波 大樹
林堂 佳子
山口 昌之
若松 薫

59期

安達友基子
浦 寛幸
奥田 昌宏
斉藤 紀代
十川由紀子
田中 智晴
藤内 健吉
松尾 洋輔
間野 泰治
山室 匡史
吉岡孝太郎
梁 栄文
渡邊 一誠

60期

青木 重人
池本 順子
浦田 悠一
大久保貴彦
岡本 大典
笠原 麻央
門松 真由
川口 哲生
川崎 真陽
瓦井 剛司
木虎 孝之
木下 威英
金 英哲
河野 雄介
小坂梨緑菜
佐々木 章
高田 真司
高橋 昌子
高橋 礼雄
高橋 俊之
竹中 宏一
立野 嘉英
谷 真介
豊田 祐介
長瀬 信明
広瀬元太郎
松尾 友寛
三上 岳
安木 志保
梁 龍成

61期

東 尚吾
荒木晋之介
飯田 幸子
石飛 優子
檜元 雄生
河合 基裕
川崎 拓也
喜田 崇之

高坂 明奈
下迫田浩司
忠政 貴之
辰巳 創史
團野 彩子
林 弥生
弘川 欣絵
藤井 恭子
牧 亮太
松嶋 依子
宮下 泰彦
村田 充章
柳 勝久
山元 真里
吉岡良太郎

62期

足立 啓成
遠地 靖志
小野 俊介
片岡 牧
河田 智樹
具 良鈺
楠 晋一
黒田 佑輝
近藤 祥文
佐々木和弘
柴山 慶太
柴山 英輝
館 康祐
田端 孝規
寺川 拓
中辻 大輔
中村ちとせ
西川 大史
西田 敦
野矢 伴岳
福田 美紀
藤原 正人
藤原 航
星野 純子

63期

池上 由樹
池田 尚弘
岩佐 賢次
植木 和彦
氏家真紀子
笹谷 竜二
繁松 祐行
関戸 京子
高橋 早苗
田中 宏岳
中村 里香
福岡 洋一
福崎 浩
藤原 智絵
山下 侑士
山中 有里

64期

石原 浩史
犬飼 一博
岩田 和久
枝川 直美
角崎 恭子
小西 基皓
菰口 高志
佐々木正博
杉田 哲明

65期

上田 浩史
柏木 理沙
片山 直弥
金子 哲也
黒田 祐史
斎藤 亮太
齊藤 優摩
砂川 辰彦
高田 知美
竹内 昭夫
田積 祥子
中井 宏二
檜山 智志
藤下 祥子
古山 隼也
前川 宙貴
松山 純子
森 瑛史
両角 麻子
柳本 千恵
山田 寛子
横瀬 大輝
吉村 友香

66期

飯田 亮真
伊藤 知佐
馬越 俊佑
岡村 峰子

染川 智子
谷川 直人
中峯 将文
南部秀一郎
西原みなみ
原田隆之介
松本 昭人
松森 美穂
宮本 亜紀
渡部真樹子

67期

生田 博之
石田 明子
井上 将宏
上杉 将文
上田 雅貴
奥野 祐希
小野 宙
鍵田 佳成
河端 直
木場 晶子
櫻井 聡
下枝 歩美
田村 瞳
西川 満喜
西川 正樹
稗田 隆史
平林佳江子
細田 直人
安田 知央
安原 邦博
柳本 哲享

68期

網本 知晃
荒木 誠
甲斐 一真
加藤 卓
日下部太一
戀田 剛
佐伯 紀明
清水 亮宏
瀬邊 祐司
高山 竜嗣
塚井 一将
鶴山 昂介
村上 秀人
守田 恵
森本 祐介
柳 知幸

69期

阿武 修平
池田 健人
今井 綾香
大久保貴則
高 一成
腰田 将也
佐野 翔平
城島 活
関 大河
高田 脩平
高橋 誉幸
富田 詩織
中原 大雄
西川 裕也
信吉 将伍
別所 大樹
森 佳介
山上 誠
山本 美愛
吉村 歩

70期

池田佳菜子
稲生 貴子
小野 隆大
加莉 匠
杉野 文香
鷹谷 信和
富井 和哉
中廣 利貴
根本俊太郎
松本 実華

71期

足立 敦史
井上 雅昭
上林恵理子
北本 純子
口元 一平
河野 哲平
佐久間ひろみ
城使 洸司
杉野 龍太
谷本 英雄
永井 大稀
永田 順子
西 祐亮
西川 翔大
原田 恭徳
藤田 圭介
船越 智晴
村本 健司
李 厚潤
脇山 美春
渡辺 洋

72期

秋山 朋毅
岩崎 翔太
川村 遼平

73期

青木 克也
青木 晶子
有本 喜英
伊賀 友介
大岩 祐司
垣岡 彩英
加門 亜弥
公文 大
田中萌奈美
徳山 慶太
豊田 夕雪
長沢 一輝
久井 大輝
福本洸太郎
松本 里香
宮崎 佳美
山本こずえ
井出 達矢

74期

倉橋香緒莉
才木 晴幹
新 和章
鈴木 悠太
内貴梨咲子
中江 友紀
中西翔太郎
中村 伸二
鳴尾 光記
西口加史仁
堀ノ内佳奈
満村 和樹
宮崎信二郎
湯浅 彩香
弓削 雄翼

75期

足立 敦史
井上 雅昭
上林恵理子
北本 純子
口元 一平
河野 哲平
佐久間ひろみ
城使 洸司
杉野 龍太
谷本 英雄
永井 大稀
永田 順子
西 祐亮
西川 翔大
原田 恭徳
藤田 圭介
船越 智晴
村本 健司
李 厚潤
脇山 美春
渡辺 洋

76期

秋山 朋毅
岩崎 翔太
川村 遼平

77期

秋山 朋毅
岩崎 翔太
川村 遼平

78期

足立 敦史
井上 雅昭
上林恵理子
北本 純子
口元 一平
河野 哲平
佐久間ひろみ
城使 洸司
杉野 龍太
谷本 英雄
永井 大稀
永田 順子
西 祐亮
西川 翔大
原田 恭徳
藤田 圭介
船越 智晴
村本 健司
李 厚潤
脇山 美春
渡辺 洋

79期

足立 敦史
井上 雅昭
上林恵理子
北本 純子
口元 一平
河野 哲平
佐久間ひろみ
城使 洸司
杉野 龍太
谷本 英雄
永井 大稀
永田 順子
西 祐亮
西川 翔大
原田 恭徳
藤田 圭介
船越 智晴
村本 健司
李 厚潤
脇山 美春
渡辺 洋

80期

足立 敦史
井上 雅昭
上林恵理子
北本 純子
口元 一平
河野 哲平
佐久間ひろみ
城使 洸司
杉野 龍太
谷本 英雄
永井 大稀
永田 順子
西 祐亮
西川 翔大
原田 恭徳
藤田 圭介
船越 智晴
村本 健司
李 厚潤
脇山 美春
渡辺 洋

編集後記



有村 とく子 (50期)

会議をWEBで行うことにも慣れてきたものの、10数人の委員がリアルで集まり互いに慰労し合う懇親会がコロナ禍の中でできないまま広報委員としての1年が終わります。これはやっぱり寂しい。心通い合う相手がひとりでもいると実感できれば、不思議と力も湧いてきます。新たに登録された方々が同期の仲間や先輩弁護士との繋がりを持てる機会が工夫され増えていきますように。これからもできる限り会の行事に参加したいと思います。

中森 俊久 (55期)

春秋春号を初めてWEB配信でお届けします。コロナ禍の中、Zoomの会議が増え、裁判所ともTEAMSで期日を開くなど仕事のスタイルも変わりつつあります。便利である反面、それを追い求め続け過ぎると、気付かぬ弊害があるのではと心配になったりもします。本年度の広報委員会は、暑気払いも忘年会も延期になりました。またみんなで集まって、ワイワイできる日が来ることを願います。

浦 寛幸 (59期)

今年度の広報委員会では、ニュースレターという新たな媒体が大活躍しておりました。ただ、会派内のメーリスやHPの非公開ページに掲載されていて、なんだかもったいないと思う今日この頃です。出来栄はとて素晴らしいですよ。まだ読まれていない方は是非是非お読みください！公開にしてもいいんじゃないですかね？他方において、人を集める企画が軒並みできなかった親睦委員会はどうしたものかという状況でした。来年度の活躍に乞うご期待！

広瀬 元太郎 (60期)

今回も最後までお読みくださりありがとうございました。基本、外出好きなのですが、家での時間も増えたこともあり、結構性能の高いゲーム用のパソコンを買いました。今、はまっているのは、線路を敷いて町を發展させ、鉄道会社としての収益をあげるというシュミレーションゲームです。

町を發展させるとお客さんが増えるのはいいのですが、地価が高騰し、一本線路を引くだけでも100億円くらいかかってしまいます。だからといって、町が發展しないうちに、大きな駅を作りすぎると、過剰投資で経費がかさみ、資金不足でゲームオーバーになってしまいます。

つまらない近況報告になりましたが、本文でも触れさせていただきましました通り、次期の広報委員長を務めさせていただくことになりました。有意義で、役に立つ会報を作っていきたいと思いますので、ご期待ください。

木場 晶子 (67期)

警察署周辺のグルメ企画、皆様ご協力ありがとうございました。1月末日現在で、コロナはなかなか終息の兆しを見せず、最前線の店にも閉店するところが出だして残念な限りです。

今年は早期にコロナが収束し、リモートワークの普及など新たな楽しい時代が来ることを願っています。

吉留 慧 (68期)

今年も無事春号をお届けできました。昨年はコロナにより、仕事・生活に大きな変化があったものと思います。暗いニュースが多いですが、WEB期日やZoomの会議などを覚えられたことはよかったかなあとも思います。

一刻も早くコロナが収束し、皆さんとリアルでお会いできる日が来ることを願います。

高 一成 (69期)

警察署グルメ特集では、接見は1人で行くことがほとんどなので1人でも入れるお店をと思っていたのですが、いざ自分が挙げたお店を見ると居酒屋がほとんどでした。

これを機にお一人様居酒屋デビューしてみようと思います。

信吉 将伍 (69期)

昨年4月に広島から大阪に引っ越しをし、早くも約1年が経過しました。もともとインドアな私ですが、この1年間は、コロナウイルスの影響で、外出して遊びに行く機会が例年以上に少なく、残念ながら、大阪を堪能できませんでした。コロナウイルスが終息し、本号の特集であるグルメ特集を活かして、大阪のグルメを目一杯楽しめる日が早く来て欲しい・・・と思っています！

根本 俊太郎 (70期)

本号では表紙と裏表紙の写真撮影を担当しました。説明のわからない分かりやすい写真にしたつもりです。表紙・裏表紙の写真については担当者が決まっているわけではなく、どういう写真にするか苦労するときもあります。会員の皆様から投稿があればできるかぎり掲載させていただきたいと思いますので、ご検討ください。

足立 敦史 (71期)

新型コロナ禍で、広報委員会も例に漏れずリモート会議が基本となっています。私の事務所は岸和田にあるため、リモート会議は移動時間の節約となり、有りがたい面はあります。もっとも、会派や弁護団活動で事務所を早く出るという大義名分がなくなり、気分転換ができない面もあります。会報が皆様のリフレッシュのきっかけとなれば幸いです。

佐久間 ひろみ (71期)

4月の緊急事態宣言の頃は、今後どうなることだろうと思いましたが、翌年2月の時点でも感染者はなかなか減りません。ほとんどの会議がTEAMSやZoomになり、人と顔を合わせて会議をすることは数える程度です。移動が減り、体力的に楽になった側面はありますが、どうも寂しいなあと思います。コロナが落ち着いたら、せめて飲食を伴う会合をしたいです。



才木 晴幹 (71期)

あっという間に弁護士2年目に突入し、同時に広報委員会も2年目となりました。広報委員会の一員として、会員の先生方に有益な情報をお届けできるよう引き続き頑張ります。コロナ禍が収束し、会派の活動が再開され、バンバン情報発信できる日が早く来ることを願うばかりです。



発行日	2021年3月25日
発行者	春秋会
発行責任者	谷 英 樹
印刷所	中央印刷株式会社 堺市西区鳳南町5-685-14 TEL(072)273-1151